

# 茨城県地域がん登録事業報告書

平成24年(2012年)罹患集計

茨城県保健福祉部

## はじめに

近年，人口構造の高齢化に伴い，本県のがんによる死亡者数は年々増加し，昭和 60 年以降，県民の死亡原因の第 1 位となっております。平成 26 年には，がんによって 8,639 人の方々が亡くなられており，県全体の死亡者の 28.5%を占めております。

本県では，がんの罹患や生存率等について，県内の状況を把握し，がん対策推進のための施策の立案や評価に利用することを目的として，地域がん登録事業を平成 3 年 10 月から実施してまいりました。

また，平成 25 年 3 月に「茨城県総合がん対策推進計画 - 第三次計画 - 」を新たに策定し，従来の「がんによる死亡率の減少」，「がん患者及び家族の不安・苦痛の軽減及び生活の質の維持・向上」という全体目標に加え，新たに「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」という目標も掲げ，総合的ながん対策に取り組んでおります。

さらに，平成 28 年 1 月 1 日からは「がん登録等の推進に関する法律」が施行され，国の一元的な管理のもと，がん登録情報を収集する「全国がん登録」が開始されました。全国で統一された仕組みによりがん登録事業が実施されることによって，登録精度の更なる向上が期待されています。

本書は平成 24 年（2012 年）の主要部位別のがん罹患や発見経緯等，本県のがんの発生状況について取りまとめたものとなっております。がん予防の推進や医療水準の向上等に各方面で活用され，がん対策の総合的な推進の一助となれば幸いです。

最後になりましたが，医師会をはじめ，各医療機関，市町村等関係者の方々に多大な御協力をいただきましたことを厚くお礼申し上げますとともに，精度の高い登録を引き続き行うため，より一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

茨城県保健福祉部長  
松岡 輝昌

# 目 次

茨城県地域がん登録事業の概要	1
1 事業の意義	1
2 事業の体系	1
(1) 実施主体及び運営主体	1
(2) 登録対象者	1
(3) 情報収集機関	1
(4) 医療機関からの情報収集方法	1
(5) 登録	1
(6) 集計・解析	2
3 登録情報の提供	2
(1) 予後情報の提供	2
(2) 公表情報以外の情報の提供	2
4 医療機関からの届出状況	3
結果の概要	4
1 届出精度の状況(2012年)	4
(1) 部位別 DCN・DCO の状況	4
(2) 部位別 IM 比の状況	5
(3) 部位別診断精度指標	6
2 罹患状況(2012年)	8
(1) 罹患数及び年齢調整罹患率	8
(2) 男女別, 部位別の罹患者の割合	8
(3) 年齢階級別の罹患数	9
(4) 男女別, 年齢階級別, 部位別の罹患の割合	9
(5) 茨城県と全国のがん罹患率(人口10万人当たり)の比較	12
3 受療状況	15
(1) 発見経緯	15
(2) 病巣の広がり	16
(3) 治療方法	18
4 死亡の状況(人口動態統計)	19
(1) 死亡数及び死因別・部位別の死亡者の割合	19
(2) 年齢階級別の死亡数	19
(3) 茨城県と全国のがん死亡率(人口10万人当たり)の比較	20
5 部位別年齢階級別罹患率及び死亡率の状況	23
6 生存率	30
(1) 部位別5年実測生存率	30
(2) 部位別, 性別, 進展度別5年相対生存率	31
付 表	32
参考資料	72

# I 茨城県地域がん登録事業の概要

## 1 事業の意義

茨城県地域がん登録事業は、茨城県内の居住者に発生した全てのがんについて、その発病から治癒または死亡に至るまでの全ての情報を収集し、個々の患者ごとに整理、保管するシステムである。

これらの収集した情報を基に、次の諸活動を行い、茨城県のがん予防対策の推進や医療水準の向上に役立てることを目的として実施する。

- (1)がん罹患率の測定
- (2)がん患者の受療状況の把握
- (3)がん患者の生存率の算出
- (4)がん予防活動の評価及び企画
- (5)疫学的研究への活用

地域がん登録事業は、平成 15(2003)年に施行された健康増進法第 16 条にて、国及び地方公共団体の努力義務とされているほか、平成 19(2007)年に施行されたがん対策基本法第 17 条第 2 項において、国及び地方公共団体は、がん患者のがんの罹患、転帰、その他の状況を把握し、分析するための取組を支援するために必要な施策を講じるよう規定されている。

また、平成 28 年 1 月 1 日に「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、各都道府県において実施されてきた地域がん登録事業は、国の全国がん登録事業として実施されている。

## 2 事業の体系

### (1)実施主体

茨城県保健福祉部保健予防課が実施主体である。

### (2)登録対象者

この事業の登録対象となる者は、茨城県内に居住する者でがんと診断された者及びがんによる死亡者である。

### (3)情報収集機関

この事業では、医療機関から当該医療機関で行ったがんの診断、治療等に関する情報を収集し、また、保健所からがんによる死亡情報を収集している。

### (4)医療機関からの情報収集方法

医療機関は、茨城県地域がん登録届出票(以下、「届出票」という。)に必要事項を記載し、郵送により、茨城県に届出を行っている。

また、必要に応じ、地域がん登録室職員が医療機関に出張し、情報を採録する方式を採用している。

なお、医療機関において院内がん登録等を実施し、必要情報を充足する資料を有する場合、当該資料の写し、データ等を送付することにより届出に代えることができる。

### (5)登録

収集した情報は、地域がん登録室に設置した電子計算機に入力して登録する。

(6)集計・解析

茨城県は、登録情報を基に、暦年単位で集計・解析を行い、その結果を年報等にまとめて公表し、関係機関に配布するとともに、今後のがん対策に役立てていく。

3 登録情報の提供

医療機関は、公表された情報以外に、次により地域がん登録事業で得られた情報の提供を受けることができる。

(1)予後情報の提供

自施設が届け出た患者の予後情報(死亡年月日)

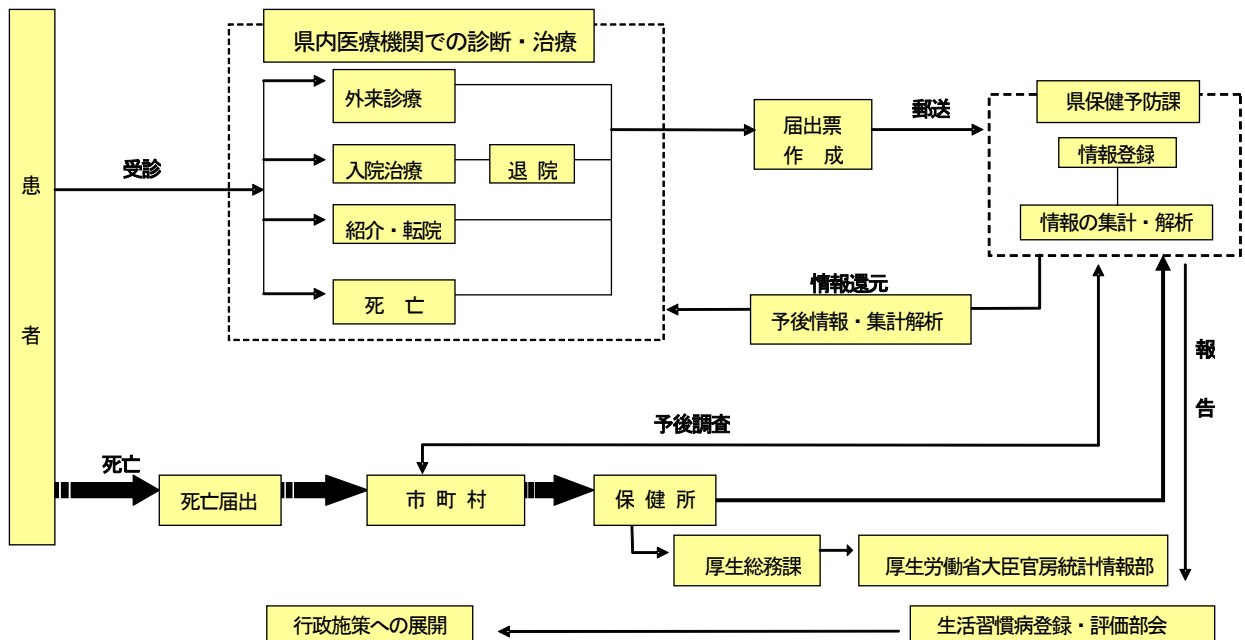
(2)公表情報以外の情報の提供

次の要件に該当する場合は、年報等に公表された以外の情報を利用することができる。

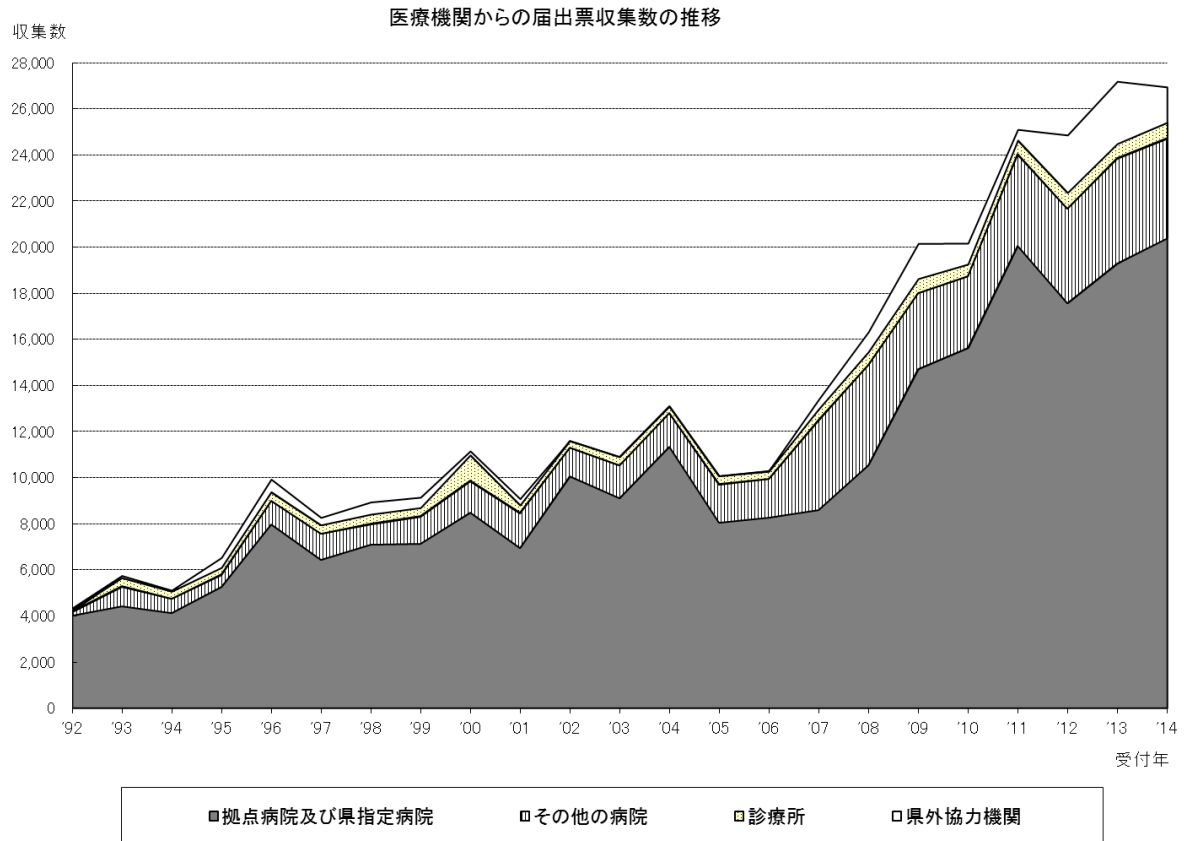
- ①利用の目的が、保健医療の向上または研究のためであること。
- ②利用する情報の範囲が、目的を達成する上で必要最小限のものであること。
- ③申請者において、利用する情報の管理が適切に行われること。

また、情報の利用に当たっては、「茨城県地域がん登録事業に係る情報の取り扱いに関する要領」の規定に従うものとする。

○ 地域がん登録事業フロー図



#### 4 医療機関からの届出状況



\* ■について、2005年以前は、1990年に茨城県ががん専門医療施設として指定した19医療機関からの届出数

平成26年に医療機関等から収集した届出票の数は26,932件であり、このうち、がん診療連携拠点病院及び茨城県がん診療指定病院からの届出数は20,416件で、全体の届出数に占める割合は75.8%であった。

また、県外の医療機関等から収集した届出票の件数は、1,537件であった。

なお、届出票の提出があった医療機関数は、茨城県内の病院からは71施設、診療所からは86施設、県外の医療機関等からは16施設の合計173施設であった。

#### 過去5年間の医療機関からの届出票届出件数の推移

年次	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)
届出件数	20,156	25,089	24,847	27,176	26,932
拠点及び県指定病院	15,625	20,069	17,572	19,289	20,416

## Ⅱ 結果の概要

### 1 届出精度の状況(2012年)

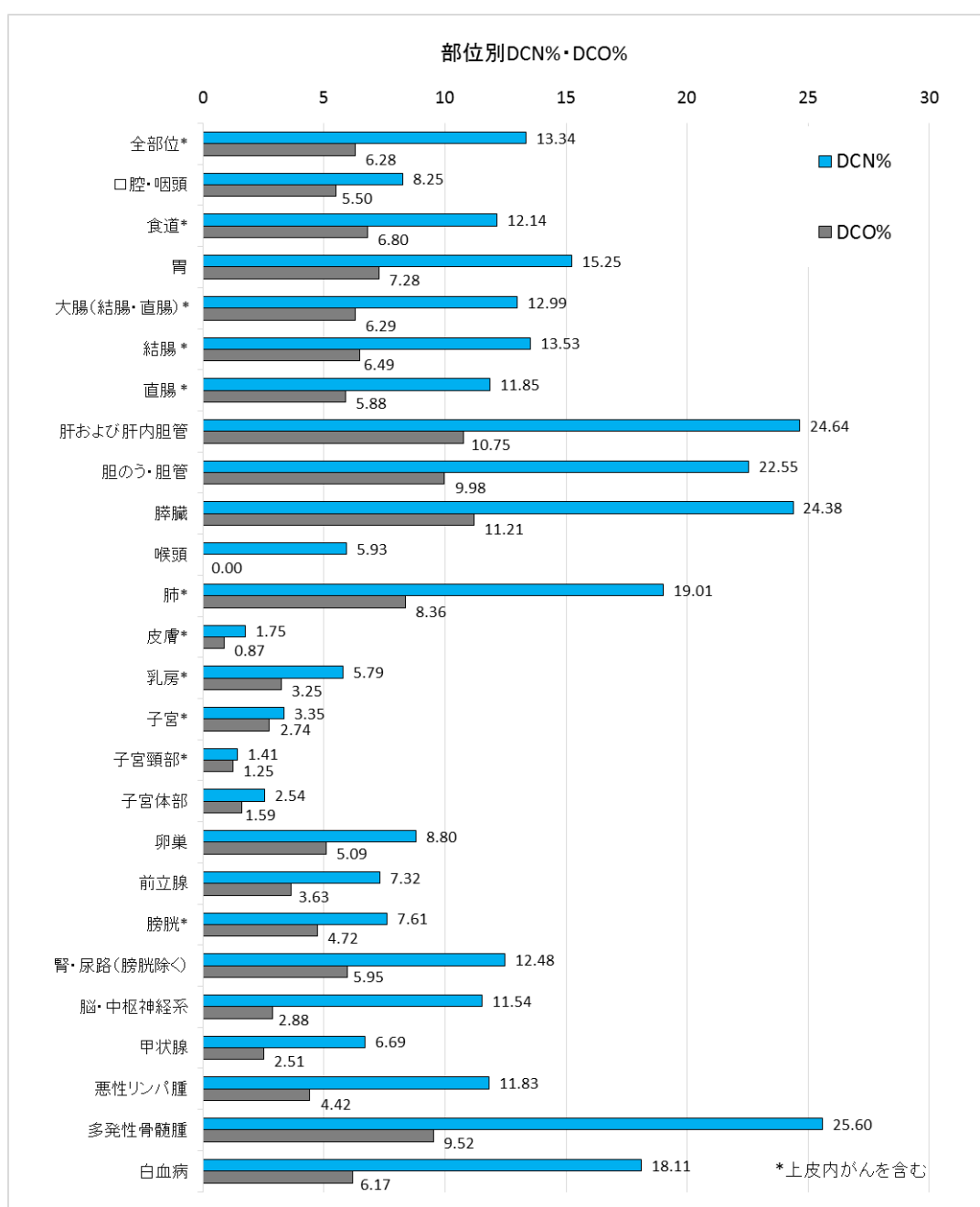
#### (1) 部位別 DCN・DCO の状況

地域がん登録の精度指標の1つ目に、登録の完全性の指標として DCN と DCO がある。

DCN(Death Certificate Notification)とは、生存中にはがんであることの届出が医療機関から出されず、死亡票によって初めてがんと把握された患者のことを指す。

死亡票で初めてがん罹患を把握した DCN の患者に対しては、遡り調査等により診断・治療の情報を医療機関に求めるが、その回答がなく、死亡票以外の情報が得られない患者のことを DCO(Death Certificate Only)という。DCO の割合が高いということは、医療機関においてがん患者の診断または治療が行われているにもかかわらず、そこから届出が出されなかったことにより、登録の完全性が低いと判断できる。

2012年の上皮内がんを含む DCN%は13.3%、DCO%は6.3%であった。



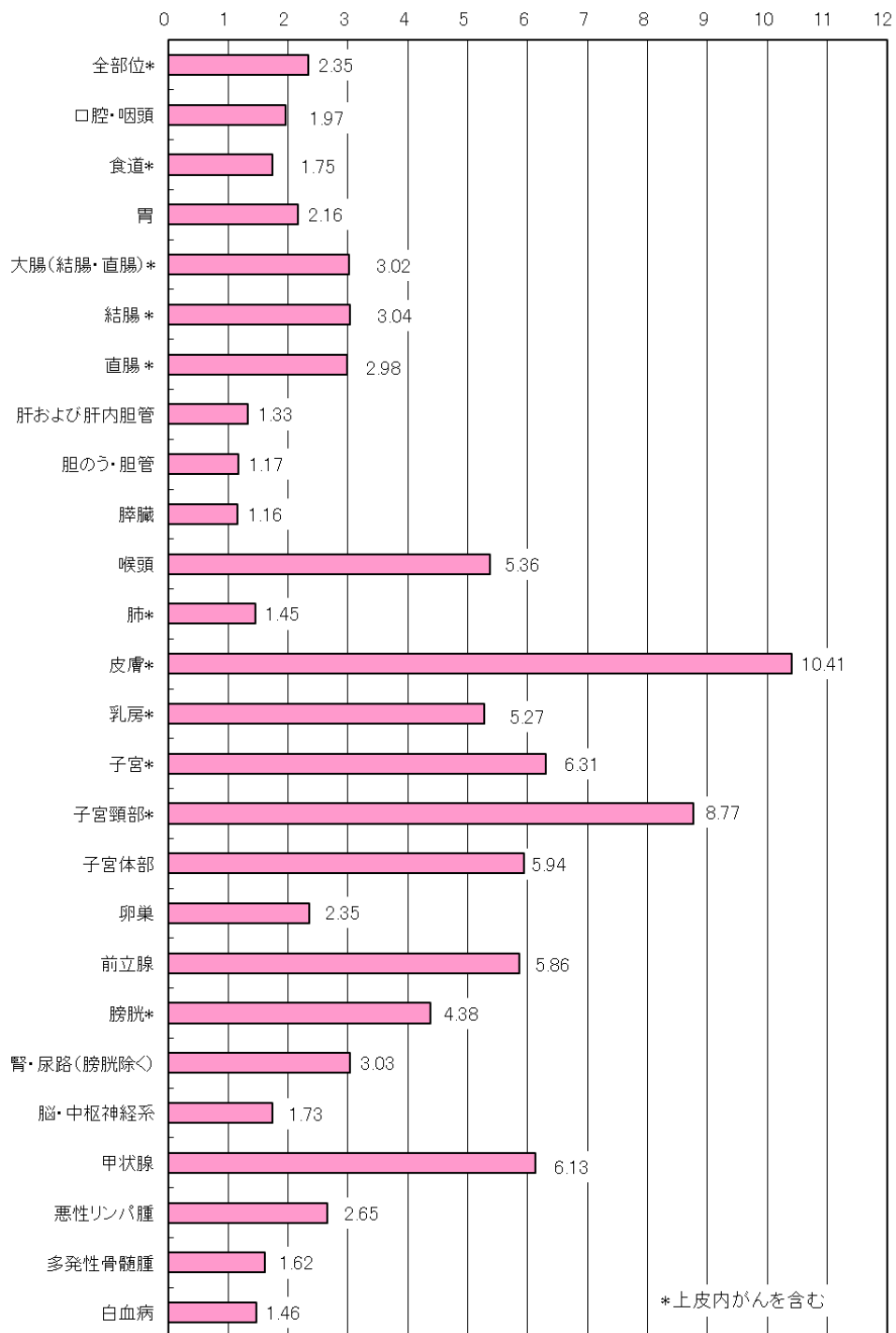
## (2) 部位別 I/M 比の状況

地域がん登録の精度指標の 2 つ目に I/M 比がある。

I/M (incidence/mortality) 比とは、ある一定期間におけるがん罹患数とがん死亡数の比のことである。I/M 比は、生存率が低い場合や届出が不十分なときに低くなり、一方、生存率が高い場合や悪性腫瘍以外を登録している等の登録上のミスが疑われる場合では高くなる。

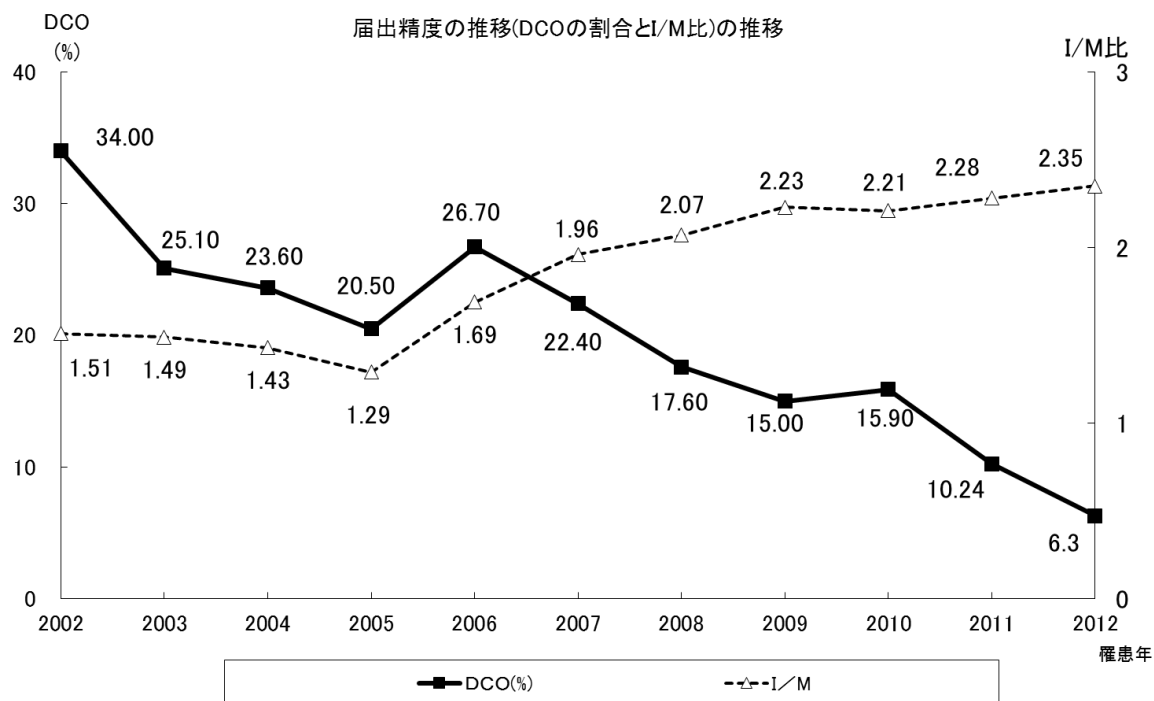
全部位では 2.0～2.5 が妥当とされ、茨城県の 2012 年の I/M 比は 2.35 であり、届出の完全性は高いと考えられる。

### 部位別 I/M 比





DCO%と I/M 比の経年変化は、次のとおりである。近年の茨城県における届出精度は、届出票の提出の増加に伴って改善されてきた。

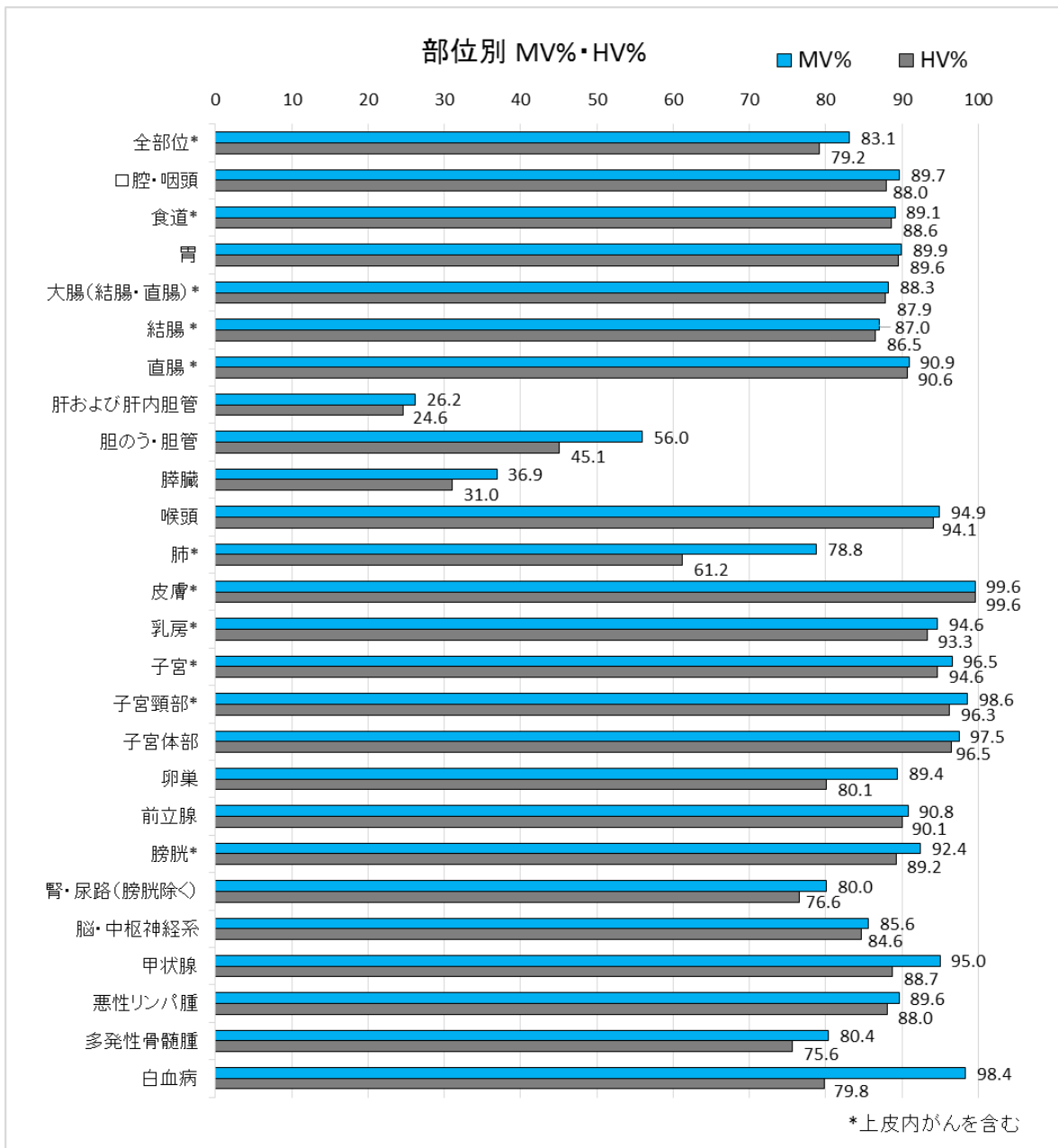


### (3) 部位別診断精度指標

地域がん登録の診断精度の指標として、HV と MV がある。HV(Histologically Verified cases)とは、がんの診断を組織診で行っている患者の割合を指す。また、MV(Microscopically Verified cases)は組織診・細胞診にかかわらず、顕微鏡的に確かめられて診断された割合のことを指す。

がんは、臨床診断や画像診断ではなく、病理組織診断により確定される。HV や MV が高ければ、がん患者を、病理学的に明確な根拠をもって診断していることになり、診断精度が高いと判断できる。

茨城県では、2012 年は全部位の MV が 83.1%であり、2011 年の 82.0%より増加している。全部位の HV は、79.2%であった。



## 2 罹患状況(2012年)

### (1) 罹患数及び年齢調整罹患率

2012年の茨城県における罹患数は、男性10,499件(11,326件)、女性7,223件(8,142件)、合計17,722件(19,468件)であり、粗罹患率(人口10万人対)は、男性712.1(768.2)、女性487.0(549.0)、年齢調整罹患率(人口10万人対)は、男性389.2(421.5)、女性267.8(321.9)であった。

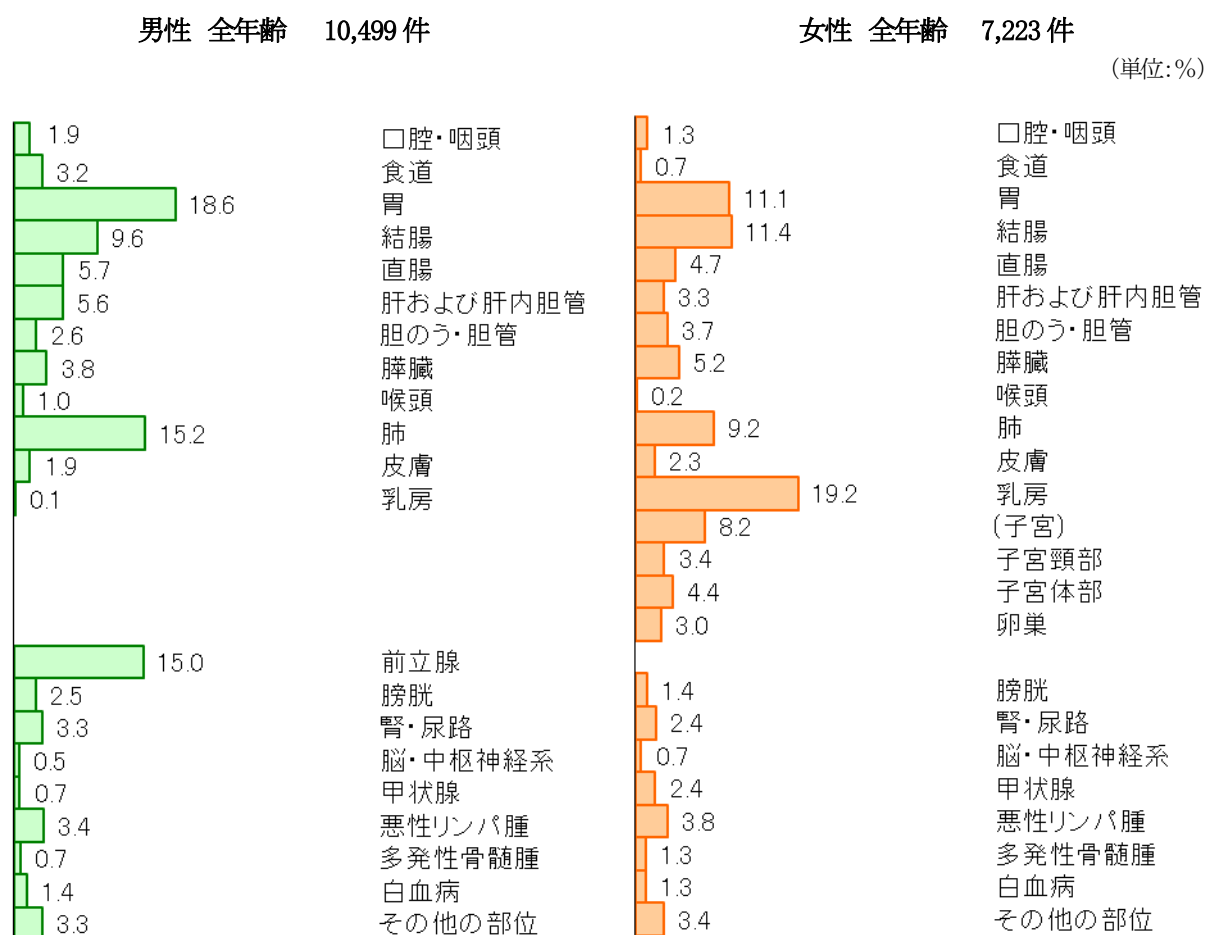
※カッコ内の数字は上皮内がんの件数を含んでいる。

※年齢調整罹患率の計算には、昭和60年日本人モデル人口を使用した。

### (2) 男女別、部位別の罹患者の割合(上皮内がんを除く)

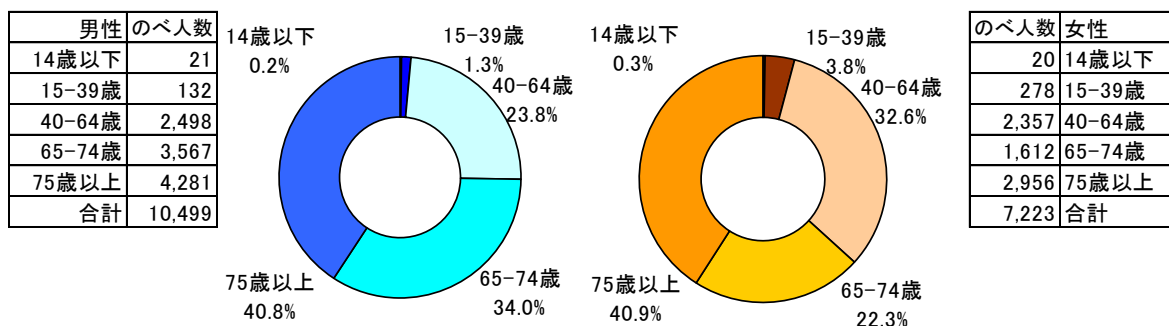
男女別、部位別の罹患者の割合は、男性では、胃の割合が最も高く18.6%であり、次に肺15.2%、三番目に前立腺15.0%であった。

女性では、乳房の割合が最も高く19.2%であり、次に大腸(結腸及び直腸)16.1%、三番目に胃11.1%であった。



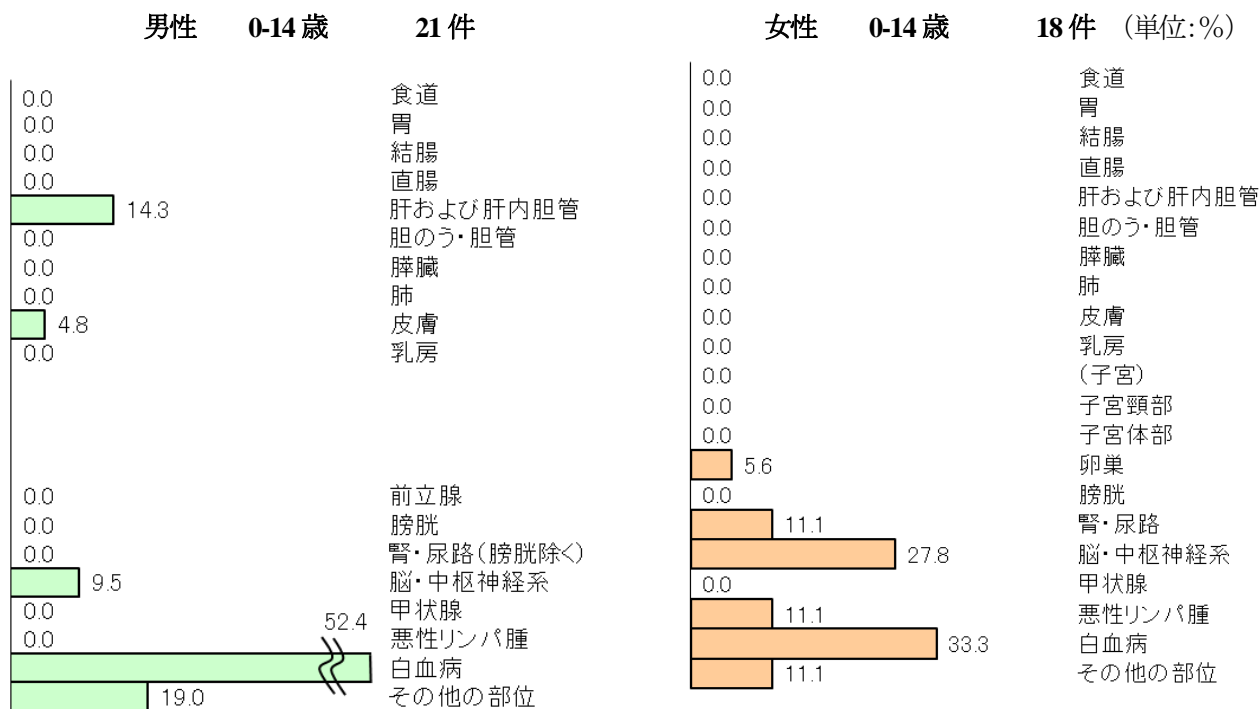
(3) 年齢階級別の罹患数(上皮内がんを除く)

年齢階級別の罹患数については、男女とも75歳以上の年齢階級の割合が最も高い。男性は加齢とともに、罹患の割合が段階的に高くなるのに対して、女性は75歳以上の年齢階級の割合が最も高く、次に40-64歳の年齢階級の割合が高い。これは、この年齢階級において乳がんの罹患が多いことが理由と考えられる。

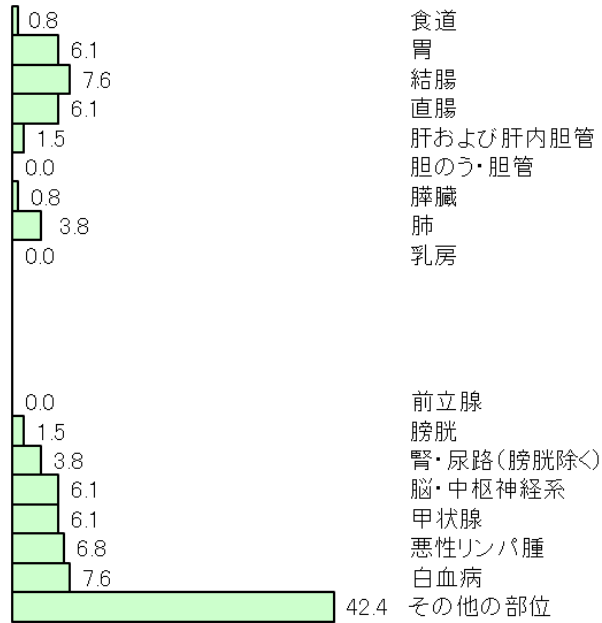


(4) 男女別、年齢階級別、部位別の罹患の割合(上皮内がんを除く)

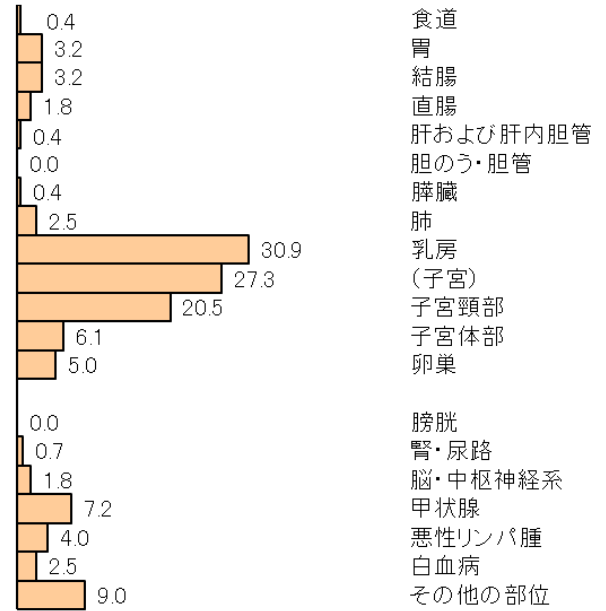
男女年齢階級別のがん患者の罹患部位の割合を示す。男性は加齢により胃がん及び肺がんに罹患する割合が高くなる傾向にある。女性は15-39歳の若年者で乳がん及び子宮頸がんの割合が高く、15-74歳では乳がんの罹患の割合が最も高い。



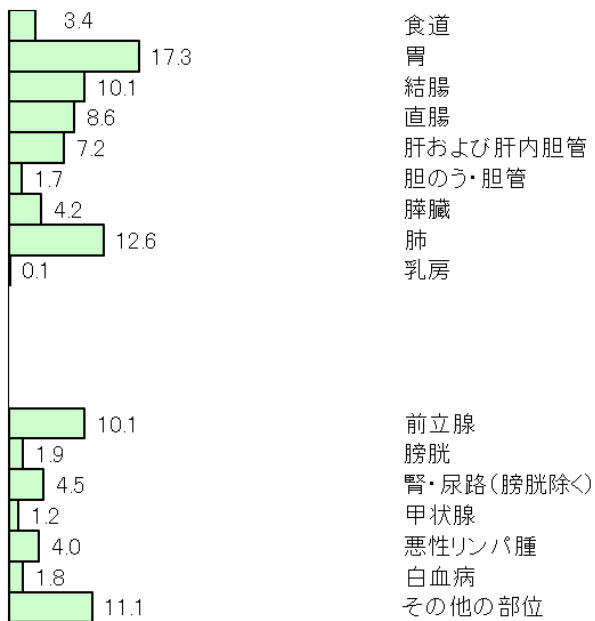
男性 15-39歳 132件



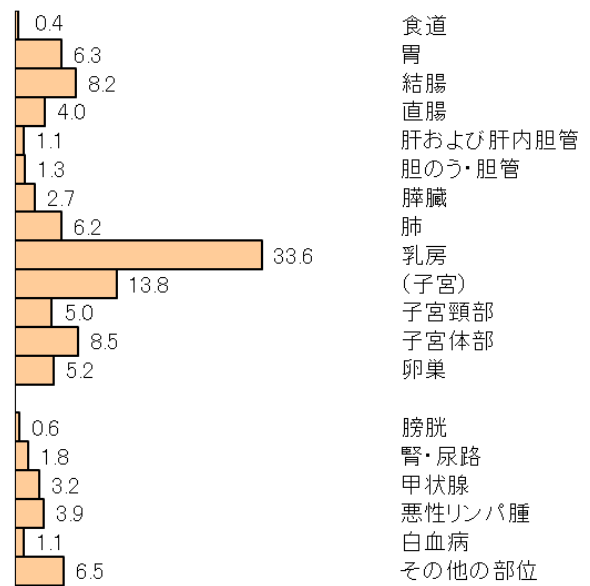
女性 15-39歳 278件 (単位:%)

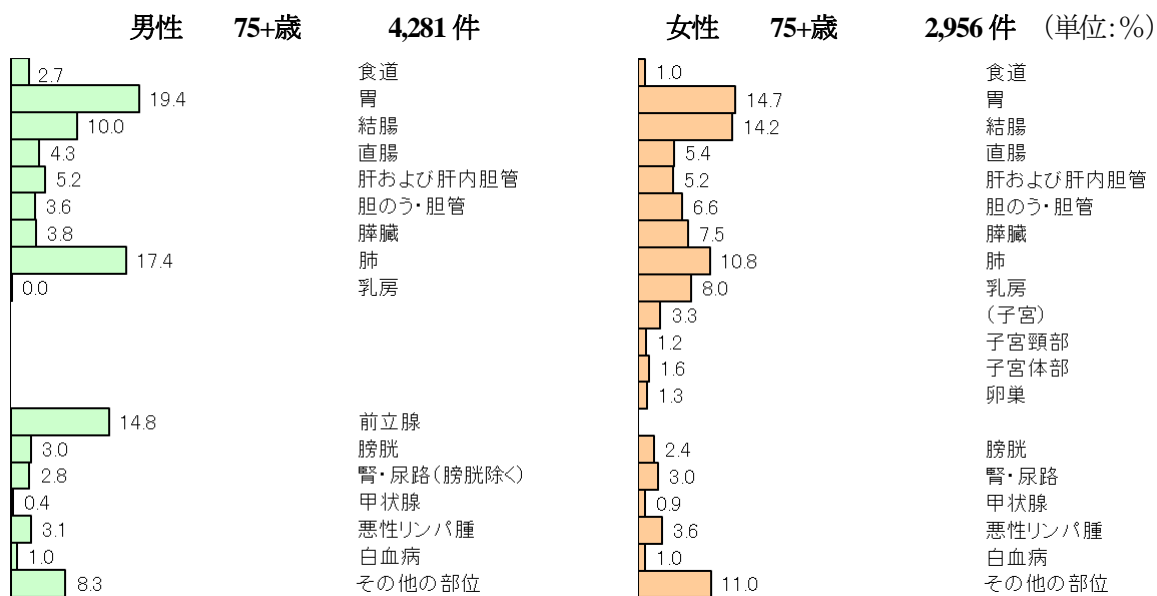
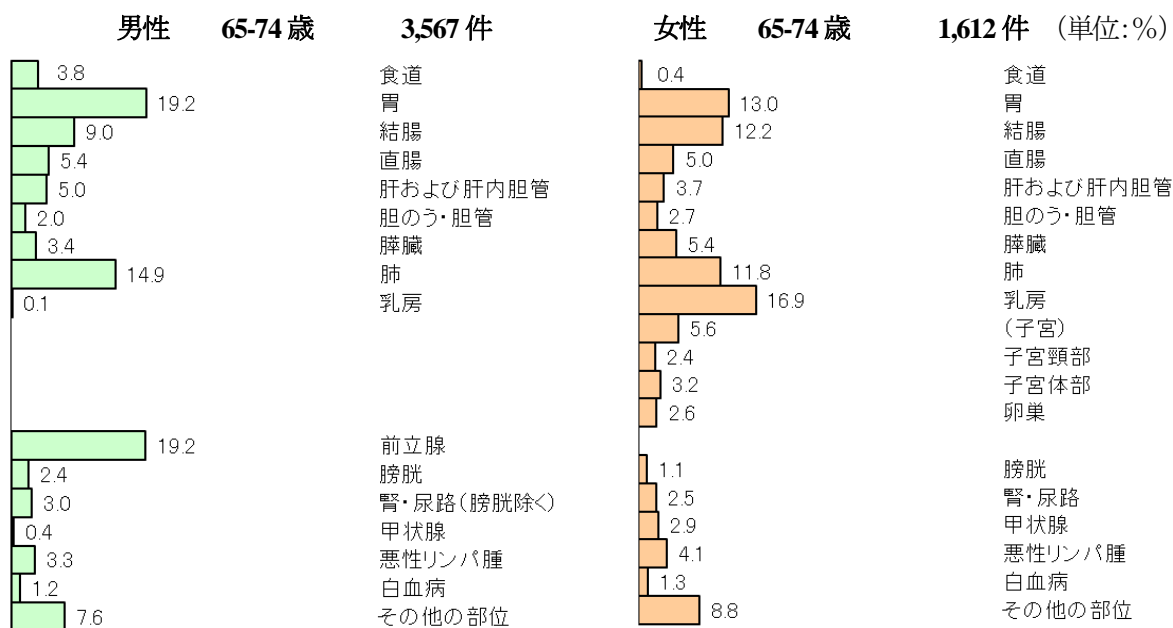


男性 40-64歳 2,498件



女性 40-64歳 2,357件 (単位:%)

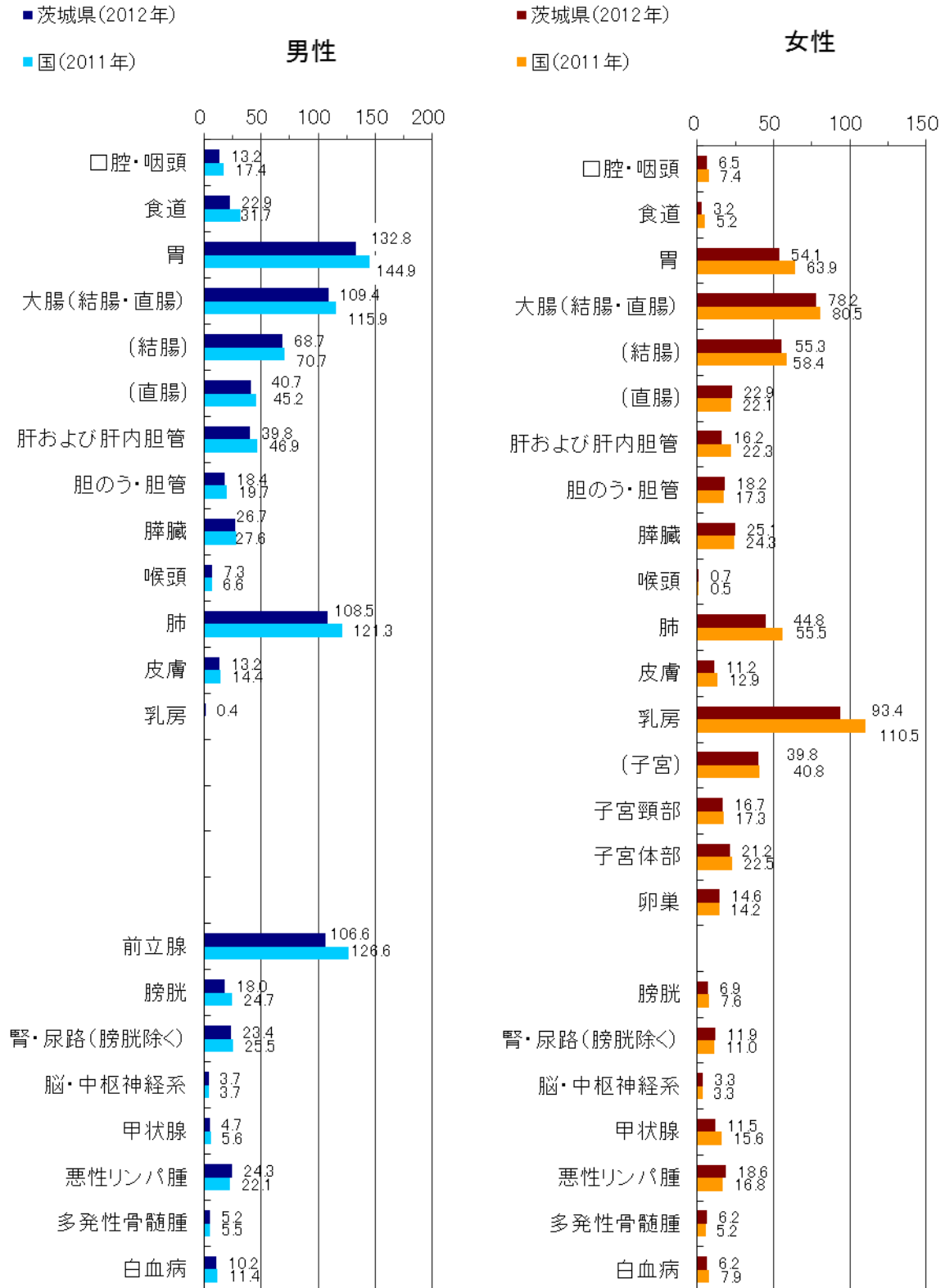




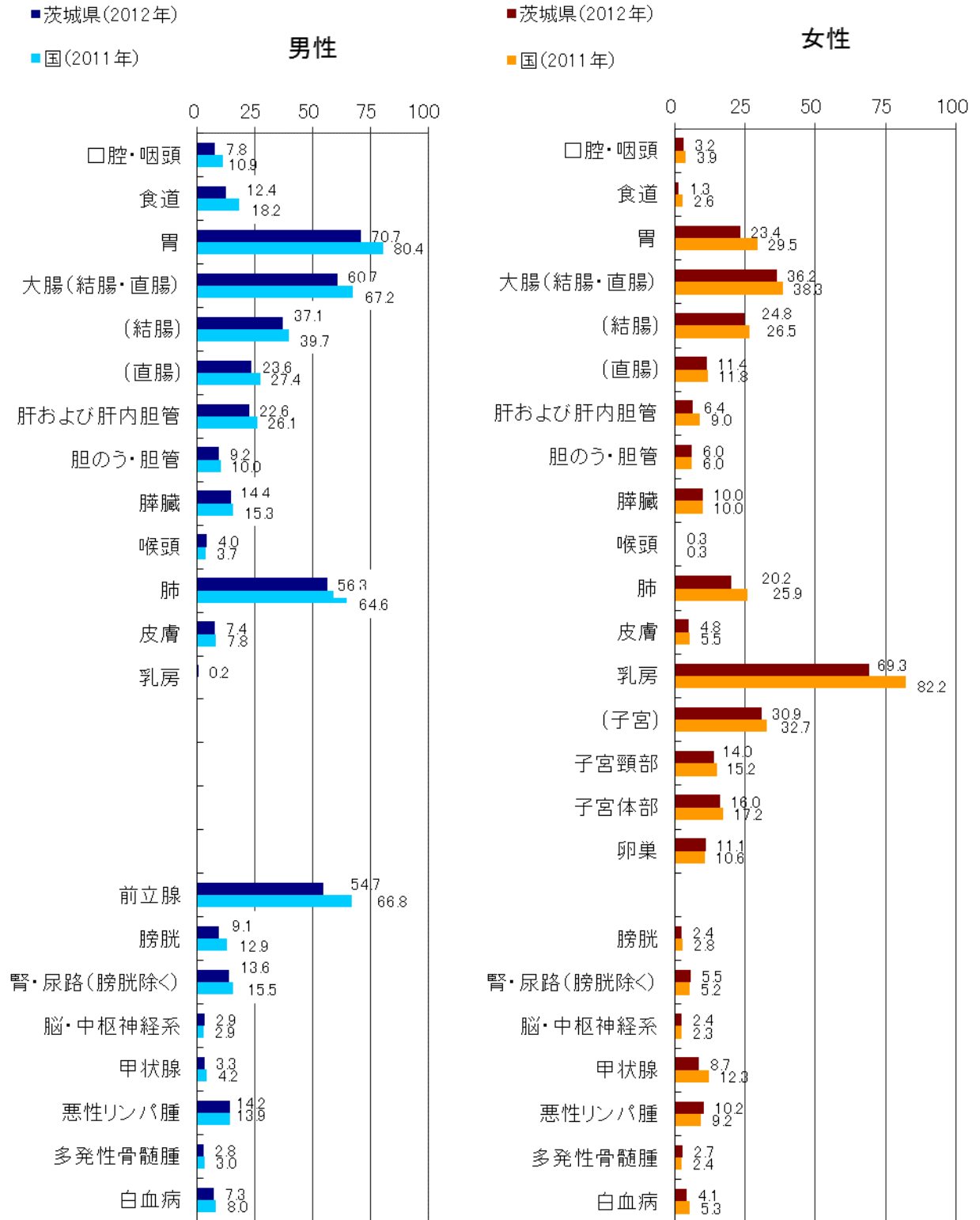
(5) 茨城県と全国のがん罹患率(人口 10 万人あたりの比較(上皮内がんを除く))

茨城県のがん罹患率と全国のがん罹患率(2011 年)を示す。ただし、全国値は、全都道府県の平均ではなく、地域がん登録の精度がある一定以上にある県を抽出して算出した推計値である。そもそも、比較している年が違うことも考慮する必要がある。

① 粗罹患率による比較



② 年齢調整罹患率による比較(昭和60年日本モデル人口)



※ 全国値は、国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター発行「全国がんモニタリング集計 2011 年罹患数・率報告」より推計値を引用した。

※ 推計値の算出は、2011年の登録精度が以下の①及び②の条件を満たしている道府県のデータが用いられた。

①DCO%<10% かつ DCN%<20%, ②I/M比≥2.0

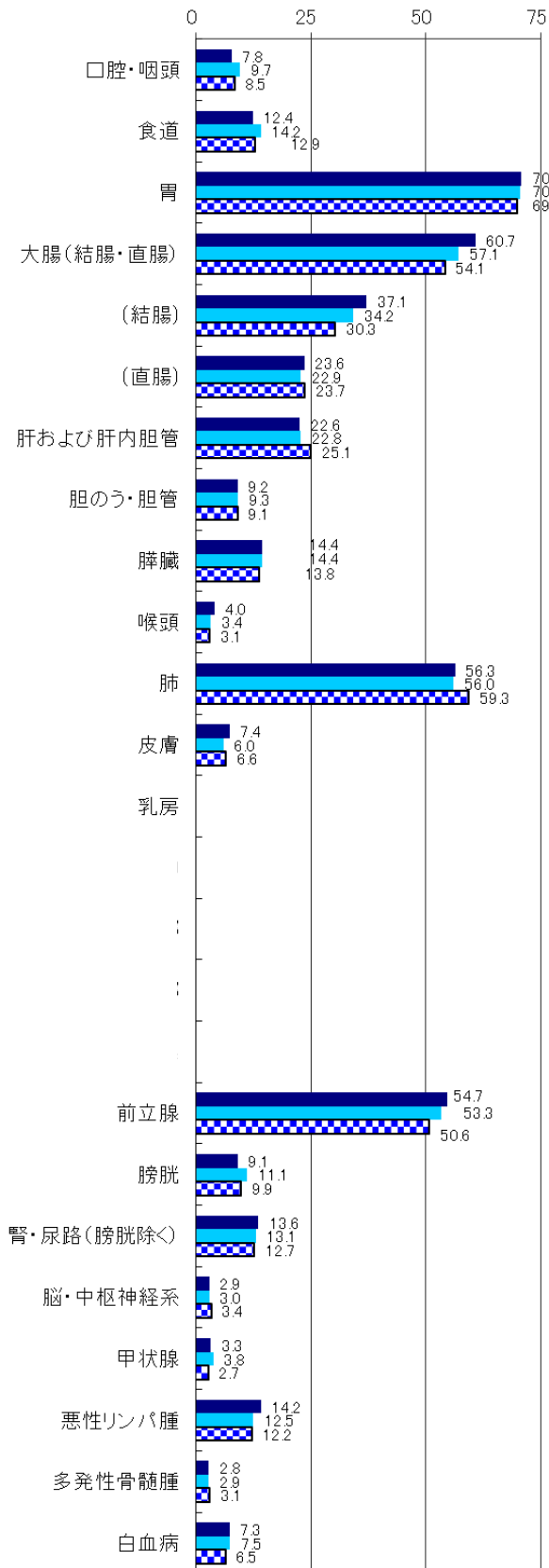
※ 推計値の算出に關係した県の登録精度の平均値は、DCN% :11.9%, DCO%:5.3%, I/M比:2.31



③ 県内過去3年間の年齢調整罹患率(昭和60年日本モデル人口)

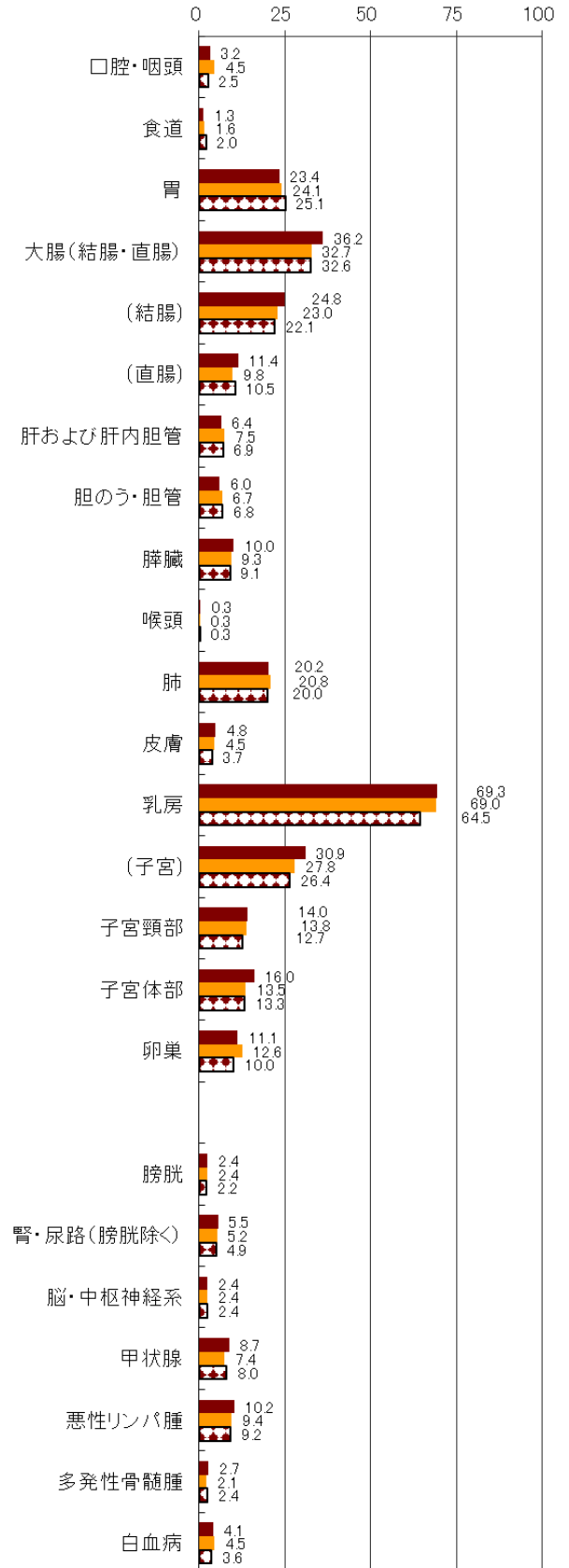
- 茨城県(2012年)
- 茨城県(2011年)
- 茨城県(2010年)

男性



- 茨城県(2012年)
- 茨城県(2011年)
- 茨城県(2010年)

女性



### 3 受療状況

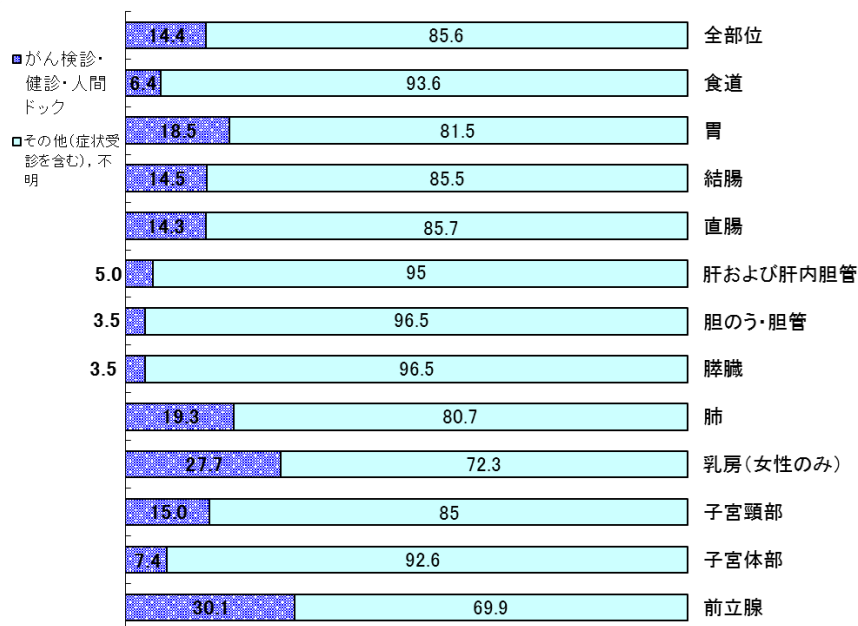
#### (1) 発見経緯(上皮内がん及び DCO 症例を除く)

茨城県と全国(2011 年)の届出患者(男女計)のうち、「がん検診」または「健診・人間ドック」で発見された割合を部位別で比較した。

「がん検診」または「健診・人間ドック」でがんが発見された割合は、茨城県では 14.4%、全国では 15.5%であった。

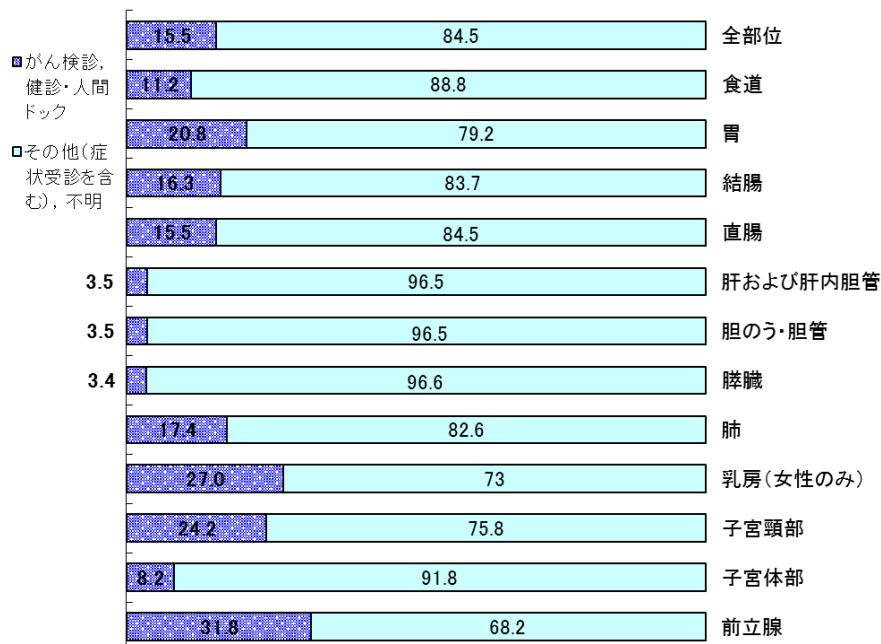
<茨城県>(2012 年)

(単位:%)



<全国>(2011 年)

(単位:%)



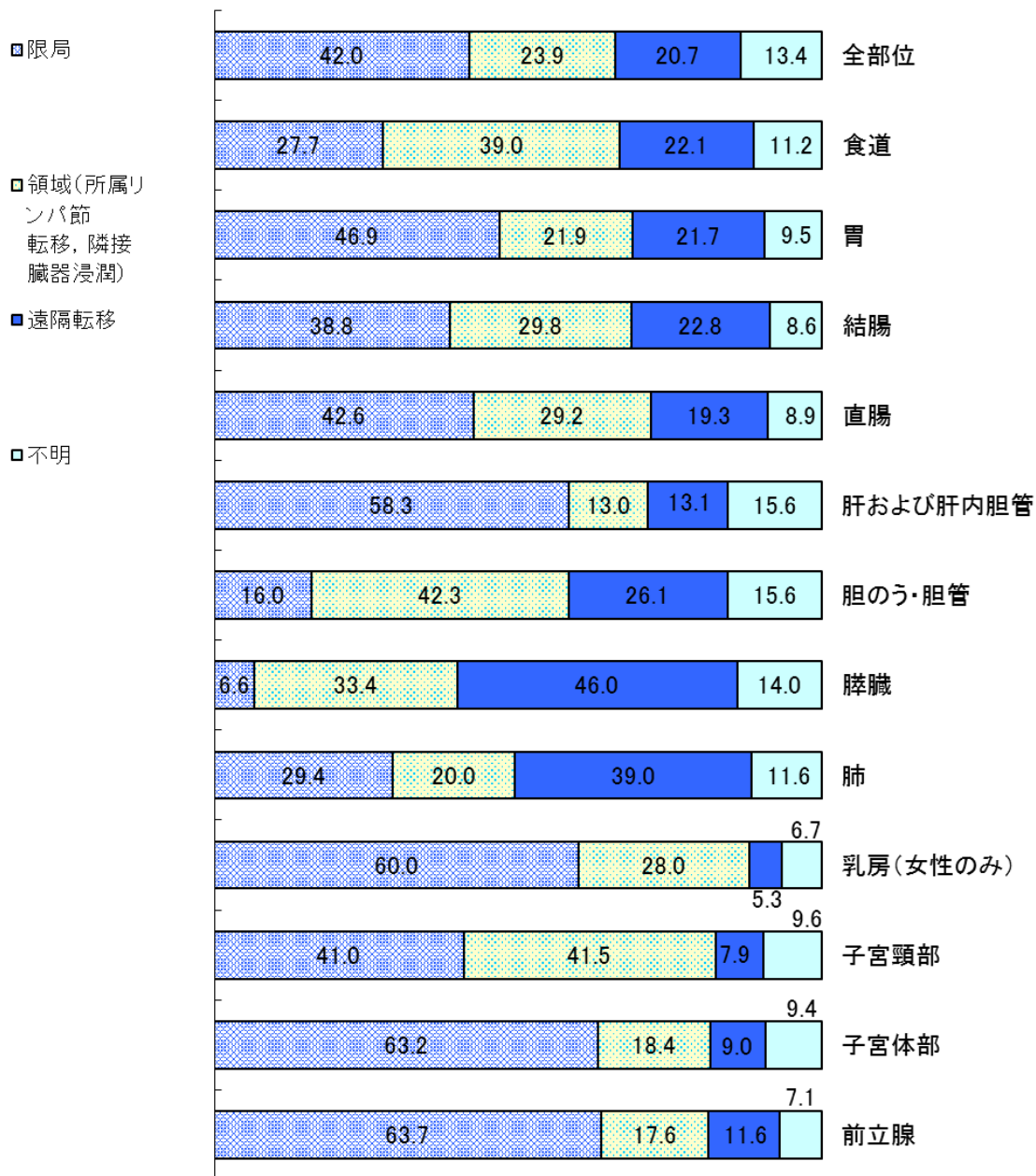
※ 全国値は、国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター発行「全国がんモニタリング集計 2011 年罹患数・率報告」より引用。

(2) 病巣の広がり(上皮内がん及びDCO症例を除く)

茨城県と全国(2011年)の届出患者(男女計)の病巣の広がり(臨床進行度分布)を比較した。茨城県では、全国に比べて、胃・結腸・大腸の「限局」の割合が低く、「領域」及び「遠隔転移」の割合が高かった。乳房(女性のみ)、子宮頸部、子宮体部では、全国に比べて、「限局」の割合が高かった。

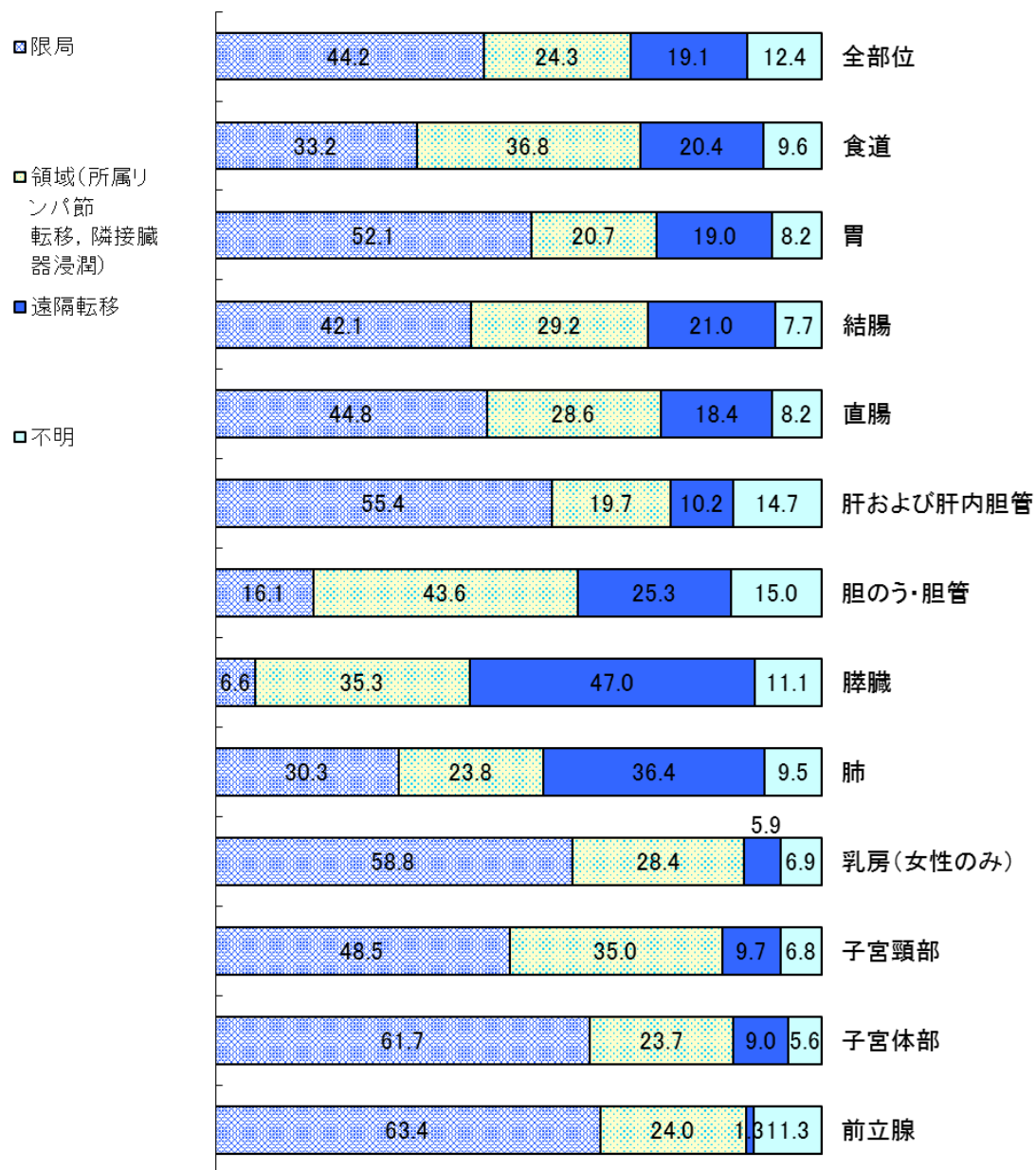
<茨城県>(2012年)

(単位:%)



<全国> (2011年)

(単位:%)



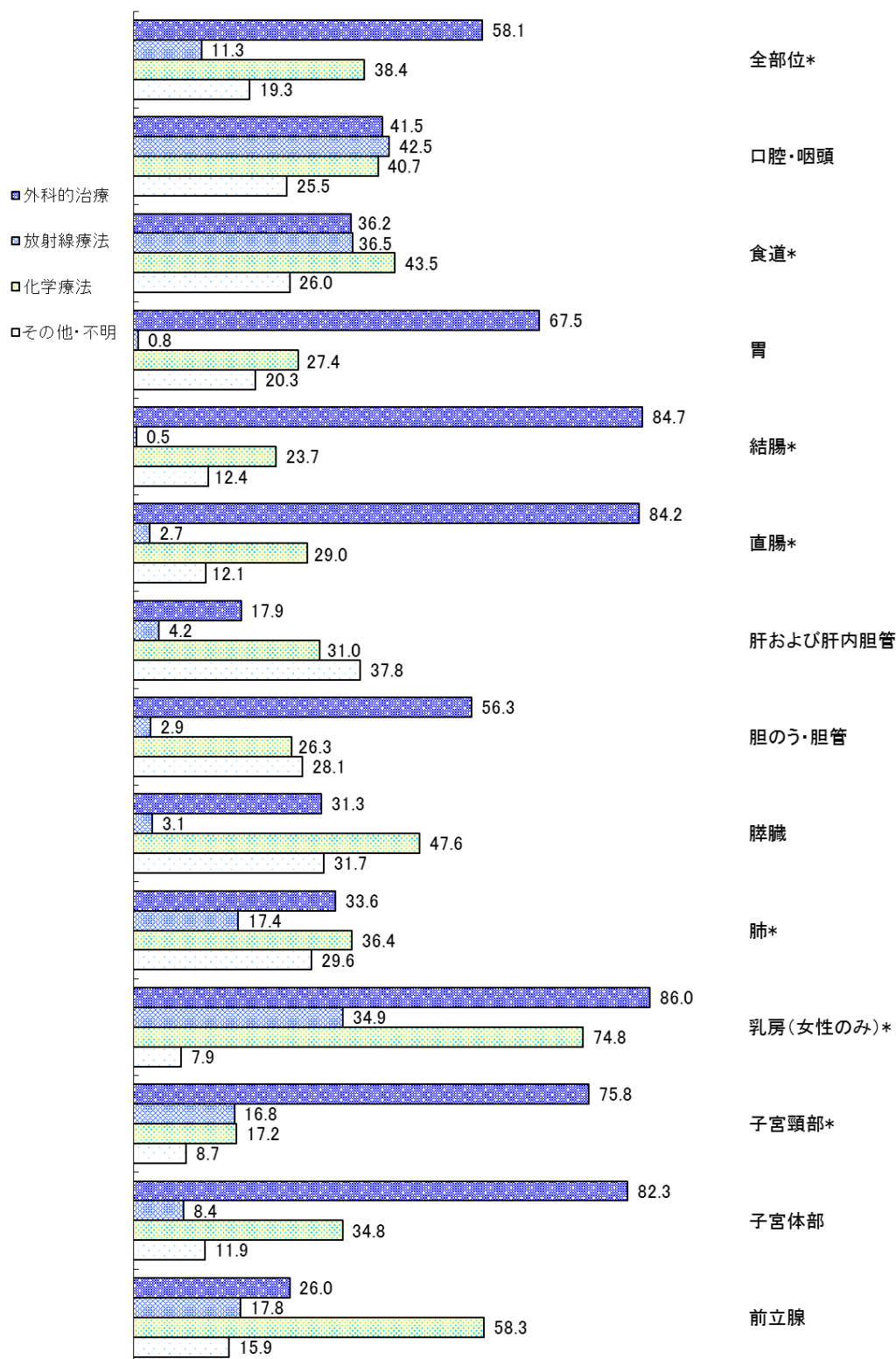
### (3) 治療方法

茨城県の DCO 症例を除く届出患者の主要部位別の治療方法を示した。

胃, 大腸(結腸及び直腸), 乳房(女性のみ), 子宮等多くの部位で外科的治療の割合が高く, がん治療においては外科的治療が主流であった。

一方, 食道, 膵臓, 肺, 乳房(女性のみ)及び前立腺では, 初回治療として化学療法も選ばれている割合が高く, 口腔・咽頭では, 手術療法, 放射線療法, 化学療法の割合が類似していた。

(単位:%)



※重複を含むため合計は100%にならない。

\*上皮内がんを含む。

#### 4 死亡の状況(人口動態統計)

##### (1) 死亡数及び死因別・部位別の死亡者の割合

茨城県では、1985年以降、がん(悪性新生物)が死因の第1位となっており、2012年においては、男性5,004人、女性3,296人の方が、がんを原因として死亡している。

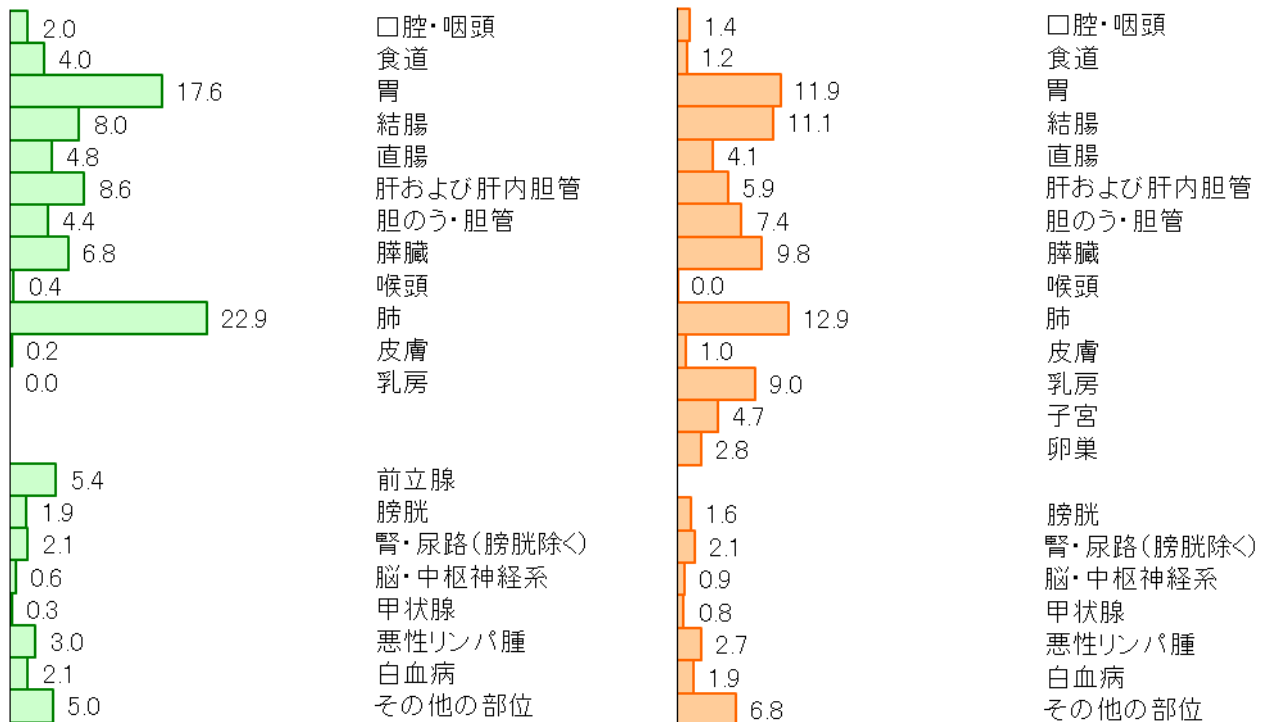
死因別割合では、悪性新生物による死亡は、2位の心疾患(高血圧性除く)(16.5%, 4,963人)を大きく引き離し、27.7%を占めている。

男女別、部位別の死亡者の割合では、男性では、肺がんによる死亡が22.9%と最も多く、次に胃、大腸(結腸及び直腸)と続いた。一方、女性では、大腸(結腸及び直腸)による死亡が15.6%と最も多く、次に肺、胃と続いた。

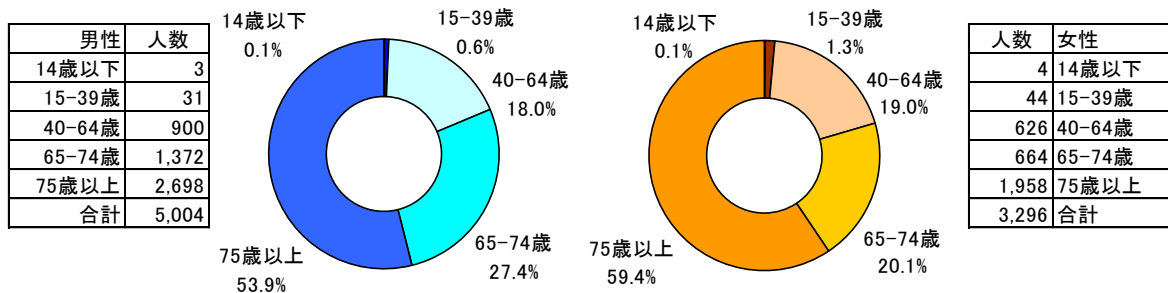
男性 全年齢 5,004件

女性 全年齢 3,296件

(単位:%)



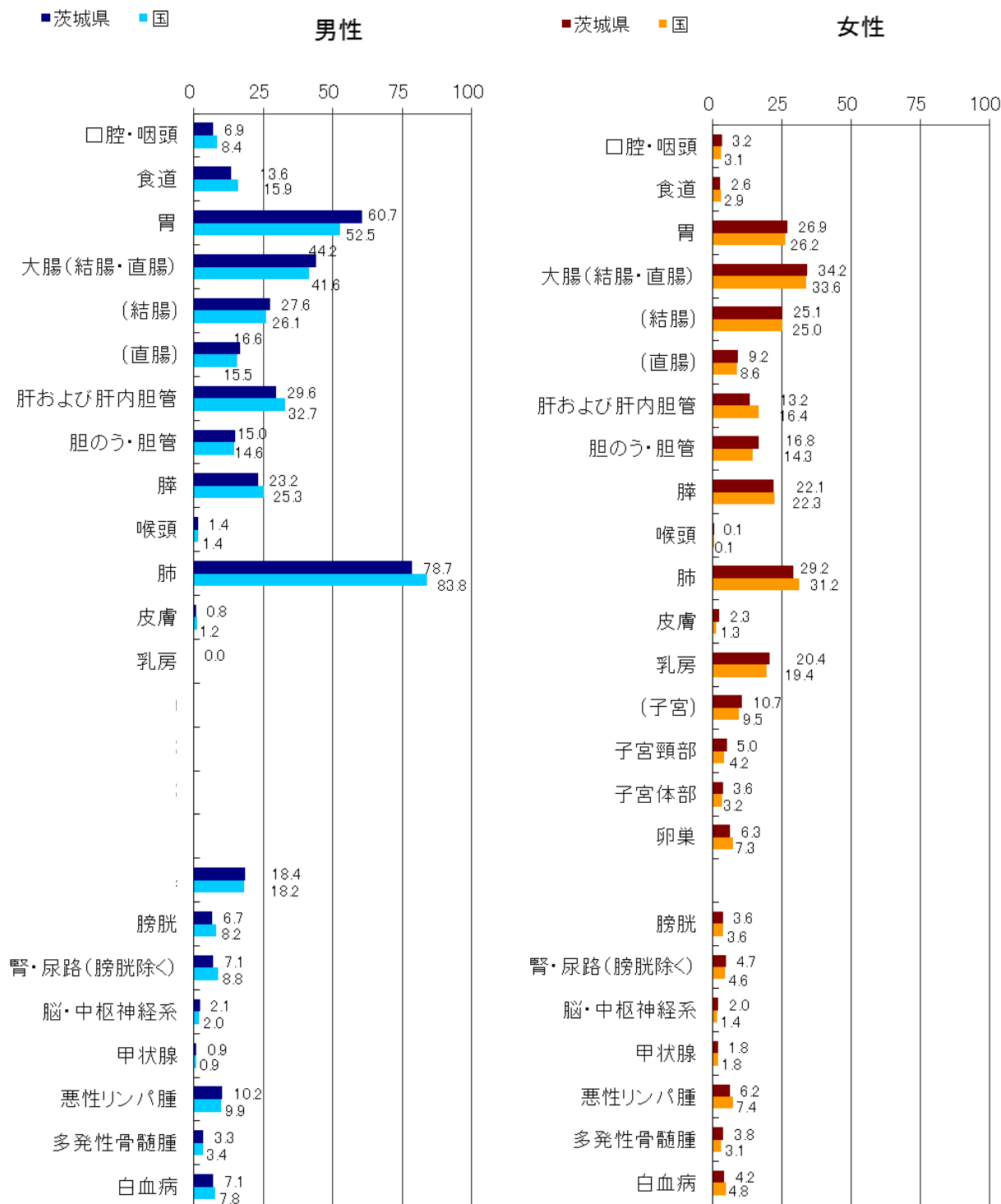
##### (2) 年齢階級別の死亡数



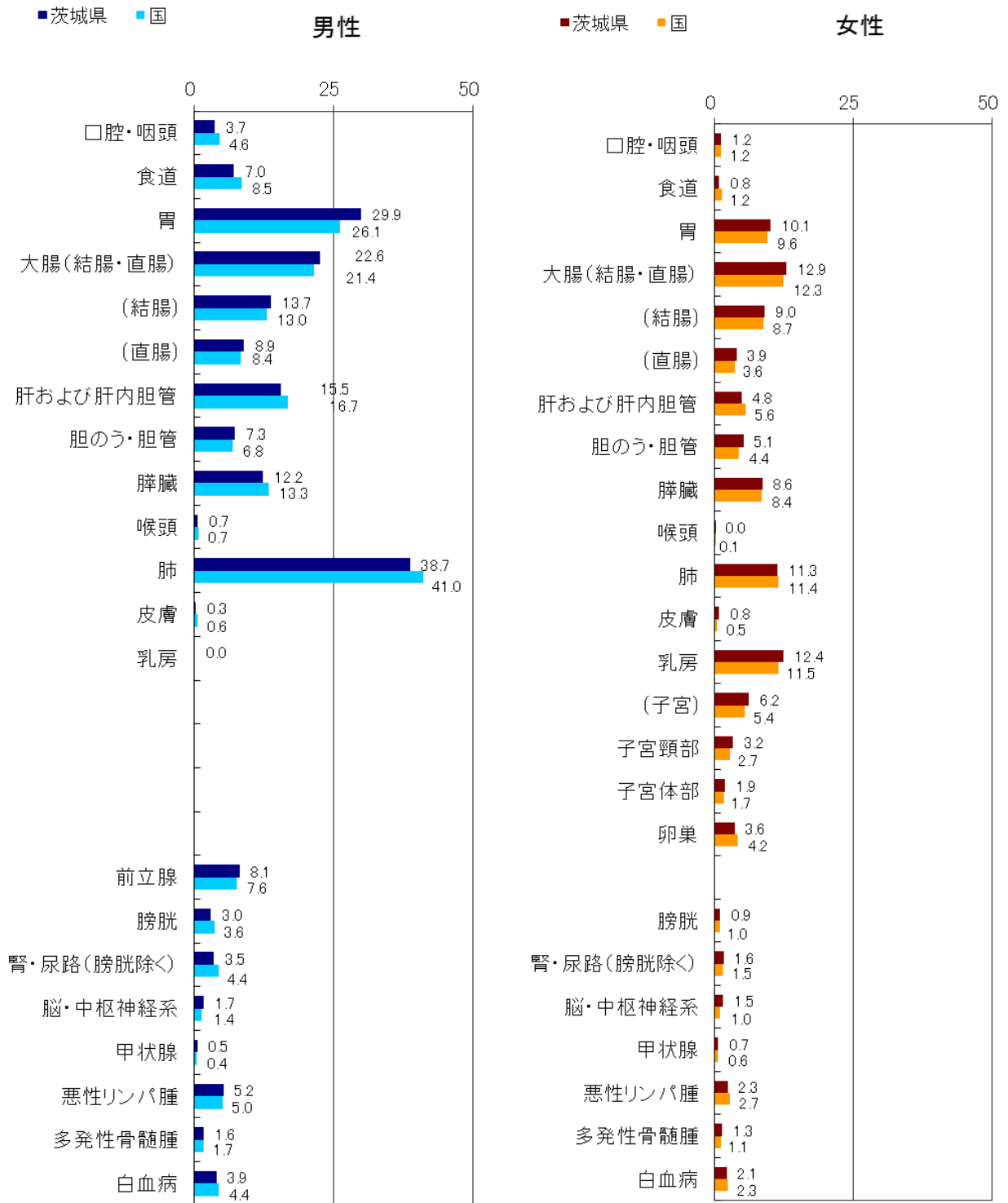
(3) 茨城県と全国のがん死亡率(人口10万人当たり)の比較

茨城県と全国のがん死亡率を比較したものである。年齢調整死亡率でみると、男性では、胃、大腸(結腸・直腸)等が全国より高く、食道、肺等が低い傾向であった。また、女性では、胃、大腸、乳房等が全国より高く、肝及び肝内胆管等が全国より低い傾向であった。

① 粗死亡率による比較



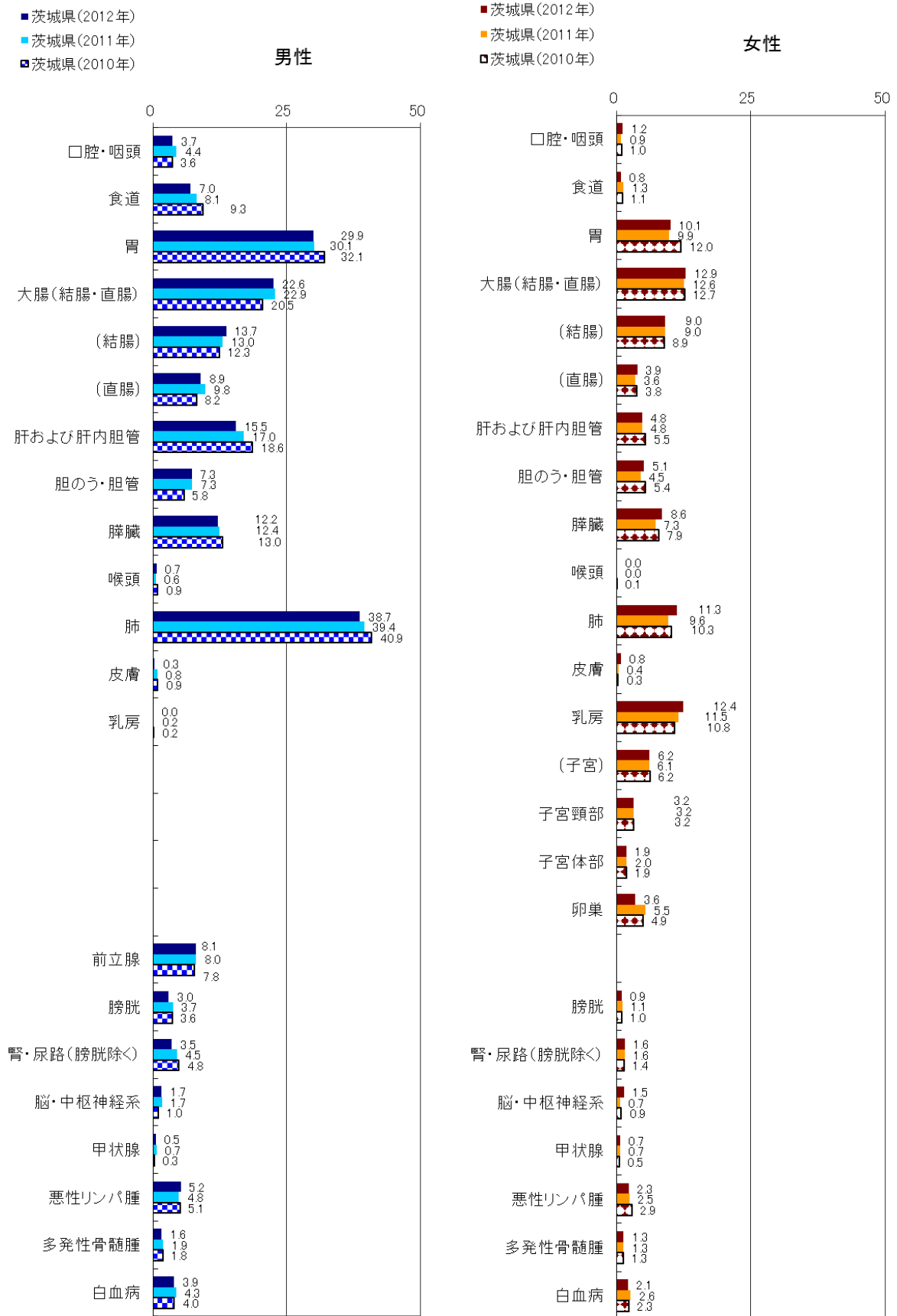
② 年齢調整死亡率による比較(昭和60年日本人モデル人口)



※ 国の値は、国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター「全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率(2012)」より引用。



③ 県内過去3年間の年齢調整死亡率(昭和60年日本モデル人口)



## 5 部位別年齢階級別罹患率及び死亡率の状況

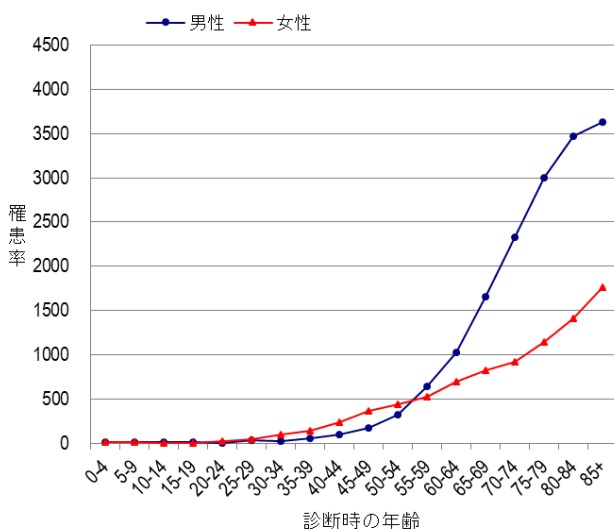
年齢階級別罹患率及び死亡率(ともに人口 10 万人あたりの人数)を、主な部位別、男女別に示す。

### ① 全部位

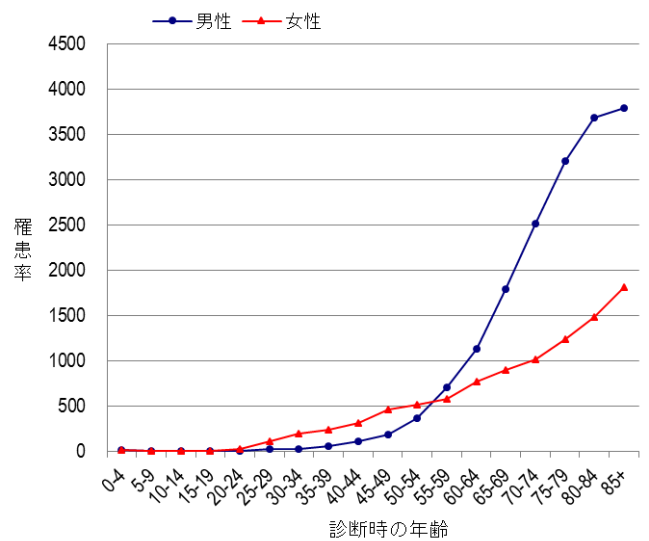
男性の罹患率は40代から徐々に上昇し、50代後半からその上昇率が高くなる。女性は20代後半より徐々に上昇し、50代からその上昇率が高くなる。50代以降での罹患率の上昇は男性が女性より高くなっている。一方、20代から50代前半で女性の罹患率が男性より高くなっているのは、乳がん・子宮がんによるものと思われる。

死亡率は、罹患率の上昇より少し遅れて、男女ともに40代後半から徐々に上昇し、60代前半からの上昇率が高くなる。50代以降での死亡率は男性が女性に比べて高いが、30代から40代前半では乳がん・子宮がんの影響で、女性の死亡率が男性より若干高い。

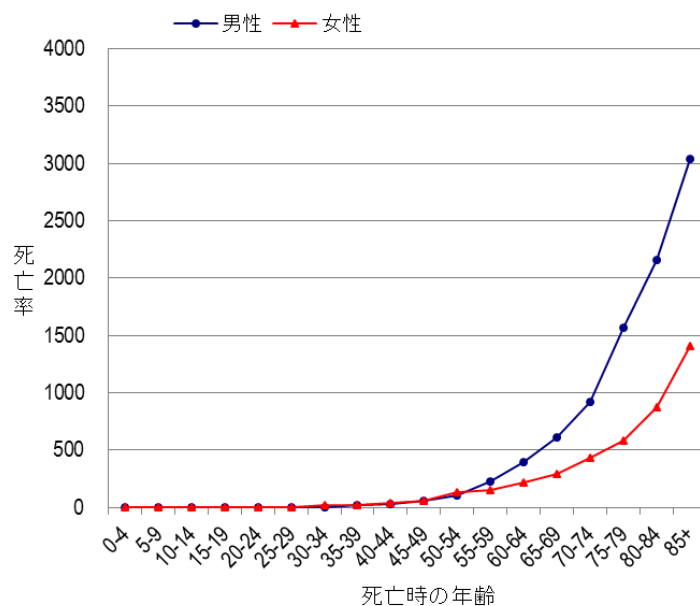
全部位(上皮内がんを含まない)



全部位(上皮内がんを含む)

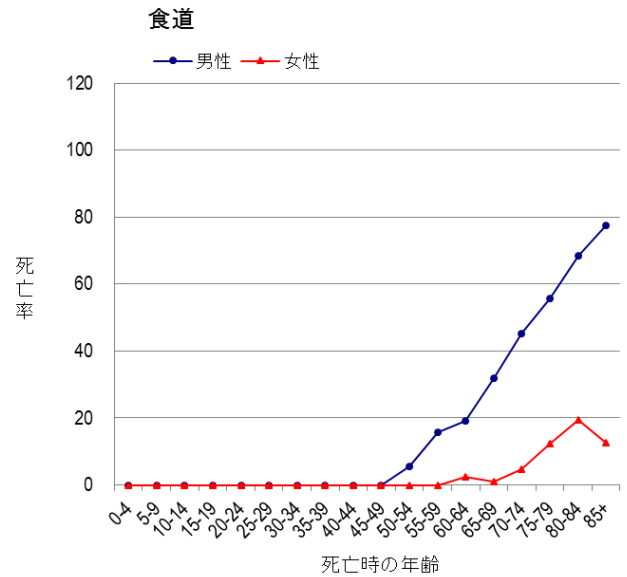
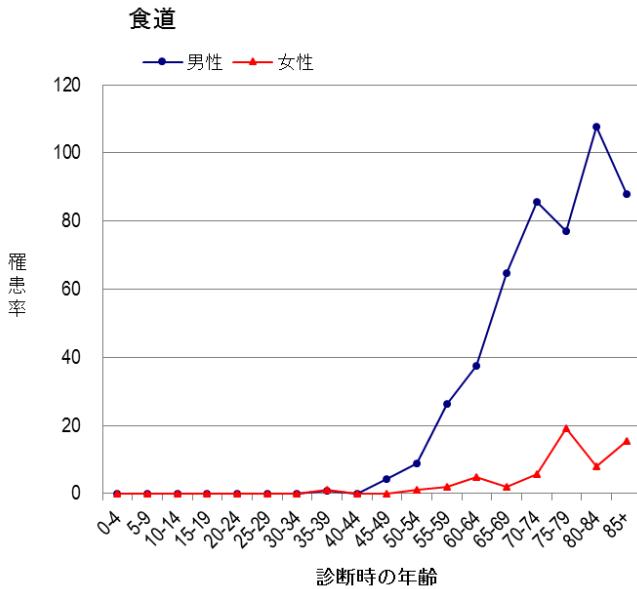


全部位



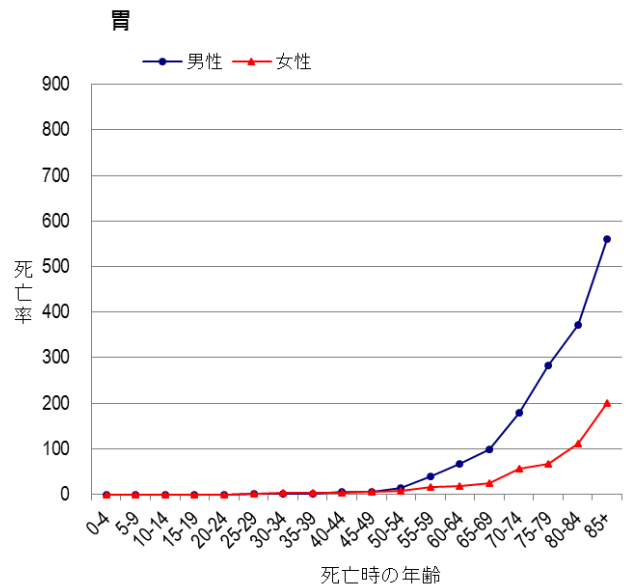
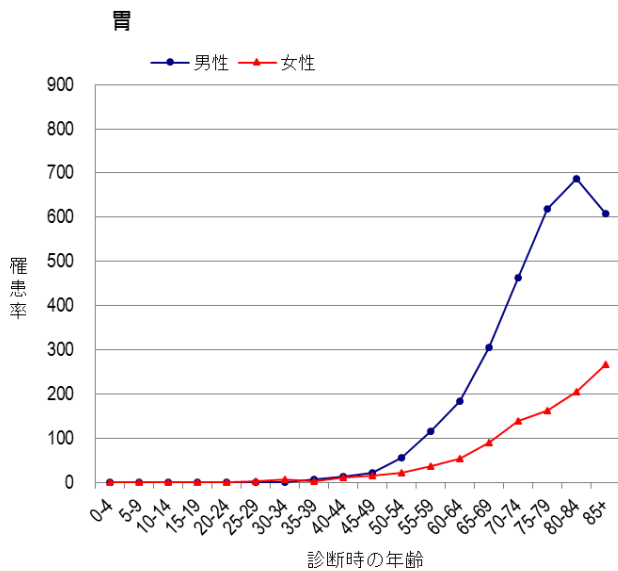
## ② 食道

男性の罹患率・死亡率は 50 代から上昇する。一方、女性の罹患率・死亡率については、男性と比較すると穏やかな上昇である。



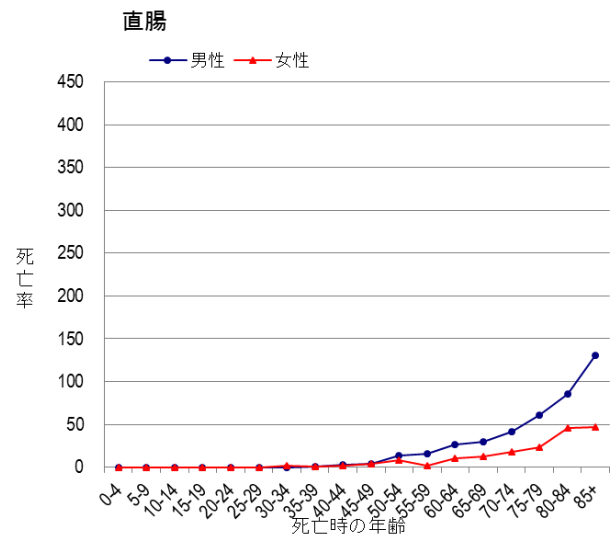
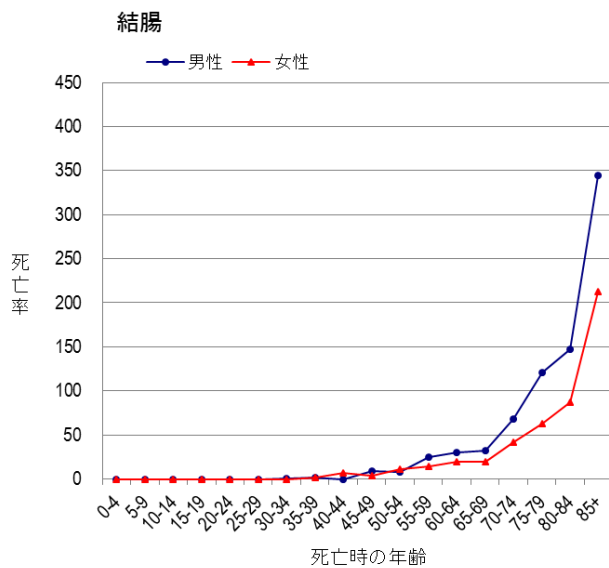
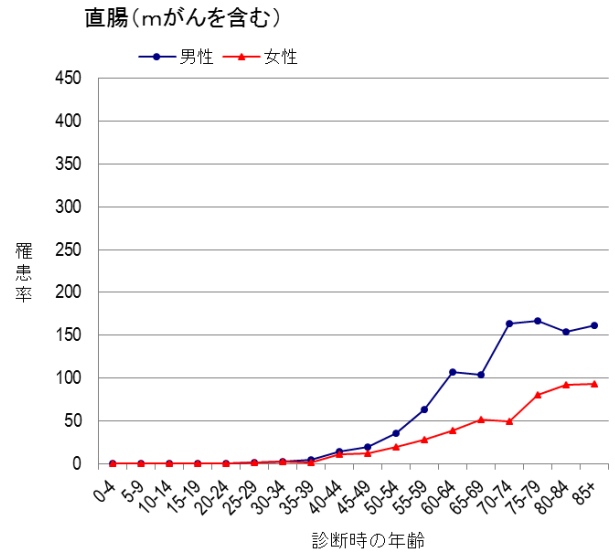
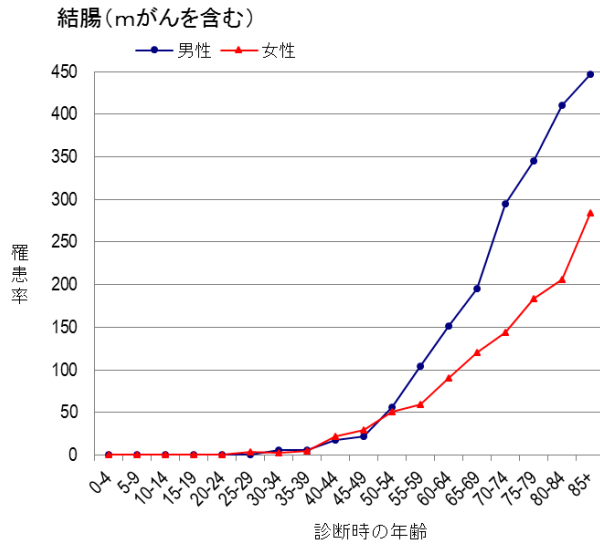
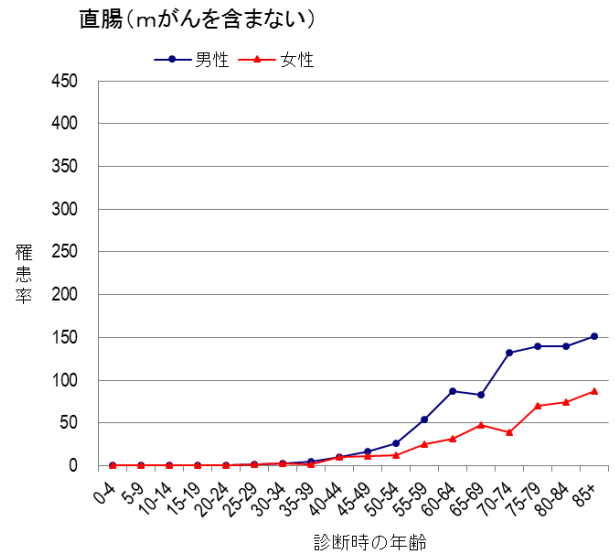
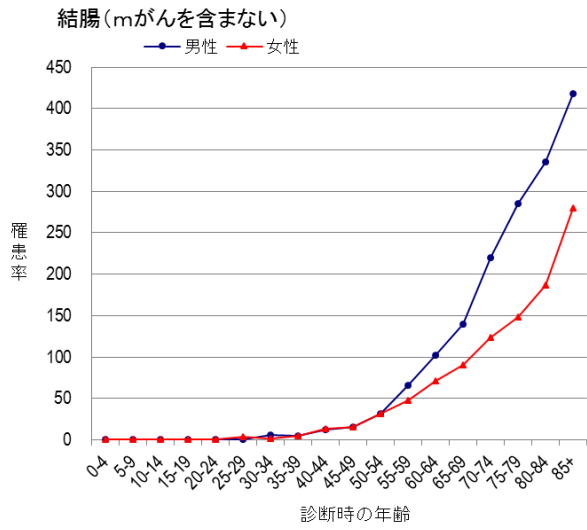
## ③ 胃

男女ともに 50 代から徐々に罹患率及び死亡率が上昇し、男性では、60 代から罹患率及び死亡率の上昇が著しい。



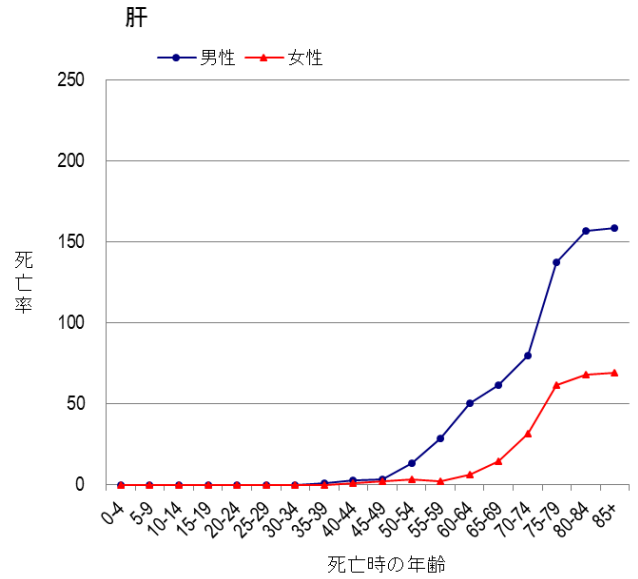
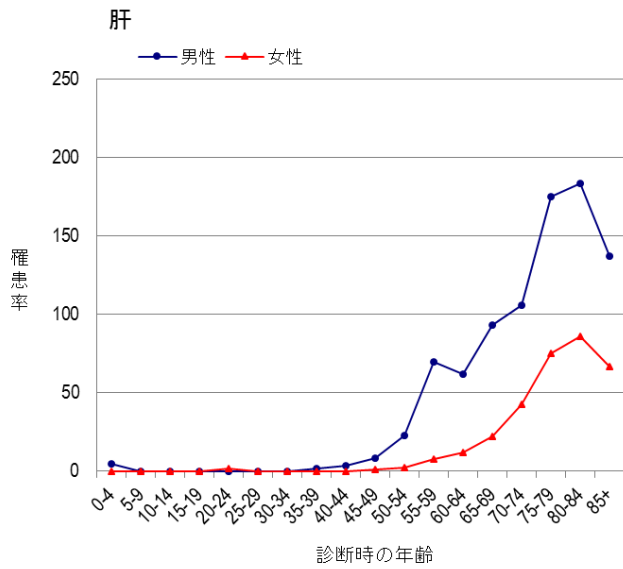
④ 大腸(結腸及び直腸)

罹患率は、男女ともに30代から徐々に上昇し、50代からその上昇率が高くなっている。死亡率は、40代から徐々に上昇し、60代後半から上昇率が高くなっている。



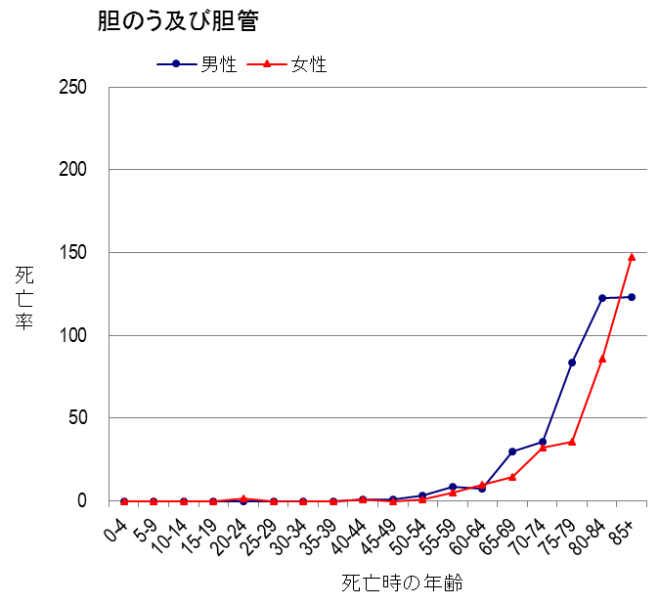
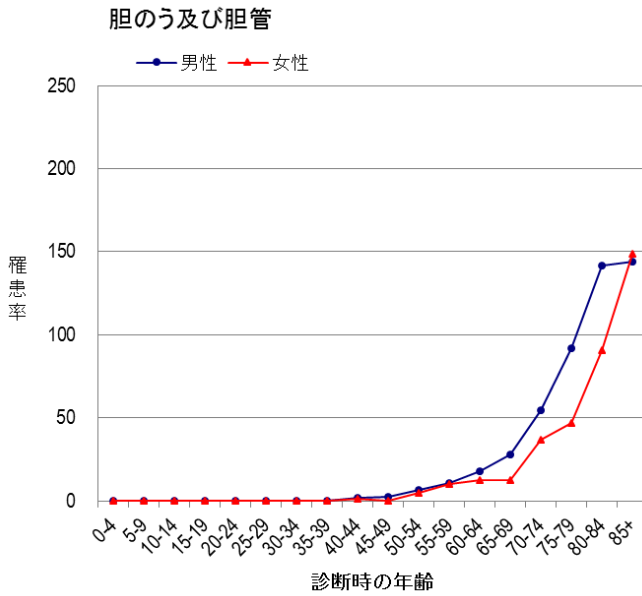
⑤ 肝

男性の罹患率及び死亡率は、50代から著しく上昇する。一方、女性は50代から罹患率が徐々に上昇する。



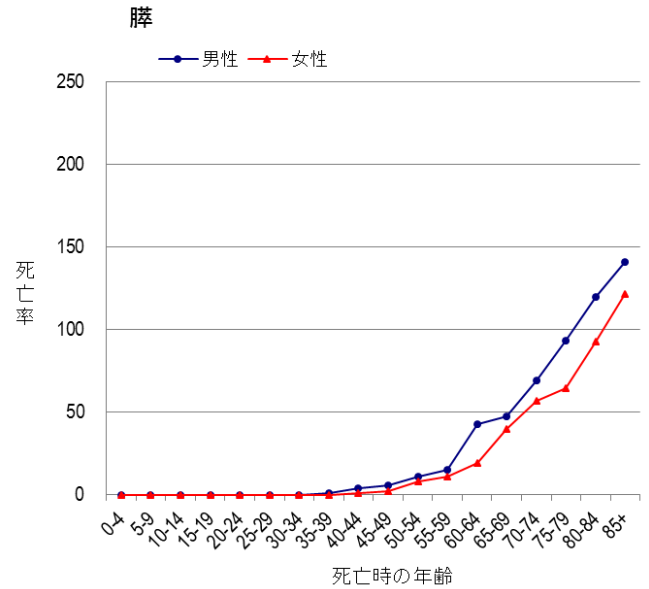
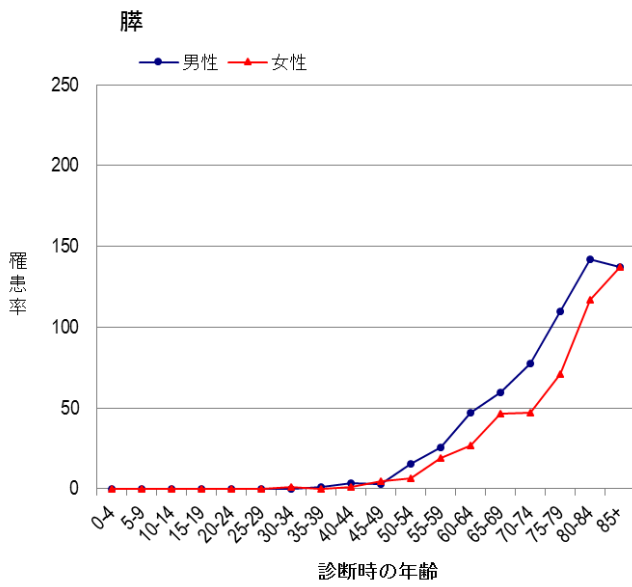
⑥ 胆のう・胆管

男女ともに50代前半からの罹患率及び死亡率が上昇し、60代からの上昇が著しい。性差が小さいことは、他のがんと異なる特徴である。



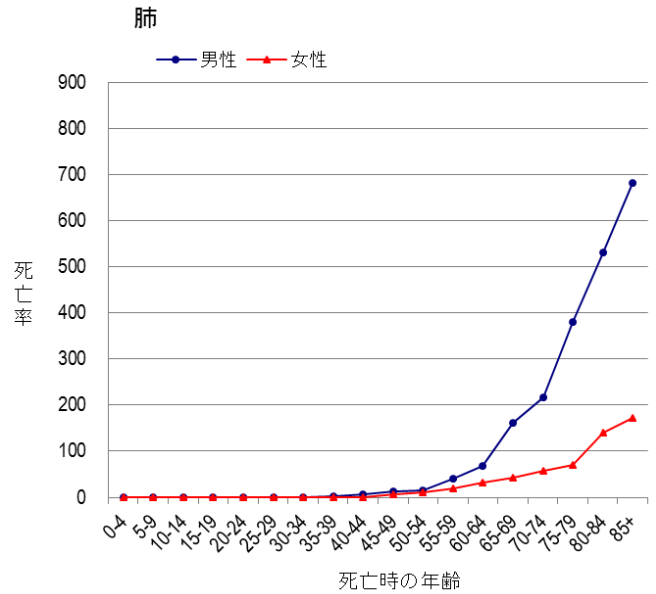
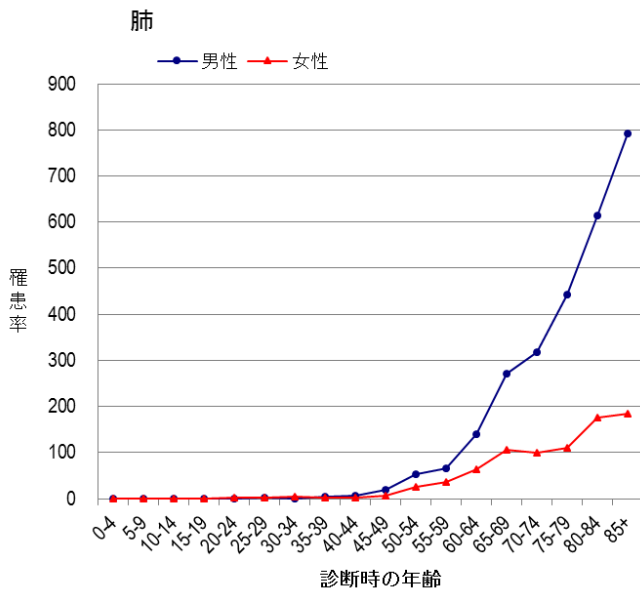
⑦ 膵

男女ともに40代後半から罹患率及び死亡率が徐々に上昇し、50代からの罹患率及び死亡率の上昇が著しい。性差が小さいことは、他のがんと異なる特徴である。



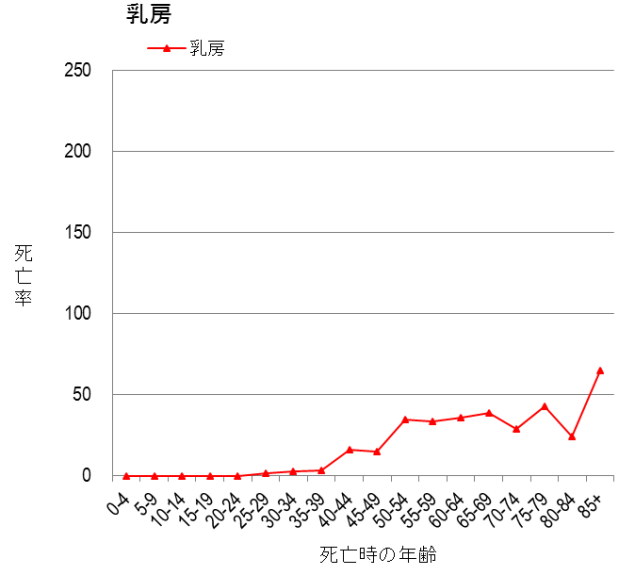
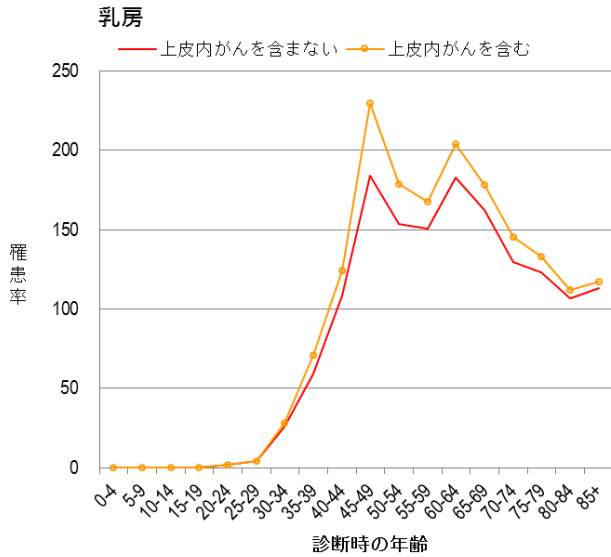
⑧ 肺

男女ともに40代から罹患率が上昇する。男性では、50代後半から罹患率が著しく上昇する。



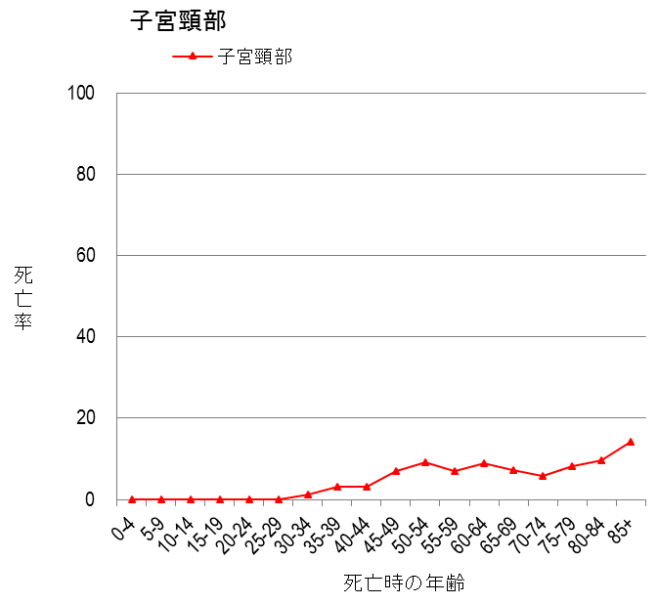
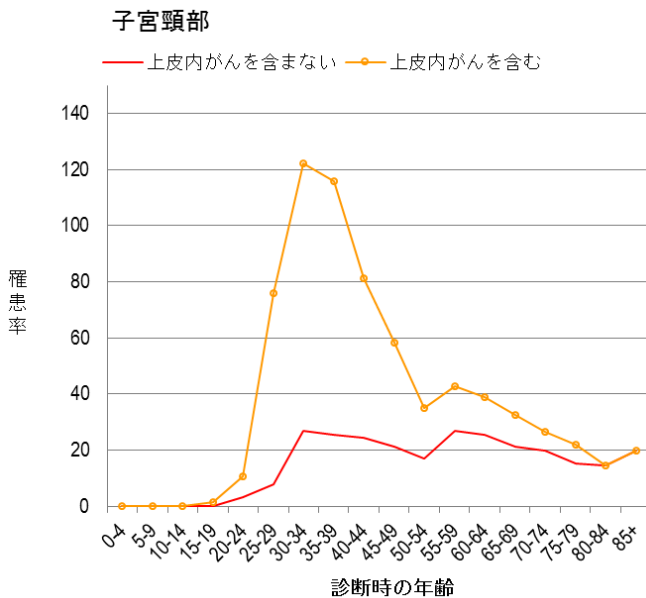
⑨ 乳房(女性のみ)

30代から罹患率が急激に上昇して、40代後半の罹患率が一番高い。一方、死亡率は40代で上昇するが、その後はほぼ横ばいである。



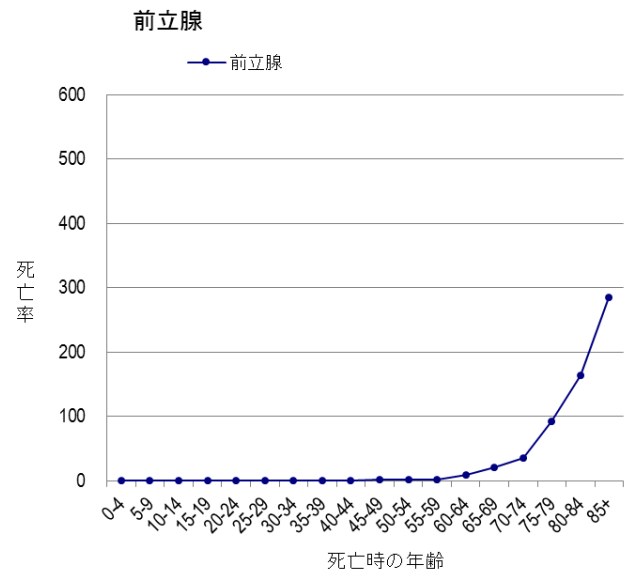
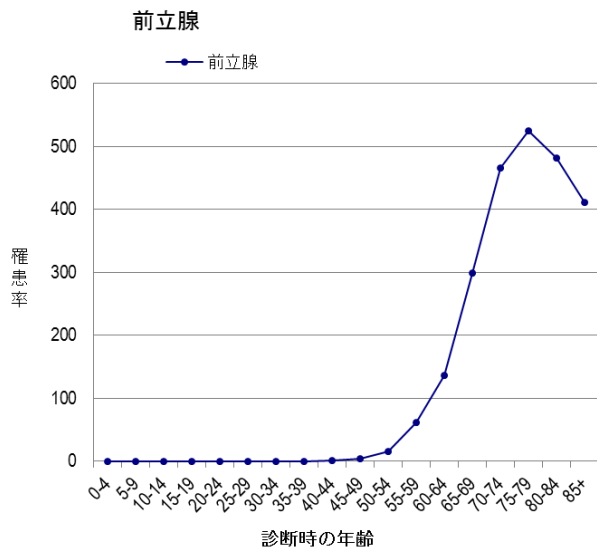
⑩ 子宮頸部

20代から30代後半にかけて罹患率の上昇がみられ、その後は徐々に減少している。一方、死亡率は、年齢が上がるほど上昇する傾向にある。また、上皮内がんの割合が他のがんと比較して多いことも特徴である。



### ⑪ 前立腺

罹患率は、50代前半から徐々に上昇し、60代からの上昇が急激である。一方、死亡率は、60代前半から徐々に上昇し、70代以降の上昇が著しい。





## 6 生存率

・生存率は、茨城県保健福祉部保健予防課で把握している 2009 年にがんと診断された県民のうち、次の(ア)から(ウ)を除くデータを集計対象とした。

(ア) 死亡情報のみで登録された患者(DCO 症例)

(イ) 上皮内がん・大腸の粘膜がん

(ウ) 多重がんのあるケースでは第2がん以降

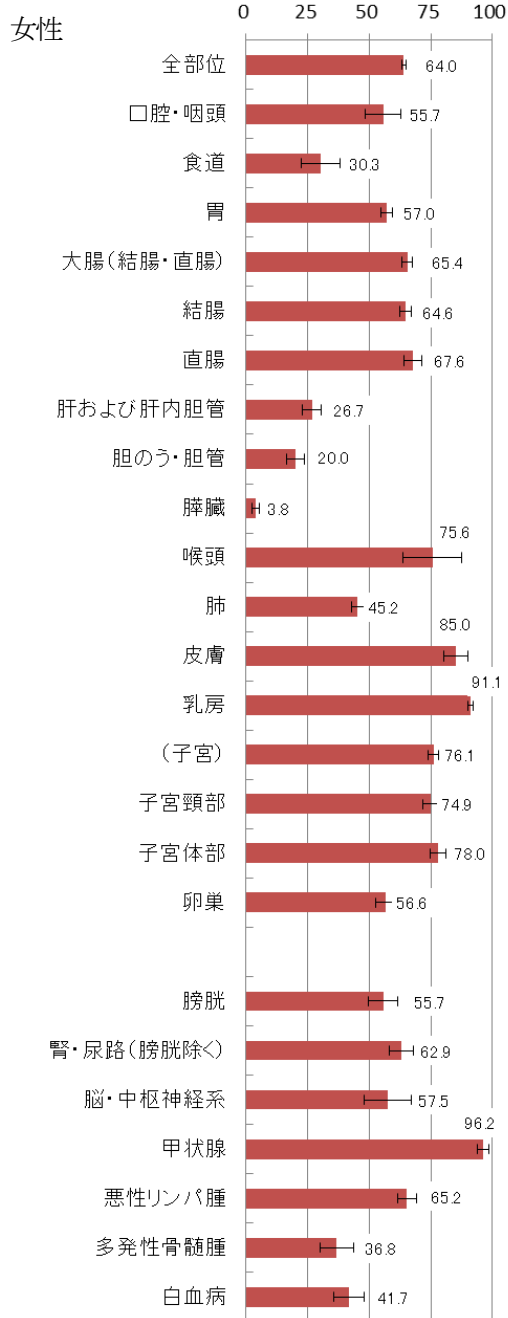
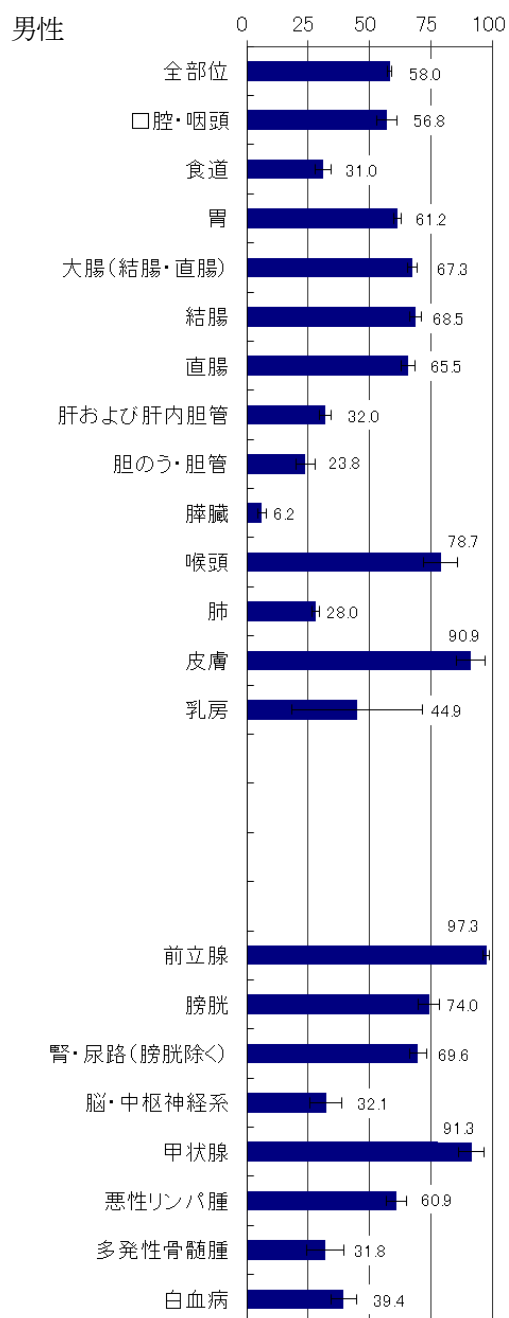
・2009 年の登録精度指標(上皮内がん除く)は、DCN19.3%、DCO15.6%、I/M 比 2.14 である。

・罹患者の生存状況については、人口動態死亡小票及び市町村への住民票照会(2014 年 12 月 31 日現在の状況)によって確認しており、2009 年罹患者の予後判明率は、98.7%である。

・診断日を起点とした実測生存率を Kaplan-Meier 法で算出し、実測生存率を、対象とするがん患者と同じ、性、年齢、出生年の一般集団の生存確率から計算した期待生存率で除した相対生存率を算出した。

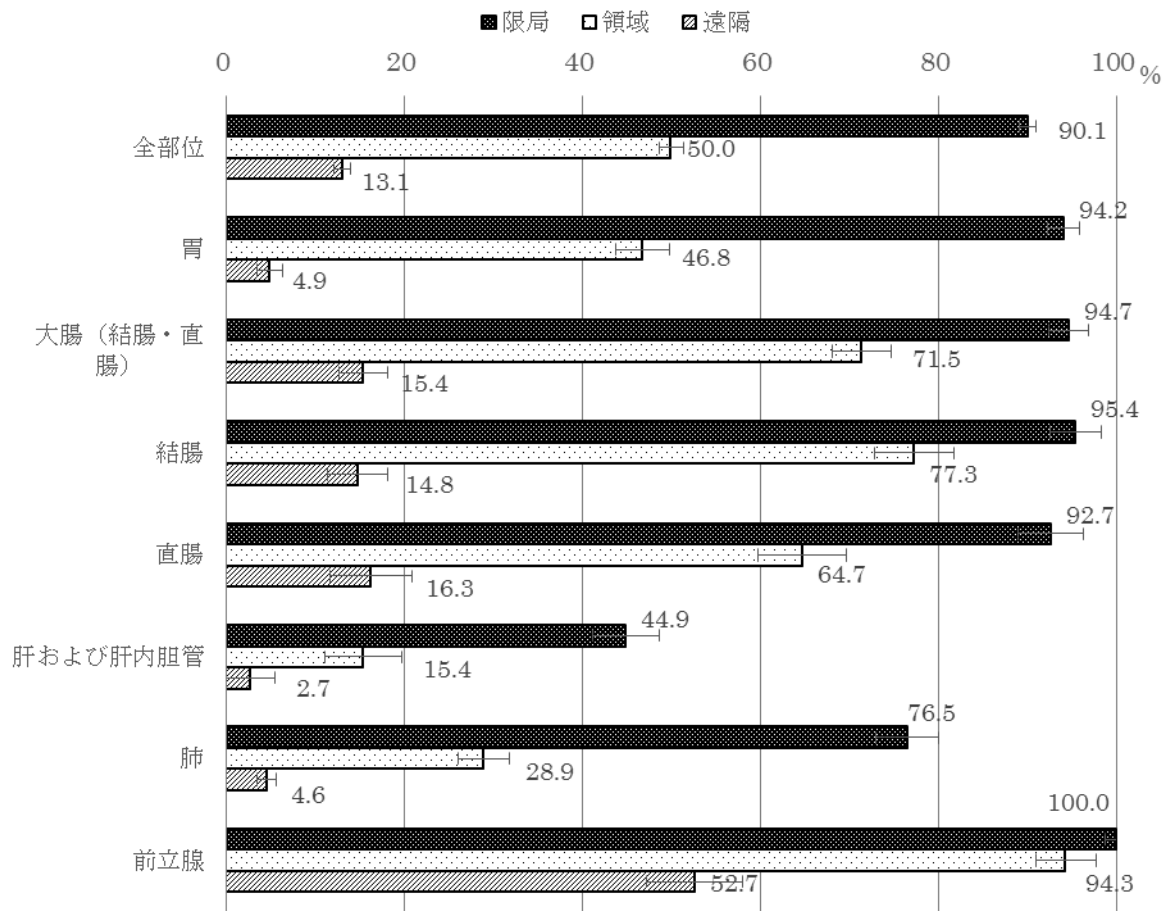
・期待生存率の算出には、国立がん研究センターがん対策情報センターが簡易生命表を用いて毎年計算しているコホート生存率表を用いた。

(1)部位別 5 年相対生存率(単位:%)

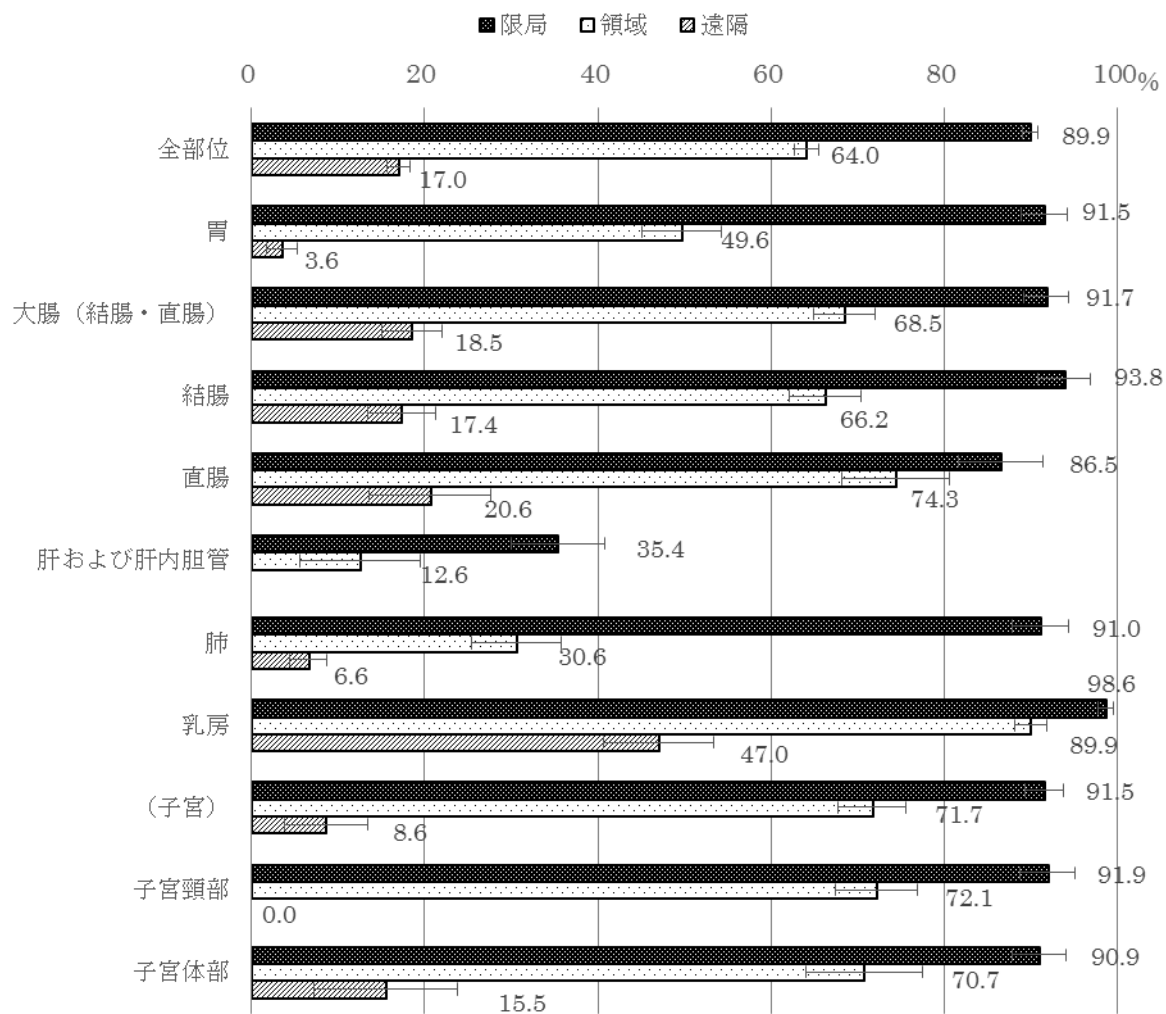


(2)部位別, 性別, 臨床進行度別 5 年相対生存率(単位:%)

男性



女性



## 付 表

表 1	罹患数・罹患割合(%)，粗罹患率，年齢調整罹患率(人口10万対)及び 累積罹患率(人口100対)	3 4
表 2	年齢階級別罹患数，罹患割合(%)	3 6
表 3	年齢階級別罹患率(人口10万対)	3 8
表 4	発見経緯(%)	4 0
表 5	臨床進行度分布(%)	4 2
表 6	受療割合(%)	4 4
表 7	切除内容(%)	4 6
表 8	精度指標	4 8
表 9	死亡数，死亡割合(%)，粗死亡率，年齢調整死亡率(人口10万対)及び 累積死亡率(人口100対)	5 2
表 10	年齢階級別死亡数，死亡割合(%)	5 3
表 11	年齢階級別死亡率(人口10万対)	5 4
表 12	5年相対生存率(%)	5 5
付表 1	がん罹患数及び罹患率	5 7
付表 2	がん死亡数及び死亡率	5 9
付表 3	受療割合詳細	6 1
付表 4	医療圏別，保健所別罹患数	6 3
付表 5	市町村別罹患数	6 5



表1. 罹患数、罹患割合(%)、粗罹患率、年齢調整罹患率(人口10万対)及び累積罹患率(人口100対)；部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

2012年

部位	ICD-10	罹患数				罹患割合(%)				粗罹患率				年齢調整罹患率				累積罹患率(0-74歳)				
		男		女		男		女		男		女		男		女		男		女		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
全部位	C00-C96 D00-D09	11,326	8,142	19,468	100.0	100.0	100.0	768.2	549.0	658.3	421.5	321.9	362.6	296.0	244.1	264.4	34.9	25.9	30.2			
食道	C15 D001	362	50	412	3.2	0.6	2.1	24.6	3.4	13.9	13.3	1.4	7.0	9.3	0.9	5.0	1.2	0.1	0.7			
大腸(結腸・直腸)*1	C18-C20 D010-D012	2,069	1,381	3,450	18.3	17.0	17.7	140.3	93.1	116.7	79.4	45.4	61.5	56.5	32.8	44.1	6.9	3.7	5.3			
結腸*1	C18 D010	1,344	984	2,328	11.9	12.1	12.0	91.2	66.3	78.7	50.7	32.0	40.7	35.6	23.1	29.0	4.3	2.6	3.4			
直腸*1	C19-C20 D011-D012	725	397	1,122	6.4	4.9	5.8	49.2	26.8	37.9	28.8	13.4	20.8	20.8	9.7	15.1	2.6	1.1	1.8			
肺	C33-C34 D021-D022	1,605	668	2,273	14.2	8.2	11.7	108.9	45.0	76.9	56.5	20.3	36.7	38.8	14.5	25.6	4.4	1.8	3.1			
皮膚	C43-C44 D030-D049	241	217	458	2.1	2.7	2.4	16.3	14.6	15.5	9.0	6.4	7.6	6.2	4.6	5.3	0.6	0.5	0.5			
乳房	C50 D05	6	1,565	1,571	0.1	19.2	8.1	0.4	105.5	53.1	0.2	79.8	39.7	0.1	62.1	30.8	0.0	6.7	3.3			
子宮	C53-C55 D06	-	984	984	-	12.1	5.1	-	66.3	-	-	61.4	-	-	49.8	-	-	-	4.6			
子宮頸部	C53 D06	-	640	640	-	7.9	3.3	-	43.2	-	-	44.4	-	-	36.6	-	-	-	3.2			
膀胱	C67 D090	512	145	657	4.5	1.8	3.4	34.7	9.8	22.2	18.1	3.7	10.4	12.5	2.5	7.2	1.4	0.3	0.9			

\*1 粘膜がんを含む

表2. 年齢階級別罹患数、罹患割合(%) ; 部位別、性別

A. 上皮内がんを除く

2012年

Table with columns for gender (性別), age group (年齢階級), and percentage of cases (罹患割合(%)). Rows list various cancer types and body parts (部位) such as mouth, esophagus, stomach, colon, and bladder, with corresponding numerical data for each age group.







表3. 年齢階級別罹患率（人口10万対）； 部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

2012年

性別	部位	ICD-10																	
		0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
男	全部位	14.7	9.1	8.2	11.0	6.8	31.5	29.6	60.0	107.6	189.1	368.1	712.1	1,130.4	1,787.1	2,514.2	3,201.3	3,681.2	3,787.3
	食道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	4.2	9.9	27.4	40.0	69.7	93.9	85.1	110.1	91.4
	大腸（結腸・直腸）*1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	8.5	9.8	32.6	42.5	92.0	168.0	258.6	298.4	488.9	512.3	565.0	608.4
	結腸 *1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	5.4	18.1	22.3	55.9	104.5	151.3	194.8	294.8	345.3	410.9	446.6
	直腸 *1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	2.1	4.5	14.5	20.2	36.1	63.5	107.3	103.6	164.0	166.9	154.1	161.8
	肺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	3.6	6.3	19.1	53.7	65.5	140.1	273.8	318.6	445.2	616.4	791.2
	皮膚	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	2.3	4.2	2.7	3.6	5.3	5.5	9.8	12.8	27.7	46.4	76.9	110.1	112.5
	乳房	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.0	1.2	1.6	2.4	0.0
	膀胱	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.8	0.0	5.3	13.1	32.2	44.8	83.0	104.6	155.5	161.4	256.7
女	全部位	12.2	9.5	7.2	5.9	30.2	115.4	200.6	238.6	317.2	463.9	514.1	582.8	766.4	899.1	1,011.2	1,233.6	1,480.9	1,807.3
	食道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.1	3.0	4.8	2.0	6.9	19.2	9.7	15.6
	大腸（結腸・直腸）*1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2	4.7	6.9	32.3	41.5	70.1	87.7	129.7	172.3	194.1	264.2	298.1	377.6
	結腸 *1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	2.3	4.9	21.5	29.1	50.8	59.8	90.7	120.6	144.5	183.5	205.8	284.3
	直腸 *1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.3	2.0	10.8	12.3	19.2	27.9	39.0	51.7	49.7	80.8	92.4	93.3
	肺	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.3	3.5	2.0	2.9	5.6	24.9	36.9	64.5	106.4	101.7	110.9	176.6	183.8
	皮膚	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.9	1.2	2.0	3.9	4.5	9.0	9.0	12.7	18.2	32.4	38.3	48.6	93.3
	乳房	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	3.9	28.2	70.7	124.3	229.7	178.5	167.4	203.7	178.4	145.6	132.8	111.8	117.4
	子宮	0.0	0.0	0.0	1.5	12.1	80.0	130.2	123.7	98.9	93.0	88.1	90.7	89.1	63.9	52.0	60.2	37.3	52.3
	子宮頸部	0.0	0.0	0.0	1.5	10.6	76.0	122.0	115.9	81.3	58.3	35.0	42.8	39.0	32.4	26.6	21.9	14.6	19.8
	膀胱	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	1.0	1.1	0.0	6.0	9.5	12.2	25.4	31.5	43.7	56.6
男女計	全部位	13.5	9.3	7.8	8.5	17.8	71.0	110.7	145.2	208.2	322.8	439.9	648.1	947.8	1,340.5	1,752.1	2,129.9	2,367.6	2,375.2
	食道	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	2.2	5.6	15.3	22.3	35.7	49.8	49.2	49.7	37.3
	大腸（結腸・直腸）*1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	6.7	8.4	32.4	42.0	81.2	128.2	194.0	235.0	324.6	377.2	404.5	443.8
	結腸 *1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	4.5	5.2	19.7	25.6	53.4	82.4	120.9	157.5	218.6	257.2	287.5	330.8
	直腸 *1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	2.2	3.3	12.7	16.4	27.8	45.9	73.0	77.5	106.1	120.0	117.0	113.0
	肺	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.2	1.7	2.8	4.7	12.5	39.5	51.3	102.2	189.6	208.6	263.2	351.8	358.0
	皮膚	0.0	0.0	0.7	0.7	0.0	3.1	2.8	2.3	3.8	4.9	7.2	9.4	12.8	22.9	39.3	55.9	73.1	98.8
	乳房	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.9	13.4	33.7	59.7	111.8	87.9	82.9	103.0	90.2	74.4	73.1	68.2	83.7
	膀胱	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.9	0.5	3.3	6.7	19.2	27.1	47.4	64.5	88.0	90.6	114.0

\*1 粘膜がんを含む

表4. 発見経緯 (%) ; 部位別

## A. 上皮内がんを除く

国内DCOを除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	集計対象数	がん検診	健診 人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他・不明 (症状受診を含む)
全部位	C00-C96	16,500	7.4	7.4	27.0	0.1	58.2
口腔・咽頭	C00-C14	275	0.0	0.4	11.3	0.0	88.4
食道	C15	357	1.4	5.0	31.4	0.0	62.2
胃	C16	2,559	7.9	10.6	26.4	0.0	55.1
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	2,556	7.0	7.4	22.6	0.0	63.0
結腸	C18	1,682	8.0	6.5	25.2	0.0	60.3
直腸	C19-C20	874	5.3	9.0	17.5	0.1	68.1
肝および肝内胆管	C22	739	0.9	4.1	57.9	0.0	37.1
胆のう・胆管	C23-C24	487	0.2	3.3	29.6	0.0	66.9
膵臓	C25	681	0.3	3.2	32.2	0.0	64.3
喉頭	C32	118	0.8	1.7	10.2	0.0	87.3
肺	C33-C34	2,074	8.9	10.4	33.9	0.2	46.5
皮膚	C43-C44	357	0.6	0.3	9.8	0.0	89.4
乳房	C50	1,341	20.2	7.4	8.8	0.0	63.6
乳房 (女性のみ)	C50	1,335	20.3	7.4	8.7	0.0	63.6
子宮	C53-C55	564	8.3	2.3	14.4	0.0	75.0
子宮頸部	C53	239	12.1	2.9	11.3	0.0	73.6
子宮体部	C54	310	5.5	1.9	16.8	0.0	75.8
卵巣	C56	205	3.4	3.4	21.5	0.0	71.7
前立腺	C61	1,514	18.7	11.4	34.3	0.2	35.3
膀胱	C67	336	0.6	2.4	18.2	0.0	78.9
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	490	1.8	10.4	42.4	0.2	45.1
脳・中枢神経系	C70-C72	101	0.0	2.0	8.9	0.0	89.1
甲状腺	C73	233	1.7	14.2	33.5	1.3	49.4
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	606	0.5	4.1	23.8	0.2	71.5
多発性骨髄腫	C88-C90	152	0.0	5.9	44.7	0.0	49.3
白血病	C91-C95	228	0.4	7.0	26.8	0.0	65.8

表4. 発見経緯 (%) ; 部位別

## B. 上皮内がんを含む

国内DCOを除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	集計対象数	がん検診	健診 人間ドック	他疾患の 経過観察中	剖検発見	その他・不明 (症状受診を含む)
全部位	C00-C96 D00-D09	18,246	8.7	7.8	26.8	0.1	56.6
食道	C15 D001	384	2.1	5.5	32.6	0.0	59.9
大腸 (結腸・直腸) *1	C18-C20 D010-D012	3,233	9.0	10.1	24.2	0.0	56.7
結腸 *1	C18 D010	2,177	10.0	10.0	26.2	0.0	53.7
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	1,056	6.9	10.4	19.9	0.1	62.7
肺	C33-C34 D021-D022	2,083	9.0	10.4	33.8	0.2	46.5
皮膚	C43-C44 D030-D049	454	0.4	0.2	9.9	0.0	89.4
乳房	C50 D05	1,520	22.0	7.4	9.5	0.0	61.1
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,514	22.1	7.4	9.4	0.0	61.1
子宮	C53-C55 D06	957	24.0	4.8	15.8	0.0	55.4
子宮頸部	C53 D06	632	33.5	6.3	15.3	0.0	44.8
膀胱	C67 D090	626	0.5	3.8	23.6	0.0	72.0

\*1 粘膜がんを含む

表5. 臨床進行度分布 (%) ; 部位別

A. 上皮内がんを除く

国内DC0を除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	集計対象数	限局	所属リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移	不明
全部位		16,500	42.0	9.2	14.6	20.7	13.4
口腔・咽頭	C00-C96	275	32.7	17.5	32.0	3.3	14.5
食道	C15	357	27.7	9.5	29.4	22.1	11.2
胃	C16	2,559	46.9	11.8	10.1	21.7	9.5
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	2,556	40.1	15.9	13.7	21.6	8.7
結腸	C18	1,682	38.8	14.8	15.0	22.8	8.6
直腸	C19-C20	874	42.6	18.1	11.1	19.3	8.9
肝および肝内胆管	C22	739	58.3	2.7	10.3	13.1	15.6
胆のう・胆管	C23-C24	487	16.0	2.7	39.6	26.1	15.6
膵臓	C25	681	6.6	1.5	32.0	46.0	14.0
喉頭	C32	118	65.3	6.8	13.6	1.7	12.7
肺	C33-C34	2,074	29.4	9.5	10.6	39.0	11.6
皮膚	C43-C44	357	81.0	1.4	7.8	2.0	7.8
乳房	C50	1,341	60.1	22.9	5.1	5.3	6.6
乳房 (女性のみ)	C50	1,335	60.0	22.9	5.1	5.3	6.7
子宮	C53-C55	564	52.7	4.3	23.6	9.2	10.3
子宮頸部	C53	239	41.0	5.0	36.4	7.9	9.6
子宮体部	C54	310	63.2	3.5	14.8	9.0	9.4
卵巣	C56	205	28.8	2.0	35.6	21.0	12.7
前立腺	C61	1,514	63.7	0.9	16.8	11.6	7.1
膀胱	C67	336	61.6	3.3	14.6	8.3	12.2
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	490	55.7	1.6	17.3	17.1	8.2
脳・中枢神経系	C70-C72	101	41.6	0.0	14.9	2.0	41.6
甲状腺	C73	233	40.3	39.1	6.4	8.6	5.6
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	606	17.8	0.0	13.5	43.6	25.1
多発性骨髄腫	C88-C90	152	0.0	0.0	0.0	3.3	96.7
白血病	C91-C95	228	0.4	0.0	0.9	2.6	96.1

表5. 臨床進行度分布 (%) ; 部位別

B. 上皮内がんを含む

国内DCOを除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	集計対象数	上皮内がん	限局	所属リンパ節 転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移	不明
全部位	C00-C96 D00-D09	18,246	9.5	38.0	8.4	13.2	18.8	12.2
食道	C15 D001	384	6.8	25.8	8.9	27.3	20.6	10.7
大腸 (結腸・直腸) *1	C18-C20 D010-D012	3,233	20.9	31.7	12.6	10.8	17.1	7.0
結腸 *1	C18 D010	2,177	22.6	29.9	11.4	11.6	17.6	6.8
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	1,056	17.2	35.2	15.0	9.2	16.0	7.4
肺	C33-C34 D021-D022	2,083	0.4	29.2	9.5	10.5	38.8	11.5
皮膚	C43-C44 D030-D049	454	21.1	63.7	1.1	6.2	1.5	6.4
乳房	C50 D05	1,520	11.5	53.0	20.2	4.5	4.7	6.1
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,514	11.6	52.9	20.2	4.5	4.7	6.1
子宮	C53-C55 D06	957	40.6	31.0	2.5	13.9	5.4	6.5
子宮頸部	C53 D06	632	61.6	15.5	1.9	13.8	3.0	4.3
膀胱	C67 D090	626	46.0	33.1	1.8	7.8	4.5	6.9

\*1 粘膜がんを含む

表6. 受療割合 (%) ; 部位別 \*1

## A. 上皮内がんを除く

国内DCOを除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	集計対象数	外科・体腔鏡 内視鏡的治療	放射線療法	化学・免疫・ 内分泌療法	特異療法なしまたは 治療方法不明
全部位	C00-C96	16,500	54.3	11.9	41.2	21.0
口腔・咽頭	C00-C14	275	41.5	42.5	40.7	25.5
食道	C15	357	34.5	38.1	45.9	26.6
胃	C16	2,559	67.5	0.8	27.4	20.3
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	2,556	80.8	1.5	31.9	15.3
結腸	C18	1,682	80.7	0.7	30.3	15.7
直腸	C19-C20	874	81.1	3.2	34.9	14.5
肝および肝内胆管	C22	739	17.9	4.2	31.0	37.8
胆のう・胆管	C23-C24	487	56.3	2.9	26.3	28.1
膵臓	C25	681	31.3	3.1	47.6	31.7
喉頭	C32	118	38.1	67.8	33.1	16.9
肺	C33-C34	2,074	33.3	17.5	36.5	29.7
皮膚	C43-C44	357	87.4	4.8	5.6	10.4
乳房	C50	1,341	85.3	33.3	80.9	7.9
乳房 (女性のみ)	C50	1,335	85.3	33.4	80.9	7.9
子宮	C53-C55	564	68.1	23.2	39.0	13.5
子宮頸部	C53	239	51.0	43.5	44.8	13.8
子宮体部	C54	310	82.3	8.4	34.8	11.9
卵巣	C56	205	77.1	0.5	63.4	15.6
前立腺	C61	1,514	26.0	17.8	58.3	15.9
膀胱	C67	336	79.2	9.5	44.3	15.5
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	490	71.2	4.3	16.9	19.4
脳・中枢神経系	C70-C72	101	66.3	52.5	45.5	24.8
甲状腺	C73	233	84.1	4.7	30.0	13.7
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	606	8.4	10.2	68.8	23.4
多発性骨髄腫	C88-C90	152	1.3	7.2	69.1	27.6
白血病	C91-C95	228	0.4	1.3	72.4	26.3

\*1 重複を含むため合計は100%にならない

表6. 受療割合 (%) ; 部位別 \*1

## B. 上皮内がんを含む

国内DCOを除く届出患者、男女計

2012年

部位	ICD-10	集計対象数	外科・体腔鏡 内視鏡的治療	放射線療法	化学・免疫・ 内分泌療法	特異療法なしまたは 治療方法不明
全部位	C00-C96 D00-D09	18,246	58.1	11.3	38.4	19.3
食道	C15 D001	384	36.2	36.5	43.5	26.0
大腸 (結腸・直腸) *2	C18-C20 D010-D012	3,233	84.5	1.2	25.4	12.3
結腸 *2	C18 D010	2,177	84.7	0.5	23.7	12.4
直腸 *2	C19-C20 D011-D012	1,056	84.2	2.7	29.0	12.1
肺	C33-C34 D021-D022	2,083	33.6	17.4	36.4	29.6
皮膚	C43-C44 D030-D049	454	88.3	3.7	4.6	9.7
乳房	C50 D05	1,520	86.0	34.9	74.9	7.9
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,514	86.0	34.9	74.8	7.9
子宮	C53-C55 D06	957	77.4	13.9	23.2	10.2
子宮頸部	C53 D06	632	75.8	16.8	17.2	8.7
膀胱	C67 D090	626	87.4	5.6	47.3	9.4

\*1 重複を含むため合計は100%にならない

\*2 粘膜がんを含む



表7. 切除内容 (%) ; 部位別

## A. 上皮内がんを除く

国内DCOを除く届出患者、男女計

2012年

部位	I0D-10	外科・体腔鏡 内視鏡治療数	完全切除	不完全切除	治癒度不明	姑息・対症 転移巣切除	不明
全部位	C00-C96	8,957	76.4	8.2	7.4	6.1	1.9
口腔・咽頭	C00-C14	114	78.1	3.5	4.4	6.1	7.9
食道	C15	123	65.0	6.5	9.8	17.1	1.6
胃	C16	1,728	79.8	7.4	6.3	4.9	1.6
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	2,066	74.8	9.0	7.2	6.8	2.1
結腸	C18	1,357	75.2	9.2	6.8	6.6	2.2
直腸	C19-C20	709	74.2	8.6	8.0	7.2	2.0
肝および肝内胆管	C22	132	73.5	6.1	6.8	9.8	3.8
胆のう・胆管	C23-C24	274	44.9	8.8	6.9	37.6	1.8
膵臓	C25	213	40.4	8.5	5.6	42.3	3.3
喉頭	C32	45	60.0	15.6	8.9	13.3	2.2
肺	C33-C34	691	85.4	3.9	5.2	2.6	2.9
皮膚	C43-C44	312	95.2	2.2	2.2	0.3	0.0
乳房	C50	1,144	82.7	6.6	8.7	0.2	1.9
乳房 (女性のみ)	C50	1,139	82.7	6.5	8.7	0.2	1.9
子宮	C53-C55	384	89.3	5.2	2.6	2.1	0.8
子宮頸部	C53	122	88.5	4.1	2.5	4.9	0.0
子宮体部	C54	255	89.4	5.9	2.7	0.8	1.2
卵巣	C56	158	60.8	22.8	15.8	0.0	0.6
前立腺	C61	393	78.6	10.2	7.1	2.3	1.8
膀胱	C67	266	57.9	18.0	21.4	1.9	0.8
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	349	86.8	5.2	5.7	2.0	0.3
脳・中枢神経系	C70-C72	67	37.3	40.3	14.9	0.0	7.5
甲状腺	C73	196	89.3	4.6	4.6	0.0	1.5
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	51	25.5	25.5	29.4	13.7	5.9
多発性骨髄腫	C88-C90	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
白血病	C91-C95	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

表7. 切除内容 (%) ; 部位別

B. 上皮内がんを含む

国内DCOを除く届出患者、男女計

2012年

部位	I0D-10	外科・体腔鏡 内視鏡治療数	完全切除	不完全切除	治癒度不明	姑息・対症 転移巣切除	不明
全部位	C00-C96 D00-D09	10,601	78.5	7.5	7.1	5.1	1.8
食道	C15 D001	139	67.6	5.8	10.1	15.1	1.4
大腸 (結腸・直腸) *1	C18-C20 D010-D012	2,733	78.9	7.2	6.7	5.2	2.0
結腸 *1	C18 D010	1,844	79.4	7.3	6.3	4.9	2.2
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	889	78.0	7.2	7.4	5.7	1.7
肺	C33-C34 D021-D022	700	85.6	3.9	5.1	2.6	2.9
皮膚	C43-C44 D030-D049	401	94.8	2.7	2.2	0.2	0.0
乳房	C50 D05	1,307	82.9	6.7	8.3	0.2	1.9
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,302	82.9	6.6	8.4	0.2	1.9
子宮	C53-C55 D06	741	89.9	6.2	2.0	1.1	0.8
子宮頸部	C53 D06	479	90.0	6.5	1.7	1.3	0.6
膀胱	C67 D090	547	71.8	9.1	16.8	0.9	1.3

\*1 粘膜がんを含む





表8. 精度指標； 部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

2012年

部位	罹患/死亡比 (IM比)						死亡情報で初めて把握された症例 DCN (%)						死亡情報のみの症例 DC0 (%)						国際 DC0 (%)						病理学的裏付けのある症例 MV (%)						組織学的裏付けのある症例 HV (%)					
	男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計		男		女		男女計							
	ICD-10																																			
全部位	C00-C96	D00-D09	2.26	2.47	2.35	13.0	13.8	13.3	5.7	7.1	6.3	5.2	6.7	5.8	83.6	82.5	83.1	79.4	78.8	79.2																
食道	C15	D001	1.83	1.32	1.75	11.6	16.0	12.1	6.1	12.0	6.8	6.1	12.0	6.8	89.8	84.0	89.1	89.2	84.0	88.6																
大腸 (結腸・直腸) *1	C18-C20	D010-D012	3.22	2.76	3.02	11.4	15.4	13.0	5.3	7.8	6.3	5.2	7.5	6.1	90.0	85.7	88.3	89.7	85.1	87.9																
結腸 *1	C18	D010	3.35	2.69	3.04	11.5	16.3	13.5	5.2	8.2	6.5	5.1	7.9	6.3	89.1	84.1	87.0	88.7	83.5	86.5																
直腸 *1	C19-C20	D011-D012	3.00	2.96	2.98	11.0	13.4	11.9	5.4	6.8	5.9	5.4	6.5	5.8	91.7	89.4	90.9	91.6	88.9	90.6																
肺	C33-C34	D021-D022	1.40	1.57	1.45	18.3	20.7	19.0	7.5	10.3	8.4	6.4	9.7	7.4	80.1	75.6	78.8	61.2	61.2	61.2																
皮膚	C43-C44	D030-D049	21.91	6.58	10.41	0.8	2.8	1.7	0.4	1.4	0.9	0.0	0.5	0.2	100.0	99.1	99.6	100.0	99.1	99.6																
乳房	C50	D05	...	5.25	5.27	0.0	5.8	5.8	0.0	3.3	3.2	0.0	3.1	3.1	100.0	94.6	94.6	100.0	93.2	93.3																
子宮	C53-C55	D06	-	6.31	6.31	-	3.4	3.4	-	2.7	2.7	-	2.6	2.6	-	96.5	96.5	-	94.6	94.6																
子宮頸部	C53	D06	-	8.77	8.77	-	1.4	1.4	-	1.3	1.3	-	1.1	1.1	-	98.6	98.6	-	96.3	96.3																
膀胱	C67	D090	5.28	2.74	4.38	5.7	14.5	7.6	3.5	9.0	4.7	3.3	9.0	4.6	94.7	84.1	92.4	92.0	79.3	89.2																

\*1 粘膜がんを含む

表8. 精度指標； 部位別、性別

B'. 上皮内がんを含む

2012年

部位	死亡情報で初めて把握された症例 DON (%)			死亡情報のみの症例 DCO (%)			国際 DCO (%)			病理学的裏付けのある症例 MV (%)			組織学的裏付けのある症例 HV (%)		
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計
全部位	13.0	13.8	13.3	5.7	7.1	6.3	5.2	6.7	5.8	83.6	82.5	83.1	79.4	78.8	79.2
ICD-10															
C00-C96 D00-D09	11.6	16.0	12.1	6.1	12.0	6.8	6.1	12.0	6.8	89.8	84.0	89.1	89.2	84.0	88.6
食道															
C18-C20 D010-D012	11.4	15.4	13.0	5.3	7.8	6.3	5.2	7.5	6.1	90.0	85.7	88.3	89.7	85.1	87.9
大腸 (結腸・直腸) *1															
C18 D010	11.5	16.3	13.5	5.2	8.2	6.5	5.1	7.9	6.3	89.1	84.1	87.0	88.7	83.5	86.5
結腸 *1															
C19-C20 D011-D012	11.0	13.4	11.9	5.4	6.8	5.9	5.4	6.5	5.8	91.7	89.4	90.9	91.6	88.9	90.6
直腸 *1															
C33-C34 D021-D022	18.3	20.7	19.0	7.5	10.3	8.4	6.4	9.7	7.4	80.1	75.6	78.8	61.2	61.2	61.2
肺															
C43-C44 D030-D049	0.8	2.8	1.7	0.4	1.4	0.9	0.0	0.5	0.2	100.0	99.1	99.6	100.0	99.1	99.6
皮膚															
C50 D05	0.0	5.8	5.8	0.0	3.3	3.2	0.0	3.1	3.1	100.0	94.6	94.6	100.0	93.2	93.3
乳房															
C53-C55 D06	-	3.4	3.4	-	2.7	2.7	-	2.6	2.6	-	96.5	96.5	-	94.6	94.6
子宮															
C53 D06	-	1.4	1.4	-	1.3	1.3	-	1.1	1.1	-	98.6	98.6	-	96.3	96.3
子宮頸部															
C67 D090	5.7	14.5	7.6	3.5	9.0	4.7	3.3	9.0	4.6	94.7	84.1	92.4	92.0	79.3	89.2
膀胱															

\*1 粘膜がんを含む



表10. 年齢階級別死亡数、死亡割合(%) ; 部別、性別

2012年

Table with columns for sex (性別), department (部別), age group (年齢), and death statistics (死亡数, 割合%). The table is organized into sections for men (男) and women (女), with each section containing rows for various departments like all-cause mortality (全部位), circulatory diseases (循環器), and cancer (悪性新生物).





表12.5年相対生存率(%) \*1

## A. 部位別、性別

2009年

部位	ICD-10	男			女			男女計		
		対象者数	5年相対生存率(%)	標準誤差	対象者数	5年相対生存率(%)	標準誤差	対象者数	5年相対生存率(%)	標準誤差
全部位	C00-C96	7,769	58.0	0.7	5,330	64.0	0.7	13,099	60.5	0.5
口腔・咽頭	C00-C14	193	56.8	4.1	60	55.7	7.3	253	56.8	3.6
食道	C15	275	31.0	3.2	40	30.3	7.8	315	30.9	2.9
胃	C16	1,501	61.2	1.5	618	57.0	2.3	2,119	60.0	1.3
大腸(結腸・直腸)*2	C18-C20	1,113	67.3	1.8	766	65.4	2.0	1,879	66.5	1.3
結腸	C18	653	68.5	2.3	547	64.6	2.4	1,200	66.7	1.7
直腸	C19-C20	460	65.5	2.7	219	67.6	3.7	679	66.2	2.2
肝および肝内胆管	C22	450	32.0	2.4	168	26.7	3.7	618	30.5	2.1
胆のう・胆管	C23-C24	171	23.8	3.8	155	20.0	3.6	326	22.0	2.6
膵臓	C25	261	6.2	1.6	205	3.8	1.4	466	5.1	1.1
喉頭	C32	65	78.7	7.0	15	75.6	12.1	80	78.4	6.1
肺	C33-C34	1,180	28.0	1.5	452	45.2	2.6	1,632	32.8	1.3
皮膚	C43-C44	99	90.9	5.8	135	85.0	4.9	234	89.0	3.8
乳房	C50	5	44.9	26.4	1,216	91.1	1.0	1,221	90.9	1.0
子宮	C53-C55	-	-	-	457	76.1	2.2	457	76.1	2.2
子宮頸部	C53	-	-	-	239	74.9	3.1	239	74.9	3.1
子宮体部	C54	-	-	-	213	78.0	3.1	213	78.0	3.1
卵巣	C56	-	-	-	178	56.6	3.9	178	56.6	3.9
前立腺	C61	1,264	97.3	1.3	-	-	-	1,264	97.3	1.3
膀胱	C67	221	74.0	4.1	93	55.7	6.0	314	68.4	3.4
腎・尿路(膀胱除く)	C64-C66 C68	252	69.6	3.5	117	62.9	4.9	369	67.8	2.9
脳・中枢神経系	C70-C72	59	32.1	6.4	28	57.5	9.7	87	40.3	5.5
甲状腺	C73	55	91.3	5.2	151	96.2	2.2	206	94.9	2.1
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	208	60.9	4.1	195	65.2	3.8	403	63.0	2.8
多発性骨髄腫	C88-C90	49	31.8	7.6	56	36.8	6.9	105	34.7	5.1
白血病	C91-C95	101	39.4	5.3	64	41.7	6.3	165	40.7	4.1
小児がん		17	75.1	10.8	17	88.3	7.8	34	81.9	6.7

\*1 補充届出患者を含まない

\*2 粘膜炎を含まない

表12. 5年相対生存率(%) \*1

## B. 主要部位別、性別、臨床進行度別

2009年

部位	ICD-10	臨床 進行度	男			女			男女計		
			対象者数	5年相対生存率	標準誤差	対象者数	5年相対生存率	標準誤差	対象者数	5年相対生存率	標準誤差
全部位	C00-C96	限局	3,066	90.1	0.9	2,170	89.9	0.9	5,236	90.0	0.6
		領域	1,857	50.0	1.4	1,410	64.0	1.4	3,267	56.2	1.0
		遠隔	1,540	13.1	0.9	874	17.0	1.3	2,414	14.5	0.8
		不明	1,306	47.3	1.6	876	46.3	1.8	2,182	46.9	1.2
		合計	7,769	58.0	0.7	5,330	64.0	0.7	13,099	60.5	0.5
胃	C16	限局	715	94.2	1.8	266	91.5	2.6	981	93.5	1.5
		領域	362	46.8	3.0	151	49.6	4.6	513	47.6	2.5
		遠隔	261	4.9	1.4	118	3.6	1.8	379	4.5	1.1
		不明	163	39.5	4.5	83	34.7	6.1	246	37.9	3.7
		合計	1,501	61.2	1.5	618	57.0	2.3	2,119	60.0	1.3
大腸(結腸・直腸)*2	C18-C20	限局	441	94.7	2.3	291	91.7	2.6	732	93.5	1.7
		領域	308	71.5	3.3	234	68.5	3.5	542	70.1	2.4
		遠隔	214	15.4	2.7	147	18.5	3.5	361	16.7	2.1
		不明	150	52.6	4.7	94	50.1	5.8	244	51.6	3.6
		合計	1,113	67.3	1.8	766	65.4	2.0	1,879	66.5	1.3
結腸	C18	限局	265	95.4	2.9	198	93.8	3.0	463	95.3	2.1
		領域	165	77.3	4.4	170	66.2	4.2	335	71.6	3.0
		遠隔	140	14.8	3.4	110	17.4	4.0	250	16.1	2.6
		不明	83	53.2	6.3	69	50.4	6.6	152	51.9	4.6
		合計	653	68.5	2.3	547	64.6	2.4	1,200	66.7	1.7
直腸	C19-C20	限局	176	92.7	3.6	93	86.5	4.9	269	90.5	2.9
		領域	143	64.7	4.9	64	74.3	6.3	207	67.8	3.9
		遠隔	74	16.3	4.6	37	20.6	7.0	111	17.9	3.9
		不明	67	51.7	7.1	25	48.3	11.6	92	51.0	6.1
		合計	460	65.5	2.7	219	67.6	3.7	679	66.2	2.2
肝および肝内胆管	C22	限局	225	44.9	3.8	94	35.4	5.4	319	42.1	3.1
		領域	86	15.4	4.3	26	12.6	7.0	112	14.8	3.7
		遠隔	40	2.7	2.7	10	0.0	0.0	50	2.2	2.2
		不明	99	28.6	5.0	38	22.0	7.5	137	26.8	4.2
		合計	450	32.0	2.4	168	26.7	3.7	618	30.5	2.1
肺	C33-C34	限局	266	76.5	3.6	173	91.0	3.2	439	82.5	2.5
		領域	317	28.9	2.9	91	30.6	5.2	408	29.2	2.5
		遠隔	483	4.6	1.0	150	6.6	2.1	633	5.0	0.9
		不明	114	13.1	3.6	38	23.3	7.4	152	15.9	3.3
		合計	1,180	28.0	1.5	452	45.2	2.6	1,632	32.8	1.3
乳房	C50	限局	1	0.0	0.0	670	98.6	0.9	671	98.5	0.9
		領域	4	56.6	30.6	354	89.9	1.9	358	89.7	1.9
		遠隔	0	...	...	68	47.0	6.4	68	47.0	6.4
		不明	0	...	...	124	74.6	4.4	124	74.6	4.4
		合計	5	44.9	26.4	1,216	91.1	1.0	1,221	90.9	1.0
子宮	C53-C55	限局	-	-	-	220	91.5	2.2	220	91.5	2.2
		領域	-	-	-	163	71.7	3.9	163	71.7	3.9
		遠隔	-	-	-	36	8.6	4.8	36	8.6	4.8
		不明	-	-	-	38	71.1	7.8	38	71.1	7.8
		合計	-	-	-	457	76.1	2.2	457	76.1	2.2
子宮頸部	C53	限局	-	-	-	97	91.9	3.2	97	91.9	3.2
		領域	-	-	-	108	72.1	4.8	108	72.1	4.8
		遠隔	-	-	-	15	0.0	0.0	15	0.0	0.0
		不明	-	-	-	19	64.1	11.3	19	64.1	11.3
		合計	-	-	-	239	74.9	3.1	239	74.9	3.1
子宮体部	C54	限局	-	-	-	122	90.9	3.1	122	90.9	3.1
		領域	-	-	-	54	70.7	6.7	54	70.7	6.7
		遠隔	-	-	-	20	15.5	8.3	20	15.5	8.3
		不明	-	-	-	17	80.1	10.9	17	80.1	10.9
		合計	-	-	-	213	78.0	3.1	213	78.0	3.1
前立腺	C61	限局	716	100.0	1.3	-	-	-	716	100.0	1.3
		領域	205	94.3	3.4	-	-	-	205	94.3	3.4
		遠隔	138	52.7	5.4	-	-	-	138	52.7	5.4
		不明	205	89.0	3.9	-	-	-	205	89.0	3.9
		合計	1,264	97.3	1.3	-	-	-	1,264	97.3	1.3

\*1 補充届出患者を含まない

\*2 粘膜がんを含まない



部位	国際疾病 分類 ICD-10	罹患数			割合(%)			粗罹患率			年齢調整罹患率						累積罹患率(0-74歳)		
		男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	日本人口			世界人口			男	女	男女計
											男	女	男女計	男	女	男女計			
上皮内がん																			
全部位	D00-D09	827	919	1,746	7.9	12.7	9.9	56.1	62.0	59.0	32.3	54.1	42.0	23.0	43.5	32.3	2.9	4.1	3.5
口腔、食道および胃	D00	27	6	33	0.3	0.1	0.2	1.8	0.4	1.1	1.0	0.3	0.6	0.7	0.2	0.4	0.1	0.0	0.1
食道	D001	24	3	27	0.2	0.0	0.2	1.6	0.2	0.9	0.9	0.1	0.5	0.6	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0
その他および部位不明の消化器	D01	466	226	692	4.4	3.1	3.9	31.6	15.2	23.4	19.1	9.4	14.1	14.0	7.0	10.4	1.8	0.8	1.3
結腸	D010	331	164	495	3.2	2.3	2.8	22.5	11.1	16.7	13.6	7.2	10.2	9.9	5.4	7.6	1.3	0.6	1.0
直腸S状結腸移行部	D011	34	11	45	0.3	0.2	0.3	2.3	0.7	1.5	1.2	0.4	0.8	0.9	0.3	0.6	0.1	0.0	0.1
直腸	D012	91	46	137	0.9	0.6	0.8	6.2	3.1	4.6	3.9	1.6	2.8	2.9	1.2	2.0	0.4	0.1	0.2
中耳および呼吸器系	D02	15	4	19	0.1	0.1	0.1	1.0	0.3	0.6	0.7	0.1	0.4	0.5	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0
気管	D021	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
気管支および肺	D022	6	3	9	0.1	0.0	0.1	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
上皮内黒色腫	D03	4	10	14	0.0	0.1	0.1	0.3	0.7	0.5	0.1	0.4	0.3	0.1	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0
皮膚のその他	D04	42	41	83	0.4	0.6	0.5	2.8	2.8	2.8	1.5	1.1	1.3	0.9	0.8	0.8	0.1	0.1	0.1
乳房	D05	0	179	179	0.0	2.5	1.0	0.0	12.1	6.1	0.0	10.4	5.1	0.0	8.2	4.0	0.0	0.9	0.4
子宮頸部	D06	-	393	393	-	5.4	2.2	-	26.5	13.3	-	30.4	14.6	-	25.6	12.2	-	2.1	1.0
その他および部位不明の性器	D07	2	6	8	0.0	0.1	0.0	0.1	0.4	0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
その他および部位不明	D09	271	54	325	2.6	0.7	1.8	18.4	3.6	11.0	9.9	1.6	5.5	6.8	1.1	3.8	0.8	0.2	0.5
膀胱	D090	247	43	290	2.4	0.6	1.6	16.8	2.9	9.8	9.0	1.3	4.9	6.2	0.9	3.4	0.7	0.1	0.4
良性腫瘍																			
髄膜	D32	29	53	82	0.3	0.7	0.5	2.0	3.6	2.8	1.2	2.0	1.6	0.8	1.5	1.2	0.1	0.2	0.1
脳および中枢神経系	D33	10	6	16	0.1	0.1	0.1	0.7	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0
下垂体、頭蓋咽頭管、松果体	D352-D354	10	11	21	0.1	0.2	0.1	0.7	0.7	0.7	0.5	0.7	0.6	0.5	0.6	0.5	0.0	0.1	0.1
性状不詳または不明の腫瘍																			
髄膜	D42	0	2	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳および中枢神経系	D43	26	26	52	0.2	0.4	0.3	1.8	1.8	1.8	0.9	0.8	0.8	0.6	0.8	0.7	0.1	0.0	0.0
下垂体、頭蓋咽頭管、松果体	D443-D445	2	3	5	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
真正赤血球増多症	D45	3	1	4	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨髄異形成症候群	D46	93	60	153	0.9	0.8	0.9	6.3	4.0	5.2	3.1	1.8	2.4	2.0	1.3	1.6	0.2	0.1	0.2
慢性骨増殖性疾患 *1	D47	7	13	20	0.1	0.2	0.1	0.5	0.9	0.7	0.3	0.4	0.3	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0

\*1 ICD-0-3により性状3に分類される形態





単独療法

併用療法 \*1

部位	ICD-10	集計対象数	単独療法										併用療法 *1									
			外科	体腔鏡	内視鏡	放射線	化学	免疫	内分泌	切除+放射線	切除+薬物	薬物+放射線	薬物 *2	切除+放射線+薬物	その他*3	不明						
全部位	000-096	16,500	20.3	5.0	5.0	2.5	10.3	0.1	3.8	1.0	16.9	4.2	0.2	3.8	5.9	21.0						
口腔・咽頭	000-C14	275	21.8	0.0	0.0	7.3	2.9	0.0	0.0	3.6	6.2	21.5	0.0	8.7	2.5	25.5						
食道	C15	357	10.1	0.3	7.3	7.3	5.6	0.0	0.0	0.6	9.5	23.8	0.0	5.6	3.4	26.6						
胃	C16	2,559	24.7	5.9	17.4	0.1	9.5	0.1	0.0	0.0	16.5	0.5	0.0	0.1	4.7	20.3						
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20	2,556	35.4	6.2	6.2	0.1	2.7	0.0	0.0	0.2	27.2	0.2	0.0	1.0	5.6	15.3						
結腸	C18	1,682	35.3	7.3	6.4	0.1	2.6	0.0	0.0	0.2	26.6	0.0	0.0	0.2	5.6	15.7						
直腸	C19-C20	874	35.7	4.1	5.7	0.0	2.9	0.0	0.0	0.1	28.3	0.7	0.0	2.4	5.6	14.5						
肝および肝内胆管	C22	739	11.4	0.4	0.5	2.0	9.3	0.1	0.0	0.5	1.9	1.5	0.0	0.0	34.5	37.8						
胆のう・胆管	C23-C24	487	19.5	0.8	9.2	0.6	8.0	0.0	0.0	1.0	15.6	0.4	0.0	0.6	16.0	28.1						
膵臓	C25	681	7.5	0.1	5.0	1.0	27.3	0.1	0.0	0.0	15.0	1.8	0.0	0.1	10.3	31.7						
喉頭	C32	118	8.5	0.0	0.8	29.7	1.7	0.0	0.0	9.3	3.4	13.6	0.0	14.4	1.7	16.9						
肺	C33-C34	2,074	10.2	12.1	0.1	6.2	17.5	0.0	0.0	0.6	8.1	7.8	0.0	1.3	6.3	29.7						
皮膚	C43-C44	357	81.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.1	3.9	0.3	0.0	1.4	0.0	10.4						
乳房	C50	1,341	8.4	0.0	0.0	0.1	2.6	0.0	2.2	2.2	44.1	0.6	0.8	30.1	0.7	7.9						
乳房 (女性のみ)	C50	1,335	8.5	0.0	0.0	0.1	2.6	0.0	2.2	2.2	44.0	0.6	0.8	30.2	0.7	7.9						
子宮	C53-C55	564	36.5	1.1	0.4	4.6	2.3	0.0	0.2	3.7	21.8	10.5	0.0	3.4	2.1	13.5						
子宮頸部	C53	239	26.8	0.4	0.4	7.9	1.7	0.0	0.4	4.2	11.7	23.4	0.0	5.4	3.8	13.8						
子宮体部	C54	310	45.2	1.6	0.3	1.9	2.9	0.0	0.0	3.5	29.0	1.0	0.0	1.9	0.6	11.9						
卵巢	C56	205	19.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	0.5	56.6	0.0	0.0	0.0	2.9	15.6						
前立腺	C61	1,514	11.6	6.7	1.1	5.3	0.5	0.3	38.7	0.3	5.5	11.6	1.0	0.5	1.3	15.9						
膀胱	C67	336	3.6	2.1	22.9	1.2	1.5	0.0	0.0	3.6	38.1	1.5	0.0	2.7	7.4	15.5						
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66 C68	490	30.6	26.7	1.6	1.4	5.1	0.2	0.0	0.4	9.0	0.8	0.0	0.8	3.9	19.4						
脳・中枢神経系	C70-C72	101	13.9	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	1.0	11.9	5.9	4.0	0.0	33.7	3.0	24.8						
甲状腺	C73	233	53.2	0.0	0.4	0.9	0.9	0.0	0.0	0.4	26.2	0.0	0.0	3.0	1.3	13.7						
悪性リンパ腫	C81-C85 C96	606	2.1	0.2	0.0	2.8	55.0	0.2	0.2	0.3	4.6	6.1	1.0	1.0	3.1	23.4						
多発性骨髄腫	C88-C90	152	0.7	0.0	0.0	2.0	57.9	0.0	0.0	0.0	0.7	5.3	0.0	0.0	5.9	27.6						
白血病	C91-C95	228	0.0	0.0	0.4	0.0	65.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	1.8	0.0	5.3	26.3						

\*1 切除は外科・体腔鏡・内視鏡的療法、薬物は化学・免疫・内分泌療法を指す。

\*2 化学、免疫、内分泌療法のいずれかの併用

\*3 単独療法及び併用療法のいずれかの項目にも含まれないものを指す (1)その他の治療 (TAE、PEITなど)の実施 (2)外科、体腔鏡、内視鏡的療法のいずれかの併用



部位	ICD-10	単独療法											併用療法 *2			
		集計対象数	外科	体腔鏡	内視鏡	放射線	化学	免疫	内分泌	切除+放射線	薬物+放射線	薬物+放射線+薬物	切除+放射線+薬物	薬物 *3	切除+放射線+薬物	その他*4
全部位	C00-C96 D00-D09	18,246	21.6	4.9	8.3	2.3	9.4	0.1	3.4	1.2	16.3	3.8	0.2	3.6	5.6	19.3
食道	C15 D001	384	9.6	0.3	10.7	7.3	5.5	0.0	0.0	0.5	8.9	22.7	0.0	5.2	3.4	26.0
大腸 (結腸・直腸) *1	C18-C20 D010-D012	3,233	30.2	6.1	21.5	0.1	2.1	0.0	0.0	0.2	21.7	0.2	0.0	0.8	4.9	12.3
結腸 *1	C18 D010	2,177	29.6	7.0	22.9	0.1	2.0	0.0	0.0	0.2	20.8	0.0	0.0	0.2	4.8	12.4
直腸 *1	C19-C20 D011-D012	1,056	31.3	4.3	18.6	0.0	2.4	0.0	0.0	0.1	23.5	0.6	0.0	2.0	5.2	12.1
肺	C33-C34 D021-D022	2,083	10.2	12.4	0.1	6.2	17.4	0.0	0.0	0.6	8.1	7.8	0.0	1.2	6.3	29.6
皮膚	C43-C44 D030-D049	454	83.3	0.0	0.0	1.5	0.2	0.0	0.0	0.9	3.1	0.2	0.0	1.1	0.0	9.7
乳房	C50 D05	1,520	11.2	0.1	0.1	0.1	2.3	0.0	2.0	5.3	40.3	0.6	0.7	28.6	0.7	7.9
乳房 (女性のみ)	C50 D05	1,514	11.2	0.1	0.1	0.1	2.3	0.0	2.0	5.4	40.2	0.6	0.7	28.6	0.7	7.9
子宮	C53-C55 D06	957	57.6	1.1	0.3	2.8	1.4	0.0	0.1	2.2	13.0	6.2	0.0	2.0	3.1	10.2
子宮頸部	C53 D06	632	64.7	0.9	0.3	3.2	0.6	0.0	0.2	1.6	4.6	8.9	0.0	2.1	4.3	8.7
膀胱	C67 D090	626	2.4	2.2	30.8	0.8	0.8	0.2	0.0	2.2	43.8	0.8	0.0	1.4	5.1	9.4

\*1 粘膜がんを含む

\*2 切除は外科・体腔鏡・内視鏡的療法、薬物は化学・免疫療法・内分泌療法を指す。

\*3 化学、免疫、内分泌療法のいずれかの併用

\*4 単独療法及び併用療法のいずれの項目にも含まれないものを指す (1) その他の治療 (TAE、PEITなど) の実施 (2) 外科、体腔鏡、内視鏡的療法のいずれかの併用



付表4. 医療圏別、保健所別罹患数； 部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

2012年

医療圏/保健所	全部位		大腸(結腸・直腸)				結腸				直腸				肺				乳房		子宮		子宮頸部				
	男	女	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	
	000-096 D01-D09	C18-C20 D010-D012 *1	C18 D010 *1	C19-C20 D011-D012 *1	C33-C34 D021-D022	C50 D05	C53-C55 D06	C53 D06																			
茨城県	11,326	8,142	19,468	2,069	1,381	3,450	1,344	984	2,328	725	397	1,122	1,605	668	2,273	6	1,565	1,571	984	640							
水戸	2,011	1,414	3,425	405	245	650	261	177	438	144	68	212	300	128	428	3	309	312	153	104							
常陸太田・ひたちなか	1,558	1,095	2,653	321	199	520	215	130	345	106	69	175	209	79	288	0	212	212	125	77							
日立	1,109	804	1,913	200	164	364	138	81	219	81	30	111	153	61	207	0	165	165	63	37							
鹿行	1,004	800	1,804	177	120	297	107	82	189	70	38	108	126	79	205	0	154	154	102	67							
土浦	1,561	1,135	2,696	237	182	419	157	141	298	80	41	121	234	81	315	1	222	223	152	107							
取手・竜ヶ崎	1,152	753	1,905	184	116	300	131	81	212	53	35	88	176	61	237	1	121	122	91	63							
筑西・下妻	853	668	1,521	139	121	260	81	81	162	58	40	98	122	54	176	1	134	135	84	47							
古河・坂東	936	732	1,668	186	123	309	115	86	201	71	37	108	139	48	187	0	127	127	117	76							
つくば	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
県内医療圏不定	2,011	1,414	3,425	405	245	650	261	177	438	144	68	212	300	128	428	3	309	312	153	104							
水戸保健所	858	572	1,430	178	110	288	117	68	185	61	42	103	127	48	175	0	99	99	56	34							
常陸大宮保健所	1,109	804	1,913	200	164	364	138	125	263	62	39	101	146	61	207	0	165	165	63	37							
日立保健所	405	267	672	69	45	114	43	33	76	26	12	38	49	33	82	0	44	44	37	23							
鉾田保健所	736	474	1,210	150	66	216	95	48	143	55	18	73	104	44	148	0	77	77	60	39							
潮来保健所	1,313	953	2,266	208	157	365	139	120	259	69	37	106	198	70	268	1	186	187	127	88							
竜ヶ崎保健所	1,252	982	2,234	206	145	351	125	103	228	81	42	123	162	90	252	0	190	190	127	86							
土浦保健所	854	580	1,434	138	96	234	103	67	170	35	29	64	123	46	169	1	91	92	64	48							
筑西保健所	882	492	1,374	107	76	183	63	57	120	44	19	63	114	40	154	0	86	86	85	47							
常総保健所	685	527	1,212	110	90	200	67	60	127	43	30	73	93	42	135	1	106	107	60	34							
古河保健所	720	554	1,274	154	98	252	94	64	158	60	34	94	107	35	142	0	99	99	83	57							
つくば保健所	700	523	1,223	143	89	232	98	62	160	45	27	72	82	31	113	0	113	113	69	43							
ひたちなか保健所	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
県内保健所不定																											

\*1 粘膜炎を含む



付表5. 市区町村別罹患数； 部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

2012年

市区町村	全部位		大腸(結腸・直腸)		結腸		直腸		肺		乳房		子宮		子宮頸部				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	000-096 D01-D09	C18-C20 D010-D012 *1	C18 D010 *1	C19-C20 D011-D012 *1	C33-C34 D021-D022	C50 D05	C53-C55 D06	C53-C55 D06	C53-C55 D06	C53-C55 D06	C53-C55 D06	C53-C55 D06	C53-C55 D06	C53-C55 D06	C53-C55 D06	C53-C55 D06			
茨城県	11,326	8,142	19,468	2,069	1,381	3,450	1,344	984	2,328	725	397	1,122	1,605	668	2,273	6	1,565	1,571	640
水戸市	1,053	788	1,851	227	132	359	160	97	257	67	35	102	154	77	231	1	190	191	42
日立市	807	600	1,407	156	137	293	109	103	212	47	34	81	93	40	133	0	122	122	32
土浦市	527	447	974	96	70	166	58	47	105	38	23	61	72	48	120	0	87	87	34
古河市	540	443	983	86	76	162	52	49	101	34	27	61	70	36	106	1	97	98	29
石岡市	316	232	548	58	31	89	35	20	55	23	11	34	32	22	54	0	40	40	20
結城市	179	111	290	16	17	33	11	11	22	5	6	11	30	9	39	1	16	17	14
龍ヶ崎市	225	149	374	31	28	59	20	24	44	11	4	15	48	10	58	0	29	29	12
下妻市	185	103	288	30	12	42	18	9	27	12	3	15	27	9	36	0	19	19	7
常総市	216	178	394	32	25	57	21	22	43	11	3	14	32	13	45	0	28	28	34
常陸太田市	285	195	480	59	45	104	42	27	69	17	18	35	41	9	50	0	28	28	11
高萩市	135	87	222	17	13	30	12	10	22	5	3	8	25	6	31	0	17	17	4
北茨城市	167	117	284	27	14	41	17	12	29	10	2	12	28	15	43	0	26	26	1
笠間市	357	229	586	79	44	123	51	33	84	28	11	39	47	18	65	0	37	37	28
取手市	427	261	688	57	54	111	39	39	78	18	15	33	50	19	69	0	42	42	26
牛久市	240	215	455	52	32	84	37	23	60	15	9	24	32	13	45	0	57	57	19
つくば市	571	453	1,024	115	76	191	69	49	118	46	27	73	94	28	122	0	83	83	48
ひたちなか市	583	436	1,019	124	78	202	87	56	143	37	22	59	63	26	89	0	93	93	38
鹿嶋市	325	180	505	76	23	99	48	18	66	28	5	33	42	18	60	0	27	27	14
潮来市	131	87	218	21	8	29	13	6	19	8	2	10	18	5	23	0	15	15	10
守谷市	121	114	235	21	20	41	15	19	34	6	1	7	19	6	25	0	26	26	10
常陸大宮市	236	136	372	52	23	75	36	16	52	16	7	23	33	15	48	0	22	22	9
那珂市	233	167	400	46	31	77	28	17	45	18	14	32	37	16	53	0	37	37	11
筑西市	485	312	797	86	51	137	67	33	100	19	18	37	64	25	89	0	52	52	20
坂東市	168	141	309	29	31	60	14	21	35	15	10	25	29	12	41	0	28	28	13
稲敷市	197	122	319	28	12	40	13	8	21	15	4	19	35	13	48	1	18	19	13
かすみがうら市	161	121	282	23	19	42	14	15	29	9	4	13	22	9	31	0	27	27	13
桜川市	190	157	347	36	28	64	25	23	48	11	5	16	29	12	41	0	23	23	14
神栖市	280	207	487	53	35	88	34	24	58	19	11	30	44	21	65	0	35	35	15
行方市	168	113	281	31	17	48	20	14	34	11	3	14	18	8	26	0	24	24	14
鉾田市	237	154	391	38	28	66	23	19	42	15	9	24	31	25	56	0	20	20	9
つくばみらい市	149	101	250	39	22	61	25	15	40	14	7	21	13	7	20	0	16	16	9
小美玉市	206	146	352	40	22	62	21	14	35	19	8	27	32	9	41	2	37	39	14
茨城町	180	119	299	29	24	53	13	18	31	16	6	22	32	11	43	0	23	23	9
大洗町	88	62	150	11	18	29	8	11	19	3	7	10	16	7	23	0	8	8	7
城里町	127	60	187	19	5	24	8	4	12	11	1	12	19	6	25	0	14	14	4
東海村	117	87	204	19	11	30	11	6	17	8	5	13	19	5	24	0	20	20	5
大子町	104	74	178	21	11	32	11	8	19	10	3	13	16	8	24	0	12	12	6
美浦村	57	45	102	5	2	7	2	2	4	3	0	3	11	2	13	0	10	10	3
阿見町	191	137	328	24	23	47	16	19	35	8	4	12	25	9	34	0	26	26	16
河内町	43	31	74	9	5	14	7	3	10	2	2	4	8	3	11	0	4	4	3

付表5. 市区町村別罹患数； 部位別、性別

B. 上皮内がんを含む

2012年

	全部位		大腸(結腸・直腸)		結腸		直腸		肺		乳房		子宮		子宮頸部						
	C00-C96 D01-D09		C18-C20 D010-D012 *1		C18 D010 *1		C19-C20 D011-D012 *1		C33-C34 D021-D022		C50 D05		C53-C55 D06		C53 D06						
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
市区町村	113	70	183	16	8	24	10	5	15	6	3	9	26	6	32	0	11	11	13	8	
八千代町																					
五霞町	37	19	56	7	4	11	4	4	8	3	0	3	5	1	6	0	2	2	2	0	
境町	108	65	173	17	10	27	11	7	18	6	3	9	18	5	23	0	7	7	10	5	
利根町	60	61	121	10	6	16	8	4	12	2	2	4	6	6	12	0	10	10	12	5	
県内市区町村不定	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

\*1 粘膜がんを含む



# 参 考 资 料





## 用語の定義

### 罹患 (incidence)

がん罹患数とは、ある集団で一定期間に新たに診断されたがんの数のことである(再発を含まない)。

### 罹患率 (incidence rate)

がん罹患率とは、罹患数を登録対象地域の人口(観察人数)で割ったものであり、通常は1年間の10万人あたりの罹患数で表現される。つまり、x年のある地域の10万人あたりのがん罹患率は、x年に新たに診断されたがんの数÷x年の観察人数(人口)×100000 である。罹患率は、当該人口集団のx年におけるがん罹患のリスクを表す。

### 観察人数 (population at risk)

地域がん登録で罹患率を計算する際の分母となる観察人数とは、罹患数を実測した登録対象地域の人口であり、その地域の年中央人口を分母とする。登録対象に外国人を含まない場合は、日本人人口を用い、含む場合は総人口とする。通常は分子となる罹患数に在日外国人を含むので、総人口を用いる。

### 年齢階級別罹患率(age-specific rates)と粗罹患率(crude rate)

年齢階級別の罹患数を対応する年齢階級の人口で除すと、年齢階級別罹患率となる。年齢の区分は、0-4、5-9、10-14、...、80-84、85+歳の5歳区分18階級とすることが多いが、集計の目的に応じて区分を変えることもある(0歳と1-4歳を別々に計算する場合や、15歳区分とする場合など)。がんの多くの部位では、高齢者ほど罹患率が高くなる。全年齢階級の罹患数を全年齢階級のその年の人口で除した罹患率を粗罹患率という。

### 年齢調整罹患率 (age-standardized rates)

地域がん登録で罹患率を計算する目的のひとつは、得られた罹患率を他地域や国全体、あるいは、他国の罹患率と比較すること、年次推移の観察を行うことである。

比較対象間の人口構成が異なっている場合、粗罹患率による比較では解釈が困難である。例えば、異なる二つの地域の年齢階級別罹患率が全く同じ場合でも、がん罹患率が高い高齢層に人口構成が偏っているほど、粗罹患率は大きくなる。そこで、他の地域のがん罹患率と比較する時や、同じ地域でがん罹患率の動向を観察する時には、異なる人口構成を調整した(人口構成の違いを取り除いた)罹患率、つまり年齢調整罹患率を用いて比較を行う。ただし、年齢調整罹患率は、比較対象地域が多い場合には簡便で解釈しやすいが、あくまでも要約値である。詳細な比較を行う場合には、年齢階級別罹患率を観察すべきである。

年齢調整罹患率には、計算したい地域の人口の構成が基準(標準)人口(standard population)と同じであると仮定して算出する直接法(direct method)と、基準(標準)人口集団での年齢階級別罹患率を用いて計算する間接法(indirect method)がある。

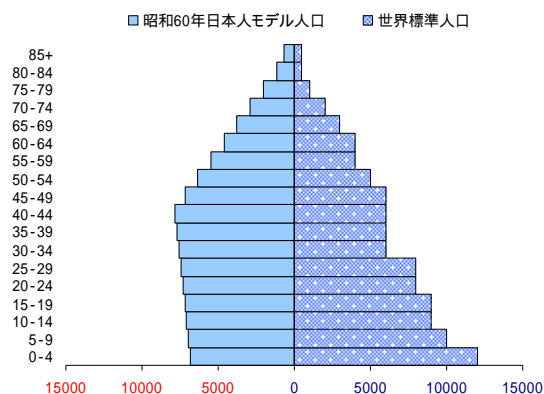
#### 1) 直接法

比較する対象間で年齢構成に偏りがある場合、標準とする集団の人口構成と同一であると仮定した場合の仮の率を計算して比較する。標準とする集団を基準(標準)人口という。

直接法で年齢調整罹患率を計算する際の基準(標準)人口は、比較する目的によって選ぶ。国内の他地域との比較や年次推移の観察には「昭和60年モデル人口」を、世界各国との比較には「世界人口」

を用いる。図Aに、基準（標準）人口の人口ピラミッドを示した。年齢調整罹患率は人口10万対で表される。

図A 基準（標準）人口（重み）



## 2) 間接法

間接法により得られる値は、年齢調整罹患率ではなく、期待値と観測値の比である。

対象とする地域（例えば市町村）の年齢階級別罹患率が、比較しようとする集団（例えば県全体）の年齢階級別罹患率と同じと仮定した場合の罹患数（期待罹患数）を計算し、実際に観察された罹患数（観察罹患数）との比[標準化罹患比(SIR):

standardized incidence rate] を求めて比較する方法である。対象とする地域の年齢階級別罹患率がわからないが、人口構成が判明しており、観察罹患数が得られている場合にも SIR を計算することができる。

この方法は、人口規模の小さい集団(市町村や医療圏など)の罹患を、全県など基準とする集団と比較したい場合に用いることが多い。人口規模の小さい集団で年齢階級別罹患率を求めると偶然変動により値が安定せず、偏った値になる可能性が高いからである。

SIR が1の場合は、期待罹患数と同じ、つまり比較集団と同じ、1より大きい場合は比較集団よりもがん罹患が多く、1より小さい場合は、がん罹患が少ないことを表す。

間接法による標準化のための期待値の計算は、対象集団の人口構成に依存しており、重み付けが対象集団間で異なる。従って、対象集団の SIR は、基準とする集団と比較はできるが、対象集団同士の比較は厳密にはできない。対象集団間での比較は、対象集団と比較集団の年齢階級別罹患率の比が全年齢階級で同じとの仮定のもとで可能である。

## 累積罹患率(cumulative incidence rates)と累積罹患リスク(cumulative incidence risk)

累積リスクとは、他の疾患で死亡しないと仮定した場合の、ある年齢区間(通常0-74歳)において個人ががん罹患するリスクである。

累積罹患率は、年齢階級別罹患率の合計値であり、年齢階級別人口が同じ場合の直接的な年齢調整罹患率であると解釈できる。また、累積罹患率はその値が十分小さいとき(例えばがんの罹患率)は、累積罹患リスクとほぼ同様の値となる。

累積罹患率は、個人が一定の年齢内にがんを患う危険度を表す「割合」であり罹患する確率である。通常パーセンテージで表す。

累積罹患率は、(1)計算に基準(標準)人口を選択する必要がない、つまり基準(標準)人口による重み付けの影響を受けない、(2)異なる年齢階級の累積罹患率を求める場合は率同士を足すことができる(0-74歳の累積罹患率 = 0-39歳の累積罹患率 + 40-74歳の累積罹患率)、(3)1-exp(-累積罹患率)の式により、簡単に累積罹患リスクが求められるという利点がある。

## 死亡率・年齢調整死亡率

がん罹患は、がんという事象の発生率である。死亡も同様でがんによる死亡という事象の発生率である。したがって、がん死亡率(mortality rates)・年齢調整死亡率(age-standardized mortality rates)・標準化死亡比 SMR (standardized mortality ratio)・累積死亡率(cumulative mortality rates)・累積死亡リスク(cumulative mortality risk)の計算の方法はがん罹患率・年齢調整罹患率と同様である。

## 人口統計と死亡統計

### 人口

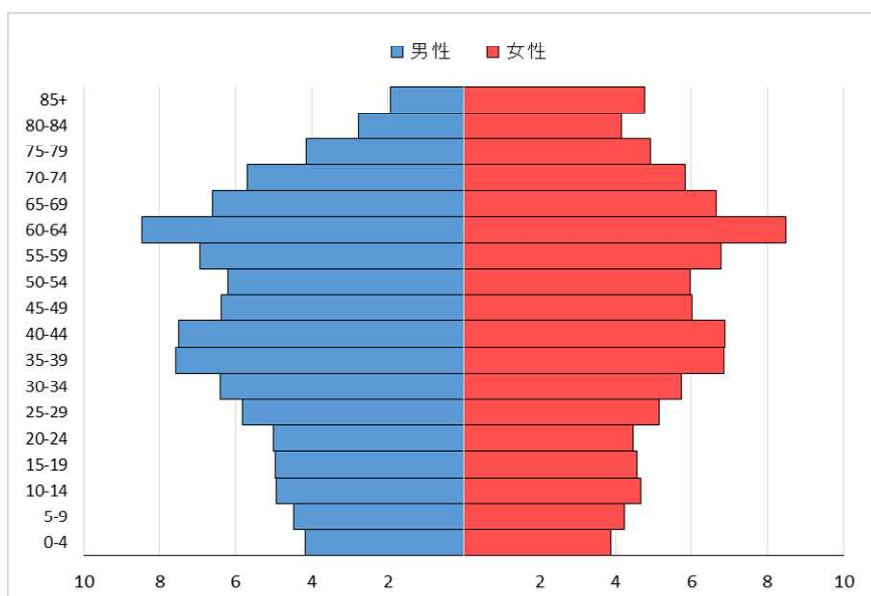
率の算出には国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センターが作成した都道府県別人口データを用いた。なお、罹患率の計算には総人口を、死亡率の計算には日本人人口を用いた。年齢階級別の人口は、図Bのとおりである。

### 死亡

\* データソース 人口動態調査（死亡）

図B 2012年茨城県人口と人口構造（総人口）

年齢	男性	女性
0-4	61,395	57,453
5-9	65,986	62,828
10-14	72,857	69,053
15-19	72,913	67,592
20-24	73,889	66,301
25-29	85,696	76,281
30-34	94,507	85,246
35-39	111,693	101,835
40-44	110,593	102,143
45-49	94,149	89,249
50-54	91,288	88,506
55-59	102,368	100,382
60-64	124,910	125,660
65-69	97,534	98,656
70-74	84,122	86,535
75-79	61,100	73,037
80-84	40,883	61,721
85+	28,437	70,712
不明	0	0
合計	1,474,320	1,483,190



出典：国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター

## 悪性新生物の分類と病期分類

### 情報収集と集計対象

情報収集対象は、悪性新生物（頭蓋内の新生物は良性及び性状不詳を含む）とした。また、死亡票のみで登録される腫瘍は、死因にかかわらず悪性新生物の記載のあったもの、並びに性状不詳の新生物を死因とするもののうち部位が脳、肝、膵、腎、膀胱、肺のいずれかに該当するものとした。上皮内がんについては全部位を登録している。

### 部位区分と組織区分

罹患登録対象は、ICD-O (International Classification of disease for Oncology) に従っている。

形態分類については、現在 ICD-O-3 を適用している。

### 多重がんの判定基準

多重がんとは、一人の患者に発生した複数の原発性悪性腫瘍のことをいう。地域がん登録では、原発性悪性腫瘍を別々に登録し、各々を罹患数として計上する。罹患数は、患者数ではなく、原発性悪性腫瘍の数である。重複がんともいう。そのために、共通の多重がんの判定基準が必要となる。

2004年、IARC/IACR から多重がんの判定規則の改訂版が出され、我が国でもこのルールを、地域がん登録の標準方式に採用することが決まった。IARC/WHO の判定規則は、同一患者に複数存在する届出票・死亡票を原発性悪性腫瘍単位にまとめる集約時における多重がんの判定規則と、異なる集団(他地域の登録データ)における発がんリスクや予後を比較するための罹患・生存率集計時に適用される規則からなる。

### 集約時における多重がんの判定規則 (Recording rule)

1. 多重がんを判定する際、時間の関係は問わない。すなわち、同時性・異時性を考慮する必要はない。但し、我が国の固有ルールとして、ルール7に示す例外を設ける。
2. 一方が他方の進展・再発・転移によるものではない。
3. 一つの臓器、あるいは組織に発生した腫瘍は、一腫瘍とみなす。多重がん判定の目的上、いくつかの部位群に関しては、単一部位とみなす。表1にそれを示す。

多発がん(同一部位に発生し、明らかに連続性を欠く複数の腫瘍：膀胱がんなど)は、一つの腫瘍としてカウントする。

4. 以下の場合、ルール3を適用しない。
  - 4.1 多くの異なる臓器を侵す可能性のある全身性(多中心性)がんでは、1個のみカウントする。カポジ肉腫や造血臓器の腫瘍がこれに該当する。
  - 4.2 組織型の異なる腫瘍は(たとえそれらが同一部位に同時に診断された場合でも)多重がんとしてみなされるべきである。

同一部位に発生した複数の腫瘍の組織型が表2の一つの組織型群に属す場合は、高い数字のICD-O-Mを用いて単一腫瘍として登録する。

複数の組織型群に属す場合は、たとえ同一部位であっても異なる組織型と考え、複数の腫瘍としてカウントする。非特異的な組織型(組織型群5,12,17)に関しては、特異的な組織型の腫瘍が存在すれば、非特異的な組織型は無視し、特異的な組織型を登録すべきである。

5. 乳房など両側臓器の左右に別々に診断された同じ組織型の複数の腫瘍は、一方が他方の転移であるという断りがない限り、それぞれ独立して登録すべきである。但し、下記腫瘍が左右に診断された場合は、両側性の単一腫瘍として登録する。

卵巣腫瘍（同一組織型）  
腎臓のウィルムス腫瘍(腎芽腫)  
網膜芽細胞腫

6. 大腸（C18）と皮膚（C44）の異なる4桁部位に発生したがんは、それぞれ独立して登録すべきである。

### 多重がん登録に関する我が国の独自ルール

7. 同一部位，同一組織の上皮内がん（CIS；Carcinoma in Situ）から，一定期間経過した後浸潤がんとなった場合，1年未満であれば単一がんとして浸潤がんのみを登録するが，1年以上の間隔がある場合は，上皮内がんと浸潤がんの重複がんとして別々に登録する。子宮がん，膀胱がんなどでよくみられる。注意すべきは，後発の浸潤がんが再発がんとして診断された場合にも適用される点である。

### 罹患・生存率集計時に適用される IARC/WHO の判定規則（Reporting rule）

基本的に，集約ルールと同じであるが，以下の点で集約ルールと異なる。

1. 左右臓器に発生した同一組織型の腫瘍は，一腫瘍とみなす。
2. 大腸（C18）と皮膚（C44）の異なる4桁部位に発生したがんも，同一組織型であれば一腫瘍とみなす。
3. 上記集約ルール7. の関係より，同一部位，同一組織の上皮内がんと浸潤がんの重複症例については，後発の浸潤がんのみとする。

表1 多重がんの判定において，1つの部位と考える部位群

ICD-0 部位コード	部位	*	
C01	舌基底部		* 診断時期が異なれば、最初に診断された部位をコードするが、診断時期が同じ時は、ここに書かれたコードを用いる。
C02	舌のその他及び部位不明	C02.9	
C00	口唇		
C03	歯肉		
C04	口腔底		
C05	口蓋		
C06	口腔、その他及び部位不明	C06.9	
C09	扁桃		
C10	中咽頭		
C12	梨状陥凹（洞）		
C13	下咽頭		
C14	その他及び部位不明の口唇、口腔及び咽頭	C14.0	
C19	直腸S状結腸移行部		
C20	直腸	C20.9	
C23	胆嚢		
C24	その他及び部位不明の胆道	C24.9	
C33	気管		
C34	気管支及び肺	C34.9	
C40	四肢の骨、関節及び関節軟骨		
C41	その他及び部位不明の骨、関節及び関節軟骨	C41.9	
C65	腎盂		
C66	尿管		
C67	膀胱		
C68	その他及び部位不明の泌尿器	C68.9	

表2 Bergの組織型群(多重がんの判定において,異なる組織型と考える組織型群)

1	扁平上皮癌	8051-8084,8120-8131
2	基底細胞癌	8090-8110
3	腺癌	8140-8149,8160-8162,8190-8221,8260-8337,8350-8551,8570-8576,8940-8941
4	その他の明示された癌腫	8030-8046,8150-8157,8170-8180,8230-8255,8340-8347,8560-8562,8580-8671
5	詳細不明の癌腫	8010-8015,8020-8022,8050
6	肉腫及びその他の軟部組織の腫瘍	8680-8713,8800-8921,8990-8991,9040-9044,9120-9125,9130-9136,9141-9252,9370-9373,9540-9582
7	中皮腫	9050-9055
8	骨髄性悪性腫瘍	9840,9861-9931,9945-9946,9950,9961-9964,9980-9987
9	B細胞性悪性腫瘍	9670-9699,9728,9731-9734,9761-9767,9769,9823-9826,9833,9836,9940
10	T細胞、NK細胞性悪性腫瘍	9700-9719,9729,9768,9827-9831,9834,9837,9948
11	ホジキンリンパ腫	9650-9667
12	肥満細胞性悪性腫瘍	9740-9742
13	組織球及び副リンパ球様悪性腫瘍	9750-9758
14	詳細不明の血液腫瘍	9590-9591,9596,9727,9760,9800-9801,9805,9820,9832,9835,9860,9960,9970,9975,9989
15	カボジ肉腫	9140
16	その他の明示された腫瘍	8720-8790,8930-8936,8950-8983,9000-9030,9060-9110,9260-9365,9380-9539
17	詳細不明の悪性腫瘍	8000-8005

## 病期分類

進行度の記載には種々の規約があるが、地域がん登録では、米国カリフォルニア州腫瘍登録室と米国国立がん研究所、遠隔成績課 End Result Section が作成した分類を参考に、「地域がん登録」研究班が、限局、所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移の4病期に改変したものの(「進展度」)を用いる。ただし临床上は、UICCによるTNM分類や各学会・研究会による「がん取り扱い規約」の進行度分類が用いられるので、「進展度」とTNM分類、「がん取り扱い規約」による分類との関係を中央登録室にてチェックしている。なおいずれの病期でも、治療前に得られた情報(臨床的検索、画像診断、内視鏡検査、生検、外科的検索、等)に基づき実施するもの(治療前臨床分類)と、手術後の病理組織学的検索で得られた知見により補足修正するもの(術後病理組織学的分類)の2つがあるが、地域がん登録では、術後の病理組織学的分類を優先して登録する。

2005年時点では、病期分類について進展度の分類が標準ではなかったため(上皮内、当該臓器に限局、所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移、不明)、2009年のシステム移行時に現在の進展度に変換した。よって頻度や分布が標準様式で収集された場合と異なることを考慮しなければならない。

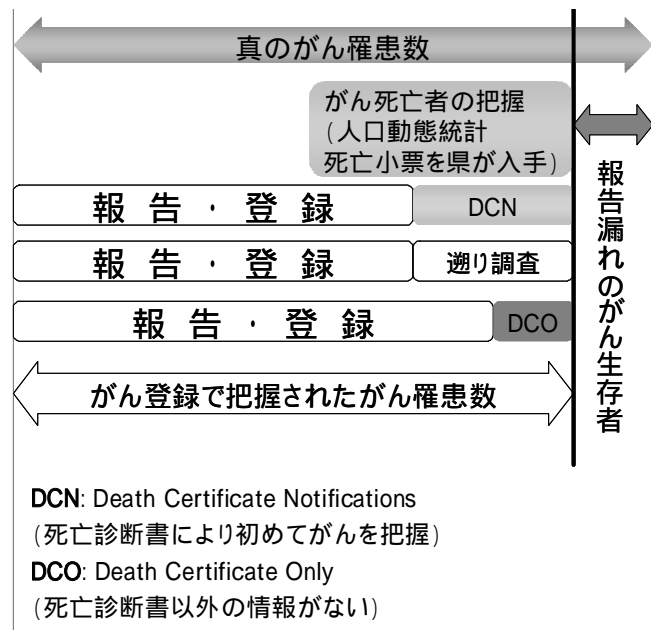
## 罹患数の集計方法と登録精度指標

### 罹患数の集計方法

地域がん登録では、医療機関からの報告・登録情報に、人口動態統計（死亡診断書）で把握されたがん死亡情報を照らし合わせて、医療機関からの報告・登録漏れ（DCN）を把握する。DCNについては、死亡診断医療機関に報告を依頼する（遡り調査）。回答を得られなかったがん死亡の数（DCO）と、報告により把握されたがんの数とをあわせて、罹患数とする。

国際ルールでは、罹患年として、報告・登録分では診断年、DCOでは死亡年を用いる。DCNが多い場合、遡り調査により診断年が死亡年と異なることが確認された報告・登録分を診断年で集計すると、集計可能な罹患年と暦年の差が大きくなる。我が国では適時性に配慮し、慣習的に、DCNでは死亡年を罹患年として罹患集計する。罹患集計の実施時期より3年以上過ぎると、DCNについて死亡年を用いた罹患数と診断年を用いた罹患数との差がほぼなくなる。

図D 罹患数の計測方法



### 罹患数と精度指標

地域がん登録が医療機関からがんの診断情報の報告を得る仕組みは千差万別であり、報告・登録された情報の質や患者の網羅性には大きな開きがある。報告漏れや報告間違いが多いと、集計された罹患数は、真の罹患数を少なく見積もるのみならず、真実からかけ離れた部位分布や年次推移を示す危険が高い。そのため、罹患数には、ここに示す精度指標を必ず一緒に示すことになっている。精度が低い場合、罹患数の解釈に注意を払う必要がある。

地域がん登録の登録精度の評価は、完全性（completeness：届出精度の指標）、妥当性（validity：診断精度の指標）などを用いて行われる。

### 届出（量的）精度の指標

対象地域の実際の罹患数のうちのどれだけが登録されているか、すなわち登録の完全性を計測する指標として、死亡診断書の情報により初めて把握されたがん（DCN, death certificate notification）の割合、死亡診断書の情報のみで登録されているがん（DCO, death certificate only）の割合、罹患数と死亡数との比（I/M, incidence/mortality比）が採用されている。

がん罹患し、生存中である報告漏れ患者は、罹患数の計上より欠落する。DCNが多い場合、報告・登録漏れの多いことが類推され、特に生存率の高い（よい治療法のある）部位では罹患数の過小評価が示唆される。生存率の低い部位では、報告・登録漏れがあっても、死亡により人口動態統計で把握されるため、計測された罹患数と真の罹患数の差は小さいと推測できる。

DCOが多いと、DCNはそれ以上に多く、完全性は低い。逆に、DCOが少ない場合は、それで完全性が高いと評価できない。DCNに対して熱心に遡り調査を実施すると、DCOは少なくなっても、報告漏れのがん生存者の把握には直結しない。



I/M 比について、がん患者の生存率の逆数（例えば、生存率 50%では、2）と比較して、I/M 比が低ければ、罹患の把握漏れが示唆される。逆に、I/M 比が高すぎる場合、照合の漏れ（同一人物が別人として登録されている）、あるいは、多重がんの判定違い（同一腫瘍が多重がんとして登録されている）可能性を検討しなければならない。

国際水準として、全部位の DCO は 10%未満が望ましいとされている。全部位の I/M 比は、我が国の全がん生存率を考慮すると、全部位で 1.8～2.0 程度が適切と推測される。

### 診断（質的）精度の指標

がんの診断は、最終的には病理組織診断による。そこで、組織診の裏付けのある患者の割合（histologically verified cases, HV）をもって、がん登録の診断（質的）精度の一指標とする。顕微鏡的に確かめられたもの（microscopically verified cases, MV）の割合という場合には、組織診の他に、細胞診で裏付けられた例も含まれる。組織診実施の有無は、がんの原発部位のみならず、転移部位について実施された場合も含めて算出する。また、造血組織のがんの場合には、骨髄像の検査を組織診とし、末梢血液の検査を細胞診として扱う。

届出票のない患者は、組織診が行われているかどうか明確でない。したがって、届出の精度が不十分な時は、届出票のあるものを分母として観察する。罹患者を分母とする場合には、死亡診断書の情報のみのがんについても、死亡診断書の記載内容から組織診の行われたことが明らかかな場合には、これを計上する。

### 罹患数の変動及び年次推移

近年について、初回罹患集計報告時と最新のデータによる年別罹患数の関係を示す。地域がん登録事業では、罹患年から時間が経ってからの届出も受理することや、情報の追加による登録内容の変更を随時行っているため、報告年に把握した罹患者数は日々更新されている。

罹患数は、2006 年に一過性の急増を観察しているが、これは、2005 年にがん診療連携拠点病院においては、院内がん登録を実施し、地域がん登録へ協力することが指定の要件化されたことを受けて、2006 年以降の診断患者について届出が増加したためと考えられる。

年齢調整罹患率は、男女ともに 2009 年までは増加傾向であるが、2010 年以降は横ばいである。

#### 罹患数の変動

		罹患年							
		2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)
罹患数 (件)	報告年	9,767	12,862	15,048	16,545	17,993	17,775	18,586	19,468
	2014 年 10 月末	10,513	14,061	16,217	17,133	18,247	18,394	18,586	-
	2015 年 9 月末	10,558	14,106	16,295	17,237	18,346	18,503	18,805	19,468

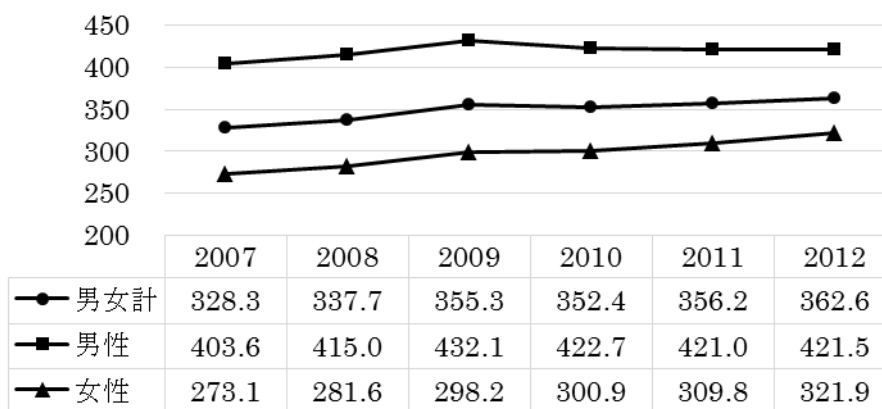
### 罹患数の推移

罹患年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)
男女計 (件)	10,558	14,106	16,295	17,237	18,346	18,503	18,805	19,468
男性 (件)	6,284	8,337	9,636	10,209	10,877	10,858	11,033	11,326
女性 (件)	4,274	5,769	6,659	7,028	7,469	7,645	7,772	8,142

### 粗罹患率（人口10万対）の推移

罹患年	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)
男女計	354.9	474.1	547.7	579.6	617.2	623.0	634.4	658.3
男性	424.6	563.2	650.8	689.5	734.7	733.8	746.9	768.2
女性	285.8	385.9	445.6	470.7	500.7	513.1	522.7	549.0

### 年齢調整罹患率（人口10万対）の推移



年齢調整罹患率の計算には、昭和60年日本人モデル人口を使用した。

# 茨城県地域がん登録事業実施要綱

## 第1 目的

茨城県下におけるがんの罹患状況を的確に把握するために地域がん登録事業（以下「本事業」という。）を実施し、がんの罹患率の測定、がん患者の受療の状況、生存率の測定等を行い、今後のがん予防対策の推進を図るとともに、本県医療水準の向上に資することを目的とする。

## 第2 事業の実施

本事業は、茨城県医師会及び関係医療機関の協力を得て、県が実施するものとする。

2 県は、地域がん登録室を設け、次の業務を実施するものとする。

- (1) 必要情報の収集
- (2) 収集した情報の登録及び管理
- (3) 収集した情報の集計及び解析
- (4) その他事業の推進に必要な事項

3 地域がん登録室は、茨城県保健福祉部保健予防課に設置するものとする。

## 第3 登録対象者

本事業の登録対象となる者は、県内に居住する者でがんと診断された者及びがんによる死亡者とする。

## 第4 届出機関

医療機関は、がんと診断した者の情報等を、保健所は人口動態調査に基づくがんによる死亡情報をそれぞれ届け出るものとする。

## 第5 秘密の保持

この事業に従事する者又は従事していた者は、業務上知り得た個人及び個々の医療機関に関する情報を他に漏らしてはならない。

## 第6 その他

この要綱に定めるものの他必要な事項は、保健福祉部長が別に定める。

### 付則

この要綱は、平成3年10月1日から施行する。

### 付則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

### 付則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

# 茨城県地域がん登録業務処理要領

## 第1 目的

この要領は「茨城県地域がん登録事業実施要綱」に基づき、本県の地域がん登録事業に実施するに当たっての実施方法を定め、もって事業の円滑な推進を図ることを目的とする。

## 第2 情報の収集

本県における地域がん登録の必要情報の収集については、次により行う。

### 1 収集する情報の内容

#### (1) 基本項目

医療機関名 診療科 届出医師名 貴院患者ID 姓・名 性別  
生年月日 住所

#### (2) 診断に関する項目

##### ア 診断名

部位・側性 病理診断名

##### イ 診断情報

初発・再発 診断根拠(診断方法) 診断日(自施設診断日, 初回診断日)  
発見経緯

#### (3) 病期に関する項目

病巣の広がり UICC TNM その他

#### (4) 治療法に関する項目

観血的治療 その他の治療

#### (5) 死亡に関する項目

死亡年月日

### 2 「茨城県地域がん登録届出票」による情報の収集

(1) 地域がん登録室は、「茨城県地域がん登録届出票」(様式第1号)(以下、「届出票」という。)の用紙及び返信用封筒を配布する。

(2) 医療機関の医師、看護師又は診療情報管理士等は、次に掲げる場合、届出票に所要事項を記載し、返信用封筒により郵送する。なお、記載内容をすべて医師が確認するものとする。

入院して治療を行う患者については、患者が退院したときまたは新発生のがんに対する一連の治療が終了したとき。

入院せずに外来にて治療を行う患者については、外来による治療を開始したとき。

自院においてがんと診断し患者を治療等のため他医療機関に転院させたとき。

以前に自院で届出を行っている場合で、次に掲げるとき。

(ア) がんであるとして届出票を提出したが、がんでないと診断を変更したとき。

(イ) がんの原発部位の診断を変更したとき。

がん患者が死亡したとき。

(3) 医療機関において院内がん登録等を実施し、必要情報を充足する資料を有する場合

は、当該資料の複写又はディスク等を送付することにより届出に代えることができる。

### 3 死亡情報の収集

死亡情報の収集は、届出票によるもののほか、保健所から地域がん登録室に送付された人口動態調査令施行規則(昭和23年厚生省第6号)第5条に規定する人口動態調査死亡小票(以下、「死亡票」という。)の写しにより行う。

### 4 出張採録

情報収集のため必要なときは、登録に従事する職員を医療機関に派遣し、情報を採録する。

## 第3 情報の登録

第2により収集した情報の登録については、登録室の電子計算機に入力して行う。

## 第4 集計及び解析

地域がん登録室は、登録した情報を基に、歴年単位で次の集計及び解析を行う。

### 1 罹患率の測定

- (1) 罹患数及び罹患率 - 部位別・性別 -
- (2) 主要部位別罹患数及び罹患率 - 年齢階級別・性別 -
- (3) 主要部位別罹患数 - 医療圏別・性別 -
- (4) 主要部位別罹患数 - 市町村別・性別 -
- (5) 主要部位別罹患数 - 保健所管内別・性別 -

### 2 死亡の状況

- (1) 死亡数及び死亡率 - 部位別・性別 -
- (2) 主要部位別死亡数及び死亡率 - 年齢階級別・性別 -
- (3) 主要部位別標準化死亡比 - 保健所管内別・性別 -

### 3 受療状況の把握

- (1) 主要部位別発見経緯
- (2) 主要部位別病巣の広がり(臨床進行度分布)
- (3) 主要部位別治療方法(受療割合)
- (4) 主要部位別切除内容

### 4 生存率

相対生存率(5年)

### 5 精度管理等

- (1) 主要部位別DCN%及びDCO%
- (2) 主要部位別I/M比
- (3) 主要部位別MV%及びHV%

## 第5 公表

保健福祉部保健予防課は、報告された集計及び解析の結果を年報等にまとめ、公表する。

付則 この要領は、平成25年4月1日から施行する。

様式第1号

茨城県地域がん登録届出票 秘  
(医療機関控)

注: \*欄は事務局で使用のため記入しないでください。

* 受付年月日	
* 受付番号	

医療機関	名称	診療科	届出医師名
	* [ ]	* [ ]	届出担当者名 ( [ ] )
貴院患者ID	性別	生年月日	
姓 名	1 男 2 女 3 他	0 西暦 1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成	年 月 日
住 所	県外の場合は県名から、県内の場合は ×市、×郡から記載してください。 * [ ]		
診 断 名	左 右 両側臓器のみ記載	1 右 2 左 3 両側	病理診断名 詳細をお願いします * [ ]
	部 位 臓器名と詳細部位	例 胃U、肺S2、など(白血病は「骨髄」、悪性リンパ腫は「主病変の部位」を記載)	
診 断 情 報	初 発・再 発	1 初発 2 再発・治療開始後	
	診 断 根 拠 (複数回答可)	1 原病巣の組織診 3 細胞診 5 臨床検査	2 転移巣の組織診 4 部位特異的腫瘍マーカー 6 臨床診断
	診 断 日	自施設 診断日 0 西暦 3 昭和 4 平成	年 月 日 ・初回治療前に自施設で実施した検査のうち、診断根拠の、最も番号の小さい検査の検体採取日や検査日 ・再発・治療開始後では自施設初診日
	初 回 診断日	0 西暦 3 昭和 4 平成	年 月 日 他施設で診断された場合や再発・治療開始後の場合は、初めて診断された日が分かればご記入ください。
発 見 経 緯	1 がん検診 2 健診・人間ドック 3 他疾患の経過観察中 4 剖検 9 その他・不明(自覚症状も含む)		
病 期	病巣の広がり	0 上皮内 1 限局 2 所属リンパ節転移 3 隣接臓器浸潤 4 遠隔転移 9 不明	
	UICC TNM	T( ) N( ) M( ) ステージ( )	
	そ の 他	深達度、腫瘍径など病巣の拡がりの判定に役立つ情報があれば、ご記入ください。	
治 療 法	観 血 的 治 療	1 手術	1 有 2 無
		2 体腔鏡的(胸腔鏡, 腹腔鏡)	1 有 2 無
		3 内視鏡的	1 有 2 無
	そ の 他 の 療 法	上記治療を総合した治療結果	1 治療切除 2 非治療切除 3 治癒度不明 4 姑息・対症療法 9 不詳
		1 放射線	1 有 2 無
		2 化学療法	1 有 2 無
死 亡 年 月 日	0 西暦 4 平成	年 月 日	
	(紹介元, 紹介先, 等)		
	自由記載欄		

届出にかかる様式について、右記のとおり送付ください。(届出票) 枚 (封筒) 大 枚 / 小 枚

記入にあたり、不明点や疑問点は茨城県保健福祉部保健予防課地域がん登録室(TEL 029-301-3224 FAX 029-301-3239)まで連絡願います。

# 茨城県二次保健医療圏地図

(H18. 3.31 から)



## 茨城県生活習慣病検診管理指導協議会

### 生活習慣病登録・評価部会委員名簿

(敬称略 役職名は平成 28 年 1 月時点)

選出区分	氏名	役職名
県医師会	大場 正二	一般社団法人茨城県医師会常任理事
学識経験者	大久保 一郎	筑波大学医学医療系教授
〃	大谷 幹伸	茨城県立中央病院副院長兼地域がんセンター長
〃	菊池 孝治	筑波メディカルセンター病院副院長・がんセンター長
〃	中村 好一	自治医科大学公衆衛生学教授
保健所	緒方 剛	茨城県保健福祉部技監兼古河保健所長